

第三項 軍法局ノ組織

第一條 軍法局ノ法廷ハ二部ニ分チ、戒嚴地ニ於ケル一般人民ノ犯罪ハ、普通法廷ニ於テ審判シ、下士卒、校官、尉官及此等ニ相當スル軍屬ノ犯罪ハ、特別法廷ニ於テ審判ス。

第二條 普通法廷ノ裁判長（註、原名判官長）ハ總督又ハ司令長官ニ於テ法律ニ通曉スル文官ニ委任シ、特別法廷ニ在リテハ所屬ノ將校ヲ臨時之ニ任ズ。

其ノ組織左表ノ如シ。

法廷別	裁判長	裁判官	被告人
普通法廷	文官一名	文官二名	戒嚴地ノ一般人民
特別法廷第一級	少將一名	少將一名 大校一名 中校一名 普通法廷裁判官二名	大中少校及其相當官
特別法廷第二級	大校一名	中校一名 少校一名 普通法廷裁判官二名	大中少尉及其相當官
特別法廷第三級	大尉一名	普通法廷裁判官二名	下士卒

第三條 軍法局法廷ノ判決ハ裁判長宣告シ、總督、司令長官又ハ司令官ニ於テ執行命令ヲ發ス。

第四條 軍法局ノ附屬職員左ノ如シ。

検査官長	一名
書記官長	一名
録事	二名
庶務	一名

第五條 戰時包圍地内ノ裁判官ハ之ヲ減少スルコトヲ得。

第四項 檢舉及判決ノ布告

第一條 左記ノ各員ニハ犯罪者檢舉ノ權アリ。

一、憲兵將校及下士。

二、司令長官及司令官ノ副官。

三、警備隊司令官及隊長。

第二條 各主管ノ長官ハ其ノ部下ニ對シ、犯罪檢舉ノ權アリ。

第三條 被告人拘留又ハ逮捕ノ令狀ハ、軍法會議又ハ軍法局ノ検査官長之ヲ發ス。

第四條 何人ニ論無ク、軍人ノ犯罪ニヨリテ損害ヲ受ケタル者ハ、即時被害人又ハ被告人所屬地

ノ検査官、或ハ被告人所屬ノ長官ノ許ニ至リテ訴訟スルコトヲ得。

第五條 判決後裁判長ハ犯罪ト罪狀トヲ詳細ニ發表公布スルヲ要ス。

第六條 死刑執行ノ監督官ニハ、軍法會議及軍法局ノ検査官之ニ任ズ。

第五項 刑ノ執行

第一條 軍人ノ死刑執行ハ銃殺ニヨリ、軍人以外ノ人民ノ死刑ハ絞首ニヨル。

第二條 死刑執行ノ際ハ犯罪者ノ酒量ニ應ジテ劇烈ナル酒ヲ給與シ、飲ンデ昏醉シタル後初メテ刑ヲ執行ス。又犯罪者ノ顔面ハ蔭蔽スルヲ要ス。

第三條 死刑ハ獄中又ハ法廷内ニ於テ執行シ、刑場監督官、監督長及執行人ノ外ハ他人ノ傍觀ヲ許サズ。

第四條 妊婦ガ死刑ノ宣告ヲ受ケタル場合ハ分娩後之ヲ執行ス。

第五條 懲役、禁錮等ノ刑期ノ計算ニハ、舊刑事訴訟法ノ規定ヲ適用ス。

第六條 犯罪者ノ逃亡ヲ防止スル爲、左記ノ刑具ヲ使用スル以外ハ、其他ノ刑具ヲ用フルコトヲ得ズ。

- 一、捕繩。二、鐵鎖。三、足錠。四、手錠。

第六項 附則

各司令長官所屬將校ノ犯罪ニ關スル特別法廷ノ裁判長及裁判官ハ、當該司法長官ニ於テ臨時ニ之ヲ委任ス。

第三節 戒嚴地ノ刑罰及條文

職、名、布告。

惟フニ大軍克復ノ地方ニ於テハ、先ヅ第一ニ秩序ノ維持ヲ爲サザル可カラズ。然ルニ方今軍政ノ時代ニ當リ、各處一律ニ戒嚴シ、行政司法ノ各官衙及各種ノ法律ハ均シク運用ト實施トヲ停止セルヲ以テ、茲ニ戒嚴地刑罰法八箇條ヲ制定シ、各處ニ頒布シテ即日施行ス。軍民共ニ本法ニ違犯セル者ハ毫モ許容セザルモノト知ルベシ。各自宜シク嚴重ニ遵守シテ刑戮ニ罹ルコト勿レ。特ニ茲ニ布告ス。

次ノ如シ。

第一條 戒嚴地方ノ民ニシテ以下ノ各罪ヲ犯シタル者ハ死刑ニ處ス。

- 一、電線、電話、鐵道、造船所、保壘、要害、兵器、彈藥其他ノ軍用物品及軍事ト關係アル道路、橋梁、森林、家屋、船舶、汽車、水道管等ヲ破壊又ハ放火燒燬シタル者。

- 二、間諜、脱走俘虜又ハ劫奪犯人等ヲ案内シ、援助シ、又ハカクマヒタル者。
- 三、軍隊、軍艦、艦隊及軍用船舶ノ動靜或ハ軍需品貯藏所等ヲ敵ニ密告シ、又ハ之ガ爲ニ敵軍ヲ案内シタル者。
- 四、本軍ノ軍隊、軍艦、艦隊又ハ軍用船舶ノ案内役トナリ、故意ニ虚偽ノ案内ヲナシタル者。
- 五、黨ヲ結ンデ軍隊、軍艦、艦隊又ハ軍用船舶ニ對スル反抗ヲ圖謀シ、反抗ノ所爲ヲナシタル者。
- 六、文字、演說又ハ集會、結社ヲ以テ流言蜚語ヲ傳布シ、事端ヲ發生セシメ、革命ノ主旨ニ反對ヲ表示シタル者。
(本條規定後ハ新聞條例及集會規定ハ當然無効トス)。
- 七、衆ヲ聚メテ喧嘩擾擾シ、軍隊、軍艦及艦隊所在地ノ靜肅ヲ妨害セル者。
- 八、各種ノ方法ヲ以テ井水、河水、水道等ノ飲用水ヲ破壊變質セシメ、公衆ノ健康ヲ害セント圖リタル者。
- 九、阿片又ハ烟具ヲ本軍軍人又ハ從軍スル者ニ販賣セルカ、煙館ヲ開設セル者。
- 十、賭博場ヲ開設セルカ、賭博用具ヲ販賣セル者。

- 十一、財物ヲ劫掠セル者。
- 十二、婦女ヲ強姦又ハ強奪セル者。
- 十三、掠奪沒收又ハ強制賣買ヲナシタル者。
- 十四、放火セル者。
- 十五、兇器ヲ以テ爭ヘル者。
- 十六、擅ニ招兵セル者。
- 十七、祕密ニ結會又ハ結盟セル者。
- 十八、密ニ兵器又ハ火藥ヲ賣買運搬セル者。
- 十九、文武職員ヲ僞稱セル者。
- 二十、公文又ハ印信ヲ僞造セル者。
- 二十一、貨幣、紙幣又ハ債券ヲ僞造セル者。
- 第二條 前條各項ノ罪ヲ犯セル者ハ正犯、從犯、教唆犯、已遂、未遂、陰謀計畫等ノ何レニ屬スル者モ、情狀ニヨツテ、或ハ本刑ヲ科シ、或ハ減刑スルコトヲ得ルモノトス。
- 第三條 前條各項規定以外ノ罪ヲ犯セル者ニハ、刑法ノ各條及警察法違反ニ關スル各條ノ規定ヲ

適用ス。

第四條 本法ノ罪ヲ犯セル者ハ、軍法局ニ於テ審判處罪シ、軍法局以外ハ如何ナル機關モ之ヲ執行シ得ズ。

第五條 本法ノ罪ヲ犯セル者ハ大元帥ヲ除ク外ハ何人ト雖、赦免スルコトヲ得ズ。

第六條 本法ノ罪ヲ犯セル者ニハ、刑法ノ公權剝奪、公權停止ニ關スル規定ヲモ適用ス。

第七條 軍法ニヨツテ各項ノ犯罪ヲ審判スル際ハ、拷問ノ方法ヲ用フルコトヲ得ズ。

第八條 軍法局ノ審判ニハ、刑事訴訟法ニヨル辯護士ノ辯護規定ヲ適用セズ。但シ被告人ハ證人ノ尋問ト、辯訴狀ノ呈出トヲ要求スルコトヲ得。

第五章 兵站、徵發及其他ノ例則

第一節 因糧局（兵站部）ノ組織

第一條 因糧局（兵站部）ハ、司令長官ガ地方ヲ攻取セル場合、左ノ職員ニ委任シテ之ヲ組織ス。

局長	一名
科長	六名

科員	若干名
供事（小吏）	若干名

第二條 因糧局ニ左ノ六科ヲ置ク。

第一科 徵發事務ヲ管理ス。

第二科 購入及沒收ニ關スル事務ヲ管理ス。

第三科 貨幣及兌換ノ事務ヲ管理ス。

第四科 運輸供給ニ關スル事務ヲ管理ス。

第五科 會計事務ヲ管理ス。

第六科 保管事務ヲ管理ス。

第三條 因糧局長ハ所屬ノ科長及科員ヲ指揮監督シ、兵站事務ヲ處理シ、司令長官ニ對シテハ全責任ヲ負フ。

第四條 因糧局ノ事務執行ハ、徵發令ノ範圍内ニ在ルヲ要ス。

第五條 因糧局成立後ニ於ケル執務ノ狀況ハ、大本營ノ陸軍部及財政部ニ報告シ、總督府ノ組織完了後ハ、財務司ニ併入シテ整理ス。

第六條 因糧局ノ事務分掌規定ハ、局長及委員ニ於テ之ヲ編定シ、司令長官ニ報告シ其ノ裁可ヲ經テ施行ス。

第二節 徵發令

第一條 戰時又ハ事變ノ際ハ、特ニ區内ノ物件ヲ賦課徵發シテ陸海軍ノ軍需品ニ充ツ。之ヲ徵發ト謂フ。

第二條 徵發ハ徵發書ヲ以テ之ヲ行フ。陸海軍總長、各省總督、陸海軍司令長官、司令官、司令及艦官等ニハ皆徵發書ヲ發スルノ權アリ。

第三條 徵發軍需品ノ多寡ヲ以テ徵發區域ノ廣狹ヲ定メ、徵發書ハ徵發區域内ニ於テノミ之ヲ行フ。

第四條 徵發書ハ該區ノ知事、郷長(村長)會長、社長、店主、一家ノ主人等ニ交付スルモノトシ、此ノ徵發書ヲ受取リタル者ハ、限定サレタル期間内ニ於テ然ルベク處理スルヲ要ス。

第五條 徵發物件ヲ隱匿シ、又ハ事故ニ託ツケテ應ゼザル者ハ、沒收スルカ、審理シテ所罰スルコトヲ得。

第六條 徵發物件ヲ受取リタル時ハ、受取書ヲ渡スヲ要ス。

第七條 徵發物品ノ種類左ノ如シ。

- 一、米、麥、雜穀、饅頭、饅頭粉、豆、饅頭菓子類、油、鹽、茶、蔬菜等ノ食品類。
- 二、被服、帽子、靴、布帛、藥品及一切ノ應用器具。
- 三、馬、牛、羊、豚、鷄等ノ家畜類。
- 四、人夫。
- 五、病院、厩舍、倉庫、祠宇、學校、寺廟及一切ノ公私家屋ノ類。
- 六、飲料水、薪炭。
- 七、鐵道、汽車、船舶、車輛及一切ノ石、木、皮革、金、鐵等ノ諸材料。

第八條 徵發物件ヲ還付スル際、若シ損失アラバ、家主ハ現場ニ於テ説明申述シ、其ノ旨受取書ニ註明スルコトヲ要ス。現場ニ於テ申述セザル者ハ無効トス。

第九條 徵發物件ニ對スル賠償ニシテ、若シモ即時發給シ得ズシテ、六個月以上遲延セル場合ハ、六個月ノ期限滿了ノ日ヨリ起算シ、月四厘ノ利息ヲ加算シテ返還スルヲ要ス。

第十條 徵發物ノ消耗及損失ニ對スル賠償價格ハ、皆當時ノ原價ヲ以テ標準トナス。若シ原價ニ從フベキ標準ト定期無キ場合ハ、評價委員ノ公決ヲ以テ之ヲ評價ス。委員ノ員數ハ事務ノ繁簡

ヲ以テ之ヲ定メ、委員ノ選擇ニ當ツテハ官民各々其ノ半数ヲ占ムルコトトシ、皆其時其地ノ徵發ト利害關係無キ者ヲ選任スルヲ要ス。

第十一條 徵發人夫ノ工賃及食費ハ一日百文ヲ標準トス。

第十二條 徵發物件ノ賠償金支拂ハ、徵發書ヲ發シタル陸海軍將校ニ於テ知事又ハ本人ニ通知シ、規定ニ準ジテ之ヲ行フ。

第十三條 第七條第一、二、三各項ノ徵發ハ、先ヅ商人ニ對シテ之ヲ行ヒ、不足分ヲ民家ニツイテ徵集ス。

第十四條 物件ノ徵發ニハ全部ヲ徵發スルコトヲ得ズ、適當ナル標準ト程度トニヨルヲ要ス。

第十五條 徵發官吏ニシテ若シモ權限ヲ濫用シ、商民ヲ欺瞞壓迫シテ、本章ノ規定ニ違犯スル者アル場合ハ、軍律ヲ以テ之ヲ處置ス。

附、書 式

(說明) 徵發書ト受取書トノ簡單ナル書式次ノ如シ。徵發物件ハ一々順序ヲ追テ明瞭ニ記載スルヲ要ス。但シ一種ノ嚴密ナル書式ヲ應用セルモノナル時ハ、因糧局ニ於テ制定印刷シ、陸海軍將校ニ交付シテ徵發セシムルモノトス。

書 發		書 控	
年 月 日	某地 某君	年 月 日	被徵發者住所職業姓名
以上計ノ物件ヲ必ズ		徵發書第 號	
迄ニ全部取揃ヘテ遅延缺漏ナキ様某處		徵發書第 號	
ニ送リ届ク可シ以上ノ通リ嚴重ニ通達		○	
官 名 印		○	

徵發書式(徵發書)裏面ニハ徵發令ノ摘要ヲ印刷ス

書	取	受	書	控
年 月 日	一、 一、 一、	受取書第 號	年 月 日	一、 一、 一、
官名 官名 官名	上記ノ物件ヲ某地某君ヨリ正ニ受領セ リ、仍ラ本受領書ヲ發給シテ證據トナス。	第 號	上記ノ物件全部既ニ受領セリ、仍ラ某地 某君ニ受取書ヲ發給セル外同様ノモノ ヲ控トシテ茲ニ保存ス。	受取書第 號
				○ ○ ○

受取書式

第三節 委任通則

- 第一條 各省ノ司令長官ハ、軍事部ヨリ申請シテ總理之ヲ委任ス。
- 第二條 司令官ハ該省司令長官ヨリ軍事部ニ申請シ、總理ノ裁可ヲ仰イデ委任ス。
- 第三條 司令長官部ノ參謀長及副官長ハ、司令長官ヨリ軍事部ニ申請シ、總理ノ裁可ヲ仰イデ委任ス。
- 第四條 司令部ノ參謀長及副官長ハ、司令官ヨリ司令長官ニ申請シ、更ニ司令長官ヨリ軍事部ニ申請シ、總理ノ裁可ヲ仰イデ委任ス。
- 第五條 司令長官部ノ參謀及副官ハ、司令長官ヨリ軍事部ニ申請シテ委任ス。
- 第六條 司令部ノ參謀及副官ハ、司令官ヨリ司令長官ニ申請シ、軍事部ノ裁決ヲ經テ委任ス。
- 第七條 司令長官部及司令部ノ參謀長及副官長ハ、偶々特別ノ事情アル場合ハ、軍事部ヨリ直接總理ニ申請シテ委任スルコトヲ得。
- 第八條 司令長官部ノ參謀及副官ハ、偶々特別ノ事情アル場合ハ、直接軍事部ニ於テ委任スルコトヲ得。
- 第九條 司令長官及司令官ハ特別ノ事情アル場合ハ、適當ナル人員ヲ部下ノ職員ニ充任セシムル

コトヲ得。但シ第二條ヨリ第六條ニ至ル迄ノ規定ニ準ジテ處理スルヲ要ス。

第四節 印章條例

第一條 印章ヲ左ノ五種トス。

大元帥印章

特任官印章

簡任官印章

薦任官印章

委任官印章

第二條 大元帥ノ印章ハ縱、横共ニ八「センチメートル」トシ、章材ニハ金ヲ用フ。

第三條 特任官ノ印章ハ縱、横共ニ七、五「センチメートル」トシ印材ニハ銅ヲ用フ。

第四條 簡任官ノ印章ハ縱、横共ニ六「センチメートル」トシ印材ニハ銅ヲ用フ。

第五條 薦任官ノ印章ハ縱、横共ニ五、五「センチメートル」トシ印材ニハ銅ヲ用フ。

第六條 委任官ノ印章ハ縱、横共ニ五「センチメートル」トシ印材ニハ銅ヲ用フ。

第七條 印章ノ縁ノ廣サハ、印章ノ横ノ長サノ十分ノ一トス。

第八條 印章ノ文字ニハ篆書ヲ用ヒ、何々之印トスル。

第九條 印色ハ朱色ヲ用ヒ、印材ハ永ク化學的變質ナキモノヲ用フ。

第十條 印章ハ大元帥ニ於テ制定鑄造シテ之ヲ頒布ス。

第六章 文告

一、中華革命軍大元帥檄。

袁賊我國民ヲ苦シムルヤ久シ。世界ニ共和國有ツテ以來未ダ斯ノ如キ萬惡ノ政府無ク、危亡禍亂茲ニ至ツテ極マレリ。清朝ノ末期賊ハ實ニ之ニ媚ビテ我國人ヲ殺セリ。而モ其ノ亡ブルヤ兵ヲ擁シ利ヲ徼メ、總統ヲ竊ンデ以テ和セントス。軍府ハ戰爭ノ綿延ニ忍ビズ、賊本漢族ナルヲ以テ、人情トシテ必ず宗國ヲ恩ムベキヲ思ヒ、且ツ總統ハ帝王萬世ノ比ニ非ラザルヲ以テ、俯シテ之ト協調シ、其ノ自ラ新ナランコトヲ冀ガヒ、民國亦初メテ立チ、舊汚未ダ絶エザルヲ以テ、首トシテ禮讓ヲ行ヒテ風ヲ天下ニ示シ、以テ範例ヲ樹テントセリ。思ハザリキ、賊性凶頑ニシテ諂詐習ヲ成シ、誓ヒニ背イテ常倫ヲ亂シ、妄ニ非分ヲ希ヒ、名ヲ中央集權ニ假リテ奸雄國ヲ竊ムノ實ヲ行フ。驕兵悍將巷闔ヲ騷擾シ、群少ノ佞臣左右ニ集リ、新聞社ヲ買收シ、議員ヲ買收シ、監督

ハ溺職シ、清議ハ銷沈シ、元勳ヲ嗾殺シテ、濫ニ外債ヲ借リテ禍ヲツクル。斯テ寧ヨリ變ジテ亂ヲ釀シ、皖、滬、閩、粵、湘、蜀相次デ兵ヲ舉グ。而モ義師敗明シテ賊勢愈々張リ、爾來殆ド國ヲナサズ。賊兵ノ至ル所、焚掠シテ墟トナリ、幼女モ貞淑ナル寡婦モ、均シク其ノ淫穢ニ供セラレ、猶モ意ヲ恣ニシテ多數ノ連累者ヲ罪ニ陷レ、偶々嫌疑ヲ受クル者アレバ、直ニ鋒刃ニ血ヲ塗リテ、毫モ假借セズ。爲ニ人民ハ全ク樂生ノ心ヲ喪ヒ、而モ賊ハ此ノ時、論功行賞ヲ行ヒテ大平ヲ慶ブ。蓋シ帝業成リテ、天下ニ已ヲ毒スル者莫シトナセルナリ。而モ非法ニモ正式總統ノ位ヲ奪ヒ、天ヲ祭リ孔子ヲ祀リ、議竟ニ冕旒ノ事ニ及ンデ、司馬ノ心（帝政實現ノ野心）路人モ皆見ル所ナリ。更ニ又約法ヲ改廢シ、國會ヲ解散シ、自治ヲ停止シ、司法ヲ縮減シ、生殺ノ權ヲ擅ニシテ偵謀ヲ市中ニ密布シ、盜匪ハ都鄙ニ横行シ、苛斂誅求、朋坐族誅シ、礦產ヲ鬻イデ國財空シク、民黨ヲ戮シテ元氣盡キ、軍府ガ艱難シテ建設セル共和ハ之ガ爲ニ餘ス所無ク壞滅サレ、賊惡盈チテ殉國ノ烈士ハ九原ニ恨ヲノミ、義ヲ首トスル勳賢ハ海外ニ投荒シ、國ヲ覘フ者遂ニ自由ト幸福トヲ得タリ。之レ我が中華民國ノ享クベキ所ニ非ズ、眞ニ天下ノ恥辱ナリ。而モ我が國民亦徒ニ生ヲ偷ンデ鼻息ヲ窺ヒ、敢テ之ヲ彈劾スル者無シ。之ニ馴レテ往カバ亡國滅種、國交ノ危難モ亦推シテ知ル可キノミ。即チ袁賊ニシテ天威神武ヲ妄稱セン日コソハ、我が民ノ降ツテ奴隸牛

馬トナルノ時タリ。此ノ故ニ志士仁人ハ天ヲ仰イデ心ヲ勵マシ、肝膽ヲ戰場ニ塗リ、膏血ヲ原野ニ流シテ敢テ辭セザルナリ。軍府ハ宗國ノ頽勢ニ痛心シ、獨夫ノ肆虐ヲ憤リ、茲ニ義兵ヲ率ヒ、誓ツテ元兇ヲ殄シテ新邦ヲ再建セントス。國民ニ望ム、中原ノ豪俊旆ヲ望ンデ來リ歸シ、草澤ノ英賢風ヲ聞キテ興起セヨ。更ニ又袁軍ノ將士吏卒ニシテ反正投降スル者ハ、何等間フ所無ク同様ニ拔擢給賞スベシ。若シ順ヲ棄テテ逆ニ效ヒ、迷ヲ執リテ復セザレバ、大兵至リテ誅罰必ズ申ビ、悔ユルト雖又及バザルベシ。仍テ天下ニ布告シテ均シク聞知セシム。茲ニ檄スルコト合ノ如シ。

孫 文 印

中華民國 年 月 日

（說明）檄文ノ末尾ニハ大元帥親ヲ署名捺印スルヲ要ス。但シ革命軍義舉ノ際、大元帥ガ任地ニ不在ナル場合ハ、司令長官ニ於テ代ツテ捺印シテ宣布スルコトヲ得。

二、安民布告

職、名布告

袁世凱共和ニ假托シテ專制ヲ實行シ、爲ニ四海ノ民皆生本ニ安ンゼズ。仍テ茲ニ大元帥ノ命ヲ奉ジ、大軍ヲ督シテ來ツテ兇賊ヲ誅シ、以テ虐政ヲ除カントス。而シテ地方ノ治安維持ニ對シテ

ハ、完全ニ之ヲ保護スルノ責任ヲ有スルモノタリ。故ニ民ハ各々分ニ安ンジテ業ヲ守ルベク、流言蜚語ヲ信ジテ警擾スルガ如キコト勿レ。若シ又袁軍ノ將兵勇者ニシテ武器ヲ携ヘテ來營投降スル者有ラバ、決シテ誅戮セザルベシ。之ニ反シ表面服從シ裏面敵ニ内通シテ橋梁・電線ヲ破壞シ、道路溝渠ヲ妨碍閉塞セシメ、兵營公署ヲ燒燬シ、兵器火藥ヲ蔭匿私藏シ、逃亡者間諜ヲ庇護シ、流言ヲ傳布シ、事端ヲ發生セシムル等ノ不法行爲ヲナシ、告發サレ又ハ搜索ノ結果捕ヘラレタル者アル時ハ、必ズ嚴重ニ之ヲ懲罰ス。若シ本軍軍人ニ不法ナル者アリ、居民ヲ擾害シタル場合ハ、軍營ニ拘引シ、又ハ指名上申セバ、軍律ニ依テ嚴重ニ處罰シ、以テ軍紀ヲ肅シ、一切ノ人民ヲシテ本軍ノ紀律ノ嚴明ナルヲ知ラシメ、至ル處秋毫モ犯ス勿カラシメントス。各々此ノ意ヲ體シ、嚴重ニ遵奉シテ違フコト勿レ。特ニ茲ニ布告ス。

(○○○) 姓名

中華民國 年 月 日

三、四言安民告示(原文)

職、、、名佈告

我軍起義 救國救民 宗旨正大 舉動文明 所至之處 鷄犬無驚 誠恐大衆

恐懼不寧	爲此佈告	爾等居民	各安生業	毋許紛紜	其餘兵辨	繳械營門
概免誅戮	一視同仁	如敢故違	申通敵軍	或毀軍營	或藏奸細	或匿逃兵
一經查出	定予嚴懲	如或本軍	在外橫行	指名呈控	按律處刑	特此佈告
各宜凜遵						

(○○○) 姓名

中華民國 年 月 日

四、公共建築物及名勝古跡保護ノ告示

職、、、名佈告

凡ソ公共ノ建築物及名勝古跡ハ、地方ノ公益物ニシテ、人民ノ信仰シ、關係管理スル所ナルヲ以テ、宜シク保護シテ以テ公德ヲ重ンズベシ。從ツテ軍人等ハ之ヲ破壞損折スルコトヲ得ズ。若シ敢テ違フ者アル時ハ、調査逮捕シテ嚴重ニ處罰ス。各自遵守シテ違フコト勿レ。特ニ茲ニ布告ス。

五、布告

職、、、名佈告

本軍ノ紀律ハ嚴明ナリ。若シ不法行爲ヲナセル者アラバ、立ロニ軍律通り處罰ス。仍テ茲ニ特ニ將軍律ヲ刊行貼付シ、各地ノ居民ニシテ、若シ明カニ軍律ヲ犯セル不法ノ將卒有ルニ遇ヘバ、其ノ旨軍門ニ指名報告シテ告訴スルカ、又ハ其ノ者ヲ拘引スルコトヲ得ルモノトス。特ニ茲ニ布告スルコト次ノ如シ。

- 一、號令ヲ聽カザル者ハ銃殺ス。
- 二、戰線ニ於テ退却シタル者ハ銃殺ス。
- 三、軍情ヲ漏洩シタル者ハ銃殺ス。
- 四、密ニ逃亡セル者ハ銃殺ス。
- 五、敵ニ投降シタル者ハ銃殺ス。
- 六、掠奪シタル者ハ銃殺ス。
- 七、良民ヲ焚殺シタル者ハ銃殺ス。
- 八、婦女ヲ強姦シ、又ハ強奪シタル者ハ銃殺ス。
- 九、賄賂ヲ收受シ、資財ヲ強要シタル者ハ銃殺ス。
- 十、仇ヲ尋ネテ報復シ、奸言誣言ニヨツテ他人ヲ陷レタル者ハ銃殺ス。

- 十一、擅ニ私刑ヲ用ヒ、又ハ良民ヲ捕ヘタル者ハ銃殺ス。
- 十二、黨ヲ結ビ兇器ヲ持ツテ争ヘル者ハ銃殺ス。
- 十三、名目、金額ニ關スル虚偽ノ報告ヲナシ、又ハ偽ツテ金品ヲ受領セル者ハ銃殺ス。
- 十四、外國人ヲ殺害シ、教會、學校、醫院等ヲ燒棄破壞セル者ハ銃殺ス。
- 十五、流言蜚語ヲ傳布セル者ハ銃殺ス。
- 十六、住民又ハ捕虜ヲ金品ト交換セル者ハ銃殺ス。
- 十七、押賣リ又ハ無理買ヒヲナシタル者ハ禁錮ニ處ス。
- 十八、鬭爭殺傷セル者ハ禁錮ニ處ス。
- 十九、兵器、彈藥ヲ遺失又ハ浪費シタル者ハ禁錮ニ處ス。
- 二十、敵ノ軍資金、兵器及物品ヲ奪ヒ、陰匿シテ報告セズ、密ニ販賣セル者ハ禁錮ニ處ス。
- 二十一、私ニ良民ノ家ニ侵入セル者ハ禁錮ニ處ス。
- 二十二、賭博シ、又ハ賭博場ヲ開設シ、或ハ之ガ開設ヲ保護又ハ請負タル者ハ禁錮ニ處ス。
- 二十三、阿片ヲ吸飲シ、阿片局ヲ開設シ、又ハ之ガ開設ヲ保護又ハ請負ヒタル者ハ禁錮ニ處ス。
- 二十四、酒亂兇行シテ事端ヲ發生セル者ハ禁錮ニ處ス。

二十五、妓樓又ハ劇場ニ於テ暴行シタル者ハ禁錮ニ處ス。

中華民國二年一月一日

〇〇〇〇印

二十、...

二十一、...

二十二、...

二十三、...

二十四、...

二十五、...

二十六、...

二十七、...

二十八、...

二十九、...

三十、...

三十一、...

三十二、...

三十三、...

三十四、...

三十五、...

第二編 講演及談話

一、中國民主革命ノ重要性

一九〇五年（光緒三十一年）東京ニ於ケル歡迎會ノ席上ニテ

余ガ往年民族主義ヲ提唱シタ頃ハ、之ニ應ジテ來リ和スル者ハ僅ニ會黨ノミデアツテ、中流社會以上ノ人ハ實ニ寥寥タルモノデアツタ。然ルニ其後數年ヲ經テ思想ノ進歩ニ伴ヒ、民族主義ハ一日千里ノ勢ヲ以テ社會ノ各方面ニ浸潤シ、今ヤ殆ド革命ノ必要ヲ認メナイ者ハ無イ様ニナツタ。余不肖ナリト雖、曾テ民族主義ノ發展ニ力ヲ致シ、今之ガ爲ニ諸君ニ歡迎サレルコトハ、實ニ我國ノ爲ニ慶賀スベキコトデアアル。惟フニ諸君ガ日本ニ來タノハ日本ノ文明ヲ學バンガ爲デアアル。然ルニ其ノ日本ノ文明ハ固有ノモノデハナクテ、元之レヲ中國ニ取り、其後更ニ泰西ニ學ンデ得タ所ノモノデアアル。故ニ中國ガ其ノ固有ノ文明ヲ再興セシムルニ於テハ、日本ヲ凌駕シ得ルコトハ何等疑フ餘地ノ無イコトデアアル。

中國ハ只ニ日本ヲ凌駕シ得ルノミデハナイ。余ハ今回米國ヨリ英國ニ渡リ、更ニ獨佛等ノ諸國ヲ歴遊シタガ、古代文化ノ中心地タリシ埃及、希臘、羅馬等ノ文化ハ現在皆既ニ觀ルニ足ルモノ

無キ状態デアル。彼等「アリアン」民族ノ文明ハ數百年前ヨリ發達シ來ツタモノデアルガ、我が中國ノ文明ハ五千年前既ニ著シイ進歩ヲ示シテキタモノデ、此點全ク歐米人ノ遠ク及バザル所デア。只其後中國ハ保守的傾向ヲ迪ツタ爲、彼等西人ノミガ獨リ進歩スル結果トナツタ。然シ中國ニ於ケル近時十年來ノ思想ノ變遷ニハ異常ノ速度ガアルカラ、此ノ速度ヲ以テ推移スレバ、十年二十年ノ後ニハ歐米ノ文明ハ悉ク我が國ニ於テ有スルコトトナリ、或ハ之ニ勝ルコトモ不可能事デハナイデアラウ。蓋シ如何ナル國デモ更新シ得ナイト言フ理ハ無イカラデア。彼ノ英京倫敦ノ如キモ曾テハ電車ガ無クテ馬車ヲ用ヒテキタ時代ガアツタ。日本モ亦然リデア。余ガ先度日本ヲ去ツテ未ダ二ケ年ニモナラナイガ、今回來テ見レバ實ニ隔世ノ感ガアル。則前回ノ馬車ハ今ヤ悉ク電車ニ改ツテキルデハナイカ。數年後ノ中國モ同様ニ必ズヤ今日ノ中國トハ異ルデアラウ。中國ノ領土ト人口トハ皆各國ノ及バザル所デア。吾人ガ生ヲ中國ニ享ケタ事ハ實ニ幸福ト言ハネバナラナイ。各國ノ賢豪ハ我國ノ如キ舞臺ヲ得テ、ソレヲ利用スルコトヲ欲シテキルガ皆不可能ナノデア。而モ我等ハ既ニ此ノ大舞臺ニ據ツテキル。然ルニ反ツテ倚ル所ナク、數年蹉跎シ、寸功モ展ビズシテ、此ノ絶妙ノ山河ヲ依然異族ノ支配ニ委ネ、今ニ至ル迄、猶之ヲ光復シ一大共和國ヲ建テテ世界ニ誇示シ得ナイノハ實ニ羞ヅベキコトノ極ミデア。歐米人ハ吾人ガ此

ノ土地ヲ利用シ得ナイコトヲ知ツテ、竟ニ狡然タル思ヲ逞シウスルニ至ツタ。之ガ爲ニ中國人ハ事情ノ日ニ切迫スルノヲ見テ心中危懼ノ念ニ耐エナイモノガアル。然シ苟モ吾人ニ於テ發憤シテ強盛ヲ圖ルナラバ、彼等白人モ敢テ我國ヲ窺フ様ナコトハ無イデアラウ。此際自立ヲ思ハズ、徒ニ人ヲ懼ルルヲ以テ事ト爲スガ如キハ、決シテ計ノ得タルモノデハナイ。

此ノ故ニ余ハ諸君ニ、只ダ中國振興ノ責任ヲ各自ノ雙肩ニ負ハレンコト願フモノデア。日本ノ維新ノ初メニ於テ、其ノ原動力トナツタ者ハ僅ニ數名ノ志士ニ過ギナカツタガ、僅々三十餘年ニシテ六大強國ノ一ト迄ナルニ至ツタ。吾人ノ今日ノ行動モ臆テハ必ズ同一ノ效果ヲ收メ得ルデアラウ。

人或ハ謂フ。今日ノ中國ハ諸般ノ事ガ皆幼稚デアルカラ、速カニ效果ヲ舉グルコトハ到底不能デア。然シ事實ハソウデハナイ。成程各國ニ於ケル機械器具ノ發明ハ、皆數百年ヲ經テ初メテ完成サレタモノデア。其ノ模倣ハ數年ヲ足ルデアツテ、中國今後ノ情況ニツイテモ同様ノコトガ言ヒ得ルデア。

又謂フ。各國ハ野蠻ナ時代カラ專制ノ時代トナリ、專制カラ君主立憲トナリ、君主立憲ノ時代ヲ經テ初メテ共和政體トナツタ。其ノ間次序井然タルモノガアル。中國ノ現在ハ君主立憲政體ヲ

探ルベキ時代デアツテ、中間ノ階梯ヲ飛ンデ共和政治ヲ實施スルコトハ不可能デアルト。此ノ説モ亦誤謬デアル。鐵道ノ敷設ニ於テモ之ヲ知り得ルデアラウ。汽車ハ始メ極メテ粗惡ナモノカラ漸次改良サレタモノデアアル。然シ今中國ニ鐵道ヲ敷設スルトスレバ、敷設ノ最初ニ當ツテ如何ナル式ノ汽車ヲ採用スルカ。極惡ナモノカ、改良サレタ最新式ノモノカ。勿論後者デナクテハナラナイ。此ノ例ニヨツテモ是非ハ自ラ昭然タルモノガアル。

彼ノ「フイリッピン」ハ土蕃乍ラ、能ク西班牙、米國ノ二大國ヲ拒イデ共和國ヲ建テタ。又北米ノ黑人ハ以前皆鹿豕ノ如ク蠢動シテキタノデアルガ、今ヤ悉ク自由ノ民トナルコトヲ得タ。共和ガ中國ニ不可ナリト言フコトハ、換言スレバ中國人ハ「フイリッピン」人ヤ北米ノ黑人ニモ及バナイモノデアルト言フコトデアアル。此ノ故ニ吾人ハ中國ニ共和ハ不可ナリト言フコトハ出來ナイ。而モ敢テ不可ナリト謂フガ如キハ、之レ進化ノ公理ニ反スルモノデアリ、文明ノ眞象ヲ知ラザルモノデアアル。且ツ世界ニ於ケル立憲政體ハ流血ヲ經テ初メテ得ラレタモノデアアルガ、同ジク流血ノ代償ヲ拂ヒナガラ直ニ共和ヲ企圖セズシテ、何ガ故ニ不備不完ナル立憲ヲ目標トスル必要ガアルガ。語ニ曰ク「法ヲ上ニ取リテ僅ニ其中ヲ得」ト。其ノ中ヲ擇ンデ法ヲ之ニ取ルガ如キハ智者ノ爲サザルトコロデアアル。諸君ハ此等ノ謬レル思想ヲ悉ク淘汰シ、中國ト中國人トノ幸福ノ爲ニ最上ノ改

革ニ着手セラレンコトヲ望ム。

二、三民主義ト中國ノ前途

—光緒三十一年（一九〇六年）民報創刊紀念祝賀會ニ於テ—

諸君、本日諸君ガ勇躍來集サレタニ付テ、余ハ只單ニ之ヲ喜ブバカリデナク、大ナル覺悟ヲ有スルモノデアアル。本日ハ民報創刊紀念ノ祝日デアアル。ソシテ民報ノ講ズル所ハ、中國民族ノ前途ニ關スル問題デアアル。本日來集サレタ諸君ハ、必ズヤ中國ノ前途ヲ念慮シテ居ラレルコトト思フガ、更ニ此ノ機會ニ大ニ此ノ問題ヲ研究シナケレバナラナイ。

民報發刊以來已ニ一年ヲ經過シタ。此ノ間本報ガ講ジタ所ノ大主義ハ、第一民族主義、第二民權主義、第三民主主義デアアル。

民族主義ヲ理解スルニハ如何ナル研究ヲ必要トスルカ。果シテソナナ研究ヲ必要トスルモノデアルカ。此點今之ヲ一個ノ人ニ譬ヘテミレバ、誰レデモ其ノ父母ハ一見明瞭ニ之ヲ知ルコトガ出來ルシ、兩親ヲ行路ノ人ト同一視スルコトハ出來ナイ、又通リカカリノ人ヲ自分ノ父母ト考ヘルコトモ出來ナイガ、民族主義モ之ト同様ナモノデアツテ、元來種族性カラ出發シタモノデアアル。滿洲

人ハ入關以來今日迄已ニ二百六十餘年ニナルガ、我々漢人ハ、子供デモ、滿人ヲ見レバ、夫レガ滿人デアルコトガワカリ、漢人ト間違フ様ナコトハナイ。之ガ即チ民族主義ノ根本デアアル。只茲ニ知ラナケレバナラナイ最重要ナ一事ガアル。ソレハ民族主義ガ決シテ異種族ヲ排斥スルモノデハナイト言フコトデアアル。吾人ハ只異種族ノモノガ、我民族ノ政權ヲ奪フコトヲ拒否スルダケナノデアアル。之ハ我々漢人種ニ政權ガアツテコソ、始メテ國ヲ保存シ得ルモノデアリ、政權ヲ異種族ニ把握セシムル時ハ、國ハ存シテモソレハ我々漢人ノ國デハナクナルカラデアアル。我々ハ現在此ノ國ト政權トガ、何處ニアルカラ知ラナケレバナラナイ。我々ハ已ニ亡國ノ民トナツテキルノデアアル。地球上ニ住息スル人類ノ總數十數億ノ内、我々漢人ノ數ハ四億デ、全數ノ四分ノ一ノ多數ヲ占メテ居リ、地球上ノ最大民族デアリ、最古ノ文明ヲ有スル國デアルト言ヒ得ル。而モ我々ハ今ヤ亡國ノ民トナツテキルノデアアル。誠ニ奇怪ナコトデハナイカ。彼ノ人口二十萬ニ過ギナイ南阿ノ一小國（那非洲杜國）ハ英國ガ之ヲ亡サントスルヤ、三年ノ久シキニ互ツテ之ト争ヒ、人口數百萬ニ過ギナイ「フリッピン」モ米國ノ攻略ニ對シテ數年間之ニ對峙シ得タ。然ルニ我々漢族ハ亡國ノ民タルコトニ安ンジテキルノデアアル。往昔我ガ漢族ハ、其ノ亡國時代ニ於テモ、滿洲族ニ服從ハシナカッタ。眼ヲ閉ヂテ史上我等ノ祖宗ノ流血河ヲ成シ、伏尸野ヲ蔽フタ光景ヲ想起スレバ、

彼等ハ充分子孫ニ對シテ恥無キヲ得ルガ、只耐ヘラレナイコトハ、子孫タル我々ノ現在ノ態度デアアル。亡國以來漢人ハ滿洲政府ノ愚民政策ニ對シテ、表面上之ニ服從シタカノ如ク見エタガ、心中デハ決シテ斯ル狀態ニ甘ンジテハキナカッタ。ソシテ之ガ爲ニ數度ノ義兵ヲ舉ゲタ。其後最近ニ到ツテ、我々漢人ノ民族革命ノ風潮ハ、一日千丈ノ勢トナリ、之ニ對シテ滿人モ排漢主義ヲ唱フルニ至ツタ。彼等ハ常ニ彼等ノ祖先ハ團結力ト武力ト有シ、之ヲ以テ漢人ヲ征服シタ。故ニ永ク此ノ力ヲ保存シテ、久シク漢人ノ上ニ居ラナケレバナラナイト言ツテキル。彼等ノ此說タルヤ元ヨリ正シイ。然シ之ニハ他ニ今一ツノ最大ナル原因ガアルデアアル。ソレハ我々漢人ニ團體ガ無イカラデアアル。我々漢人ニ若シ團體ガアツタナラバ、其ノ力量ハ他ニ比シテ幾千萬倍トナリ、民族革命ノ事モ決シテ不成功ヲ怕ルル必要ハナイ。余ハ嘗ツテ、民族革命ハ滿洲民族ヲ盡ク滅スモノデアルト言フ說ヲ聞イタコトガアルガ、之ハ大ナル謬リデアアル。民族革命ノ主因ハ滿洲人ニ滅亡サルルコトニ甘ンゼズ、又彼等ガ我々ノ政治ニ主トナルコトヲ欲セズ、之ガ爲ニ必ズ彼等ノ政府ヲ撲滅シ、我等漢民族ノ國家ヲ復興セントスルニ在ル。故ニ我等ハ決シテ滿洲人ヲ恨ムモノデハナク、漢人ヲ害スルコトニ於テノミ、滿洲人ヲ恨ムモノナノデアアル。從ツテ若シ我々ガ革命ヲ實行スル際、彼等ガ我々ヲ阻害シナイナラバ、我々ハ決シテ彼等ヲ仇敵トスル様ナコトハナ

イノデアル。彼等ガ當初漢族ヲ滅シタ際、彼等ハ城ヲ攻メ破リ、更ニ十日間ノ虐殺ヲ敢テシタ後、始メテ其ノ力ヲオサメタ。斯ル事ハ人類ノ爲スベキコトデハナイ。故ニ我々ハ斯様ナコトハシナイ。彼等ガ來ツテ我々ヲ阻害スル場合ニノミ極力彼等ヲ懲戒シ、彼等ヲシテ我々ト並立シ得ザラシメントスルノデアル。現在ノ情勢ヨリスレバ、滿洲政府ハ排漢主義ヲ實行シ、中央集權ヲ謀リ、憲法ヲ愚民政策ノ具タラシメントシ、彼等ノ心理ハ日ヲ追フテ惡化シツツアルガ、彼等ガ死命ヲ賭シテ政權ヲ把持セントスル理由ハ、我々漢人ガ彼等ヲ剽滅スルダラウコトヲ惧レルカラデアツテ、之ガ爲ニ其ノ騎虎ノ勢力ヲ如何トモ爲シ得ナイノデアル。故ニ我々ハ必ズ民族革命ノ目的ヲ明カナラシメネバナラナイ。ソシテ若シ滿人ガ依然此種ノ妄想ヲ抱キ、續イテ政權ヲ把持シ、漢族ヲ制馭セントスルナラバ、漢族トシテハ一日モ之ヲ坐視スルコトハ出來ナイノデアル。此點諸君モ同見デアラウト思フ。

民族革命ノ大要ハ斯ノ如キモノデアルガ、民權主義ニ至ツテハ、之ガ政治革命ノ根本ヲナスモノデアル。將來民族革命實行後ニ於テハ、現在ノ劣惡ナル政治ハ固ヨリ一掃シ得ルデアラウガ、更ニ彼ノ劣惡ナル政治ノ根本ヲモ除去シナケレバナラナイ。即チ中國ハ數千年來君主專制政體デアッタガ、此種ノ政體ハ自由ト平等トヲ尊ブ國民ノ甘シテ受ケ得ルモノデハナイ。而シテ此種ノ

政體ヲ除去スルニハ、單ニ民族革命ノミニヨツテハ成功シ得ナイ。彼ノ明ノ太祖ハ蒙古ヲ驅逐シテ中國ヲ恢復シ、其ノ民族革命ハ成功シタガ、彼ノ行ツタ政治ハ依然漢唐宋等ト殆ト異ル所無キモノデアツタ爲ニ三百年ノ後、又外人ニ侵入サルルニ至ツタ。之ハ其ノ政體ガ惡カッタカラデアツテ、決シテ政治革命ガ惡カッタカラデハナイ。政治革命ノ手段ノ研究ニハ非常ナ努力ヲ要スルガ、其ノ着手ハ民族革命ト並行スベキモノデアル。我々ガ滿洲政府ヲ推倒シ、滿人ヲ驅除セントスル其ノコトハ民族革命デアルガ、君主政體ヲ顛覆スルコトハ政治革命デアル。ソシテ此等ノ兩者ハ二回ニ分ツテ二度ニ之ヲ爲スノデハナイ。我々ノ政治革命ハ結果カラ見レバ民主立憲政體ノ樹立デアツテ、現在ノ政治ハ漢人ニヨル君主政體デアルカラ、之ニ對スル革命ヲ行ハナケレバナラナイノデアル。

佛蘭西大革命ト露國ノ革命トハ種族ノ問題ヲ伴ハズ、純然タル政治問題ニヨルモノデアツタ。佛蘭西ニハ已ニ民主政體ガ成立シ、露國ノ虛無黨モ亦同様ノ目的ヲ達セントシツツアル。中國ノ革命後ニ於テモ、此種政體ガ最モ適當シタモノデアルコトハ、人々ノヨク知ル所デアルガ、茲ニ最モ重要ナ他ノ一ツノ問題ガアル。ソレハ革命家達ガ若シモ皇帝思想ヲ抱有スルナラバ、究局ニ於テ革命ハ國ヲ亡スダラウト言フコトデアル。中國人ハ從來國家ヲ私人ノ財產ト心得テキタ爲

ニ、草昧ノ英雄ガ崛起シテ彼此相争ヒ、争ツテ目的ヲ達シナケレバ、各々一地方ニ割據シテ相降ラズ、此ノ爲ニ往々一二百年ニ互ツテ國內ガ分裂シ、而モ猶平定サレザル如キ状態デアツタ。現今中國ニ對シ、列國皆虎視眈々タル時ニ當ツテ、若シモ革命家ガ相互相争ヒ四分五裂スルガ如キコトガアルナラバ、之レ誠ニ自ラヲ亡スモノト言ハナケレバナラナイ。近來志士達ハ皆外人ガ中國ヲ瓜分スルダラウコトヲ怕レテキルガ、余ノ見解ニヨレバ、外人ハ決シテ中國ヲ瓜分スルコトハ出來ナイガ、只怕レルノハ中國人自ラガ之ヲ瓜分シハシナイカト言フコトデアル。斯ノ如キコトニナレバ、救ヒ得ナイデアラウ。仍テ我々ハドウシテモ一般民衆ニヨル革命ヲ實現シテ民國政府ヲ建テナケレバナラナイ。之ハ我々ノ革命ノ目的タルノミナラズ、革命ノ過程ニ於テモ頗ル重要視シナケレバナラナイモノデアル。

次ニ民生主義ニ付テ論ズレバ、之ガ内容タルヤ實ニ千條萬緒デアツテ、十分ナル研究ヲナサナケレバ、明確ニ知ルコトハ出來ナイモノデアル。且ツ困難ナル社會問題ノ發生ハ寧ロ將來ノコトデアツテ、此點民族民權ノ兩問題ガ燒眉ノ急ヲ告ゲツアルノトハ異ツテ居リ、之ガ爲ニ民生主義ヲ理解シ様トスル者モ少イノデアル。然シ若シ人ノ眼光ガ遠クヲ見透シ得ルナラバ、凡ユル大災禍モ發生スル機會ガナク、之ガ防止モ極メテ容易デアルガ、之ニ反シ發生後ニ至ツテ之ヲ撲滅

シヨウトシテモ、ソレハ極メテ困難デアル。歐米ニ於テハ已ニ各種ノ困難ナル社會問題ガ集積シ、其ノ解決ハ頗ル困難トナツテキル。然ルニ中國ハ猶未ダ幼稚ナ時代ニアルカラ、此種問題ノ發生ハ將來ノコトデアル。只將來之ガ發生シタ場合ニ其ノ收拾策ヲ講ジナカッタナラバ、又シテモ大革命ヲ惹起スルニ至ルデアラウ。革命ニヨル手段ハ萬已ムヲ得ザルニ至ツテ、始メテ用フベキモノデアツテ、度々革命ヲナスコトニヨツテ、國民ノ元氣ヲ傷ケテハナラナイ。故ニ我々ガ民族革命ト社會革命トヲ實行スルニ當ツテハ、必ズ之ト同時ニ社會經濟組織ノ改良方法ヲ考ヘ、以テ將來ニ於ケル革命ノ再發ヲ防止スベキデアツテ、之レ眞ニ我々ノ最大責任ナノデアル。今先ヅ民生主義發生ノ原因ヲ説明スルコトニスレバ、民生主義ハ十九世紀ノ上半期ニ至ツテ始メテ盛行ハルルニ至ツタモノデアツテ、従前ハ文明未發達ノ爲、流行ノ原因ガナカッタノデアアルガ、文明ガ發達シ、社會問題ガヨリ緊要ノ度ヲ加フルニ至ツテ發生シ來ツタモノデアル。此間ノ理ハ難解デアルカラ、卑近ナ事ヲ以テ之ヲ譬喩スレバ、文明ノ進歩ニツレ、人間ガ其ノ體力ヲ使用スル機會ハ少クナリ、自然力ヲ用フル機會ガ多クナル。即チ電力蒸氣力ノ如キハ之ヲ人力ニ比スレバ千倍モノ力ヲ有スル。一例ヲ舉グレバ往昔一人ノ人ガ身心ヲ勞シテ田ヲ耕シテモ、其ノ結果トシテ得ル所ノ米穀ハ、多クトモ數人ニ供スル食ヲ得タニ過ギナカツタ。然ルニ近世農學ガ發達シタ

結果、一人デ耕ス所ヲ千人デ食ツテモ尙盡キナイ状態トナツタ。ソレハ彼等ガ手足ヲ使フバカリ
デナク、機械ノ力ヲ借リテ幫助スル爲ニ、勞半ニシテ功之ニ倍スル結果トナルノデアアル。従ツテ
往時ハ農夫ヲ重シタ。彼等ニヨツテ始メテ人々ノ食物ガ得ラレ、彼等ハ專ラ其ノ生産ニ力ヲ注
イダ。然ルニ現時ニ於テハ寧ロ農工生産物ハ其ノ足ラザルヲ愁ヘザルノミカ、却ツテ生産過剰ニ
苦シム如キ状態トナツタ。之ガ爲ニ商業ニ重キヲ置キ、貨物ヲ他國ニ輸出シテ、利益ヲ謀ラント
スルニ至ツタ。歐米各國皆然リデアアル。斯ク論ジ來レバ歐米各國ハ定メシ家給人足、古代ニ見ラ
レナカッタ幸福ヲ享受シツツアルダラウト思ハレル。然ルニ試ニ各國ノ現象ヲ見レバ、事實ハ全
ク之ニ反スルモノナルコトヲ知ルノデアアル。統計ニヨレバ英國ノ富ハ前代ニ比シテ其ノ數千倍以
上ニ達シテキルガ、他面人民ノ貧窮ノ度モ亦前代ノ數千倍以上ニ達シテキルノデアツテ、富メル
者ノ數ハ極メテ少ク、貧シイ者ノ數ハ極メテ多イノデアアル。ソシテ之ハ人力ガ資本ノ力ニ對抗シ
得ナイ爲ニ起ツタ現象デアアル。古代農工ノ諸業ハ皆人力ニヨツテ之ヲナシタガ、現時自然力ガ發
達シ、人力ハドウシテモ之ニ及バナイ様ニナツタ。其ノ結果農工ノ諸業ハ皆資本金ノ掌中ニ歸
シ、資本ノ増大ニ伴レテ自然力ノ利用モ次第ニ大トナリ、貧民等ハ到底之ニ抵抗シ得ズシテ、自
然其ノ立場ヲ失ツテ了ツタ。社會黨ガ民生主義ヲ唱ヘタ所以ハ、貧富ノ不平均ヲ何トカ法ヲ設ケ

テ挽救シヨウトシタコトニ基因スルノデアアル。次デ此ノ説ヲナス者ガ次第ニ増加シ、遂ニ一種ノ
極メテ繁博ナ科學トナルニ至ツタ。而モ之ガ又極メテ多クノ流派ニ岐レ、或ハ資本ノ國有ヲ主張
シ、或ハ貧民ニヨル資本均分ヲ主張シ、又或者之ガ公有ヲ主張スル等議論紛々タル状態トナツ
タ。ソシテ識者ハ皆歐米ニ於ケル社會革命ノ免レ得ザルモノナルコトヲ知ルニ至ツタ。之レ眞ニ
吾人ニトツテハ前車ノ鑒デアアル。

將來中國ガ同様ナ立場ニ至ツタ場合、始メテ民生主義ヲ主張スル様ナコトデハ已ニ遲イ。現在
カカル現象ハ中國ニハ存シナイ。然シ我々ノ時代ニハ見ラレナクテモ、我々ノ子孫ノ時代ニハ必
ズ此種現象ヲ見ルニ至ルデアラウ。故ニ將來如何トモナシ難キニ至ツテ大破壊ヲ想フヨリモ、寧
ロ今日豫メ防止ノ方法ヲ講ズル方ガ良策デアアル。且ツ中國ガ若シ今日三民主義ヲ實行スルトセ
バ、歐米ニ比シテソレハ遙カニ容易デアアル。何トナレバ社會問題ハ文明ノ進歩ニ伴レテ發生シ、
文明ノ程度ガ低クケレバ社會問題ノ發生モ從ツテ少イカラデアアル。一例ヲ舉グレバ、今日中國ノ
貧民ハ尙柴ヲ切り草ヲ割ツテ生活シテキル者ガアルガ、此種ノ生活ハ歐米デハ夙ニ其ノ跡ヲ絶ツ
テ、一切ノ生活上ノ利益ハ資本金ニ吸收サレ、貧民ニハ力量ハアルガ、何事ヲモ爲スベキ權利ガ
無ク、蠅ノ頭程ノ僅カノ利益ヲ得テ、其ノ生存サヘ不可能ナ状態デアアル。故ニ社會黨ハ常ニ文明

ハ貧民ニ不利デアルカラ、往時ニ還ルニ如カズト言ツテキルガ、之亦矯枉過正ノ説ト言ヒ得ル。且ツ文明ノ進歩ハ自然ニ馴致サレルモノデアツテ、避ケ得ザルモノデアアル。然シ文明ニハ善果ト惡果トガアルカラ、善果ヲ取ツテ惡果ヲ避ケベキデアアル。歐米各國ニ於テハ善果ハ盡ク富メル者ガ享有シ、貧民ハ却ツテ惡果ヲ食ヒツツアル。斯ノ如ク少數人士ガ文明ノ幸福ヲ把持シテキル爲ニ、此ノ不平等ナ世界ヲ形成スルニ至ツタノデアアル。

我々ノ今回ノ革命ハ、單ニ國民ノ爲ノ國家ヲ建設セントスルモノデアアルバカリデナク、社會ノ爲ノ國家ヲ建設セントスルモノデアアル。ソシテ此點デハ歐米モ決シテ及ビ得ナイモノデアアル。歐米ニ於テ社會問題ヲ解決シ得ナイノハ、土地問題ガ解決サレテキナイカラデアアル。地價ハ文明ノ進歩ト共ニ日ニ騰貴スルモノデアアル。百年前ニ於ケル英國ノ人口ハ已ニ一千餘萬有ツタガ、其ノ糧食ニハ剩餘ガアツタ。然ルニ今日ニ於テハ人口ハ三倍ニ増加シタニ過ギナイガ、糧食ハ二ヶ月分ノ用ヲ滿スニ足ラズ、其餘ハ皆外國ノ生産ニ依倚セネバナラナイ有様デアアル。之ガ爲ニ英國ハ海軍ニ力ヲ注ギ、海上權ヲ保護シ、糧食ノ運送ヲ確保シツツアル。之ハ英國ノ富豪達ガ耕地ヲ牧場又ハ獵場トシ、ヨリ容易ニ、ヨリ多クノ利ヲ得ントシテ、農業ヲ漸廢シタカラデアツテ、土地ハ不足シ居ラザルニ係ハラズ、貧民等ハ耕スベキ田ナク、勞働者トナツテ辛ウジテ糊口ヲ凌

ギツツアルノデアアル。而モ工業ハ全ク資本案ニ掌握サレテキル爲ニ、偶々工場ガ閉止サルレバ、立チドコロニ貧民達ハ飢餓ニ苦シマネバナラナイ。倫敦ダケノ計算ヲ見テモ、毎年ノ冬期ノ勞働者ノ失業數ハ六七十萬人ニ上ルノガ常デアアル。之ニヨツテ見テモ英國全國ノ失業者數タルヤ、推シテ知ルベキデアアル。英國ノ大地主タル「ウエストミンスター」公爵ハ倫敦ノ西偏ニ封地ヲ有シテ居タガ、其後倫敦市ヲ擴張シタ爲ニ、此等ノ地モ市内ニ編入サレ、其ノ結果彼一人ノ納付スル地租ハ倫敦ノ四分ノ一ヲ占メ、彼ノ富ハ國家ト相等シキ程ノモノトナツタ。貧富ノ差ハ斯クモ甚シク、平等ノ二字ハ今ヤ口頭ノ空話トナツテ了ツタノデアアル。凡ソ社會現象ハ、全ク其ノ自然ノ趨ク儘ニ放置スルコトハ出來ナイモノデアアル。之レ樹木ガ其ノ自然生長ニ任セテオケバ、必ズ必要ニ蔓生スルノト同様デアアル。社會問題モ亦斯ノ如キモノデアアル。

現在ノ中國ニハマダ資本案ハ存シナイ。ソシテ數千年來地價モ高騰シテハキナイ。此點各國ト異ツテキル。然ルニ革命後變化ガ起ツタ。現在香港、上海ノ地價ハ内地ニ比較シテ、數百倍ニ騰貴シテキル。此等ノ地ハ文明ガ發達シ交通ガ便利トナツタカラデアアル。他日全國ガ改良サレタナラバ、地價ハ必ズ文明ノ進歩ニ伴レテ騰貴スルデアラウ。其時ニナレバ、從來地價一萬元ノ地ハ必ズ數十萬、或ハ數百萬元トナルデアラウ。五十年前ニ於テハ上海ノ黃浦灘ノ地ハ何等價值ノ無

イモノデアツタガ、近時毎畝ノ地價ハ百數十萬元トナツテキル。之ナドハ最も著シイ證據デア
ル。斯ク觀ジ來レバ、將來富メル者ハ日ニ々々富ミ、貧シキ者ハ日一日ト貧窮トナツテ、十年ノ
後ニ於ケル社會問題ハ層一層緊急ノ度ヲ加ヘルデアラウ。

此種流弊ハ人々ノ承知シテキルコトデアラウガ、現在眼前ニ見ラレナイ現象デアアル爲ニ、忽略
ニシガチナノデアアル。而モ現在之ヲ忽略ニスレバ、後日拾收シ得ザルニ至ルデアラウ。故ニ我々
同志ハ、之ガ解決ノ方法ハ、現在ニ於テ考究シテ置カネバナラナイモノデアアルコトニ留意セネバ
ナラナイ。

聞ク所ニ據レバ民生主義ハ四億人ノ半数ヲ殺シ、富人ノ田ヲ奪ツテ自己ノ所有トナスモノデア
ルト、説ク者ガアルソウデアアルガ、斯ル説ヲナス者ハ、未ダヨク這間ノ道理ヲ知ラズニ、口カラ
出マカセヲ言フ者デアアルカラ、過問スル必要ハナイ。

社會問題解決ノ方法ハ、社會學者ニヨツテ種々唱ヘラレテキルガ、余ノ信ズル所ニヨレバ、先
ヅ地價ヲ決定スベキデアルト思フ。

茲ニ地價一千元ノ土地ヲ有スル地主ガアルトスレバ、其ノ土地ノ地價ヲ一千元又ハ二千元ト定
メ、若シ將來其ノ地方ノ交通ガ發達シテ地價ガ一萬元ニ騰貴シタ場合ハ、其ノ地主ハ二千元ダケ

取ルコトニスレバ、損得ハ無イ譯デ、其餘ノ八千元ノ利益ヲ國家ニ歸スレバ、國計ニモ民生ニモ
共ニ大益ガアリ、少數ノ富メル者ガ利益ヲ壟斷スル如キ弊害ハ永久ニ無クナクデアラウ。此ノ方
法ハ最も簡單デアリ。且ツ行ヒ易イ方法デアアル。

歐米各國デハ已ニ地價ガ極度ニ高騰シテキル爲ニ、標準ノ決定ガ困難デアリ、此事モ行ヒ難イ
デアラウガ、地價ノ高騰シテキナイ地方デハ、急イデ此方法ヲ實施スルガヨイ。膠州灣ニ於ケル
獨逸、爪哇ニ於ケル和蘭ノ如キハ、已ニ此方法ニヨル實效ヲオサメツツアル。中國ノ内地ハ文明
ノ進歩ガナク、地價モ騰貴シテキナイカラ、之ガ實施ハ必ズヤ容易デアラウト思フ。

余ガ今述ベタ如ク社會革命ハ外國ニ於テハ困難デアアルガ、現在ノ中國ニ於テハ極メテ容易デア
ル。而モ此ノ方法ヲ實施スレバ文明ハ一層進ミ、國家ハ益々富ミ、一切ノ財政問題モ容易ニ解決
出來、現今ノ重税ハ廢サレ、物價モ漸次低廉トナリ、人民ハ次第ニ富ミ、數千年來ノ義捐ノ弊政
ハ永遠ニ跡ヲ絶ツニ至ルノデアアル。ソシテ其結果ハ之レ迄ノ中國ニ見ナカツタバカリデナク、歐
米日本ニモ見ラレナカツタ様ナ社會ヲナスニ至ルデアラウ。日本ト歐米トハ共ニ富強デアアルガ、
人民ノ負擔スル租税ハ輕クナイ。然ルニ今中國ニ社會革命ヲ實施スレバ、個人ハ永久ニ納税スル
必要ガ無ク、地租ノミヲ納ムレバヨイコトニナリ、地球上最も富ミ、他國ノ到底及ビ得ナイ國家

トナルニ至ルデアラウ。斯ノ如ク吾人ノ爲サントスル所ハ、決シテ人後ニ落チナイモノデアツテ、寧ロ人ニ先ンジテ行ハントスルモノデアアル。此ノ種社會革命ノ方法ハ、文明諸國ニ於イテモ將來必ズ實施スルニ至ルデアラウト思ハレル。

之ヲ要スルニ我々ノ革命ノ目的ハ民衆ノ爲ニ幸福ヲ計ラントスルモノデアツテ、之ガ爲ニハ滿洲人ノ專制ヲ斥ケ、民族革命ヲ行フ必要ガアリ、又君主一人ノ專制ヲ斥ケンガ爲ニハ政治革命ヲ行ヒ、少數人ノ利益壟斷ヲ斥ケンガ爲メニハ社會革命ヲ行フ必要ガアルノデアアル。此ノ三種ノ革命ノ内、一ツデモ其ノ目的ヲ達シナケレバ、我々ノ目的ハ完全ニ到達シ得ナイノデアツテ、此ノ三革命ニ成功シテコソ、始メテ我ガ中國ハ完美ノ國家トナルノデアアル。

更ニ我々が研究シナケレバナラナイ他ノ一ツノ問題ガアル。ソレハ將來ニ於ケル中華民國ノ憲法デアアル。憲法ノ二字ハ近來人々が好ンデ之ヲ口ニスル傾向ガアル。彼ノ滿洲政府ノ如キモ外國ニ政治視察使ヲ派遣シテ、立憲政治ヲ布ク準備ニ忙殺サレテキル。我ガ中華民國ノ憲法ガ大イニ研究ヲ要スルモノナルコトハ論ヲ待タナイ。余ガ各國ヲ巡歴シテ視察シタ憲法ノ内、成文憲法トシテハ米國ノモノガ最モヨク、不文憲法トシテハ英國ノモノガ最モヨイ様ニ思ハレル。然シ英國ノモノハ學ビ得ナイシ、米國ノモノハ學ブニ及バナイ。英國ノ憲法ハ所謂三權分立デアツテ行政

權、立法權、裁判權ノ三權ガ獨立シテキル。此ノ種憲法ハ六七百年前カラ漸次發達シテ習慣トナルニ到ツタノデアアルガ、其ノ限界ハ尙明瞭デナカッタ。其ノ後「フランス」ノ「モンテスキュー」ハ英國ノ制度ヲ根本トシ、之ニ自己ノ理想ヲ加ヘテ、一家ノ説ヲナスニ到ツタ。米國ノ憲法ハ「モンテスキュー」ノ學説ヲ根本トシ、三權ノ限界ヲ更ニ明ラカトシ、今ヨリ一百年前ニ完備スルニ到ツタモノデアアル。其後屢々改修シタが大體ニ於イテ、餘リ變化シナカッタ。然ルニ此ノ間米國ノ文明ハ日ニ日ニ進歩シ、土地財産モ日ニ々々増加シテ止マズ、當時ノ憲法ハ現在既ニ不適當ナモノトナツテシマツタ。余ノ考ヘトシテハ中華民國ノ憲法ニハ更ニ一種ノ新主義ヲ創造採用シテ之ヲ五權分立トシタイト思フ。

此ノ五權ニハ前記三權ノ外ニ尙ホ二權ガアルガ、其ノ一ツハ考試權デアアル。自由ト平等トハ、モト國民ノ權利デアリ、官吏ハ國民ノ公僕デアアル。米國ノ官吏ハ選舉ニヨツテ任命サレ、本來試験制度ハ存在シナカッタガ、之ガ爲メニ種々ノ大ナル流弊ヲ生ズルニ到ツタ。選舉ニツイテ見テモ、些カ辯論ノオアルモノハ、國民ト結托シテ種々ナル選舉運動ヲナシ、其ノ結果、高遠ナル學問思想ヲ有スル人モ、斯ル人ノ常トシテ辯論ニ訥ナルガ爲メニ、却ツテ國民ノ支持ヲ得難ク、斯クテ米國ノ議會ニハ往々愚蠢無智ナル者ガ介在シテキル様ナ有様デアアル。從ツテ米國ニ於ケル

此間ノ事情ニハ、實ニ滑稽ナコトガ時々見受ケラレル。官吏ノ任免ニ就イテ見テモ、彼等ハ大統領ト其ノ進退ヲ共ニシ、共和黨ト民主黨トハ選舉ニヨツテ其ノ興廢ヲ支配サレ、大統領ガ交迭スレバ、内閣ヨリ郵便局長ニ至ルマデ、六七萬人以上ノ者ガ同時ニ交迭シ、之ガ爲メニ米國ノ政治ハ、各國ニ其例ヲ見ナイ程ノモノトナツテキル。此等ハ皆試験制度ガ發達シテキナイカラデア。試験制度ハ元來中國ニ始ツタモノデア。惜シイカナ當時ノ制度ハ餘リ良クナカッタノデ、却ツテ外國ニ學ンデ之ヲ改良シテ後、始メテ完全ナル制度トナツタ。英國ハ先キニ試験制度ヲ實施シ、次イデ米國モ漸次此ノ法ヲ採用シ、下級官吏トナルニハ必ズ試験ニ合格シナケレバナナイ事トシタ。此ノ制度實施以來米國ノ政治ハ始メテ振興ノ兆ヲ見ルニ至ツタ。唯之ガ實施ノ範圍ヲ下級官吏ニノミ限定シ、且ツ試験實施ノ權ヲ行政部下ニ置イタ爲ニ、完全ナル實績ヲ舉ゲ得ルニ至ラナカッタ。故ニ將來中華民國ノ憲法ニ於イテハ必ズ獨立ノ機關ヲ設ケテ、專ラ考試權ヲ掌ラシメ、大小ノ官吏ハ必ズ試験ニ合格スルヲ要スルモノトシ、如何ナル官吏ヲ選舉シ又ハ任命スル場合ニ於テモ、必ズ試験ニ合格シタモノカラ之ヲ定ムル事トシナケレバナラナイ。斯クスレバ、濫選ノ弊ヲ免ガレ、私人ヲ任用スルノ流弊ヲ除キ得ルデアラウ。從來中國ニ於ケル人選ニハ、最モ資格ヲ重ズルト云フ長所ガアッタガ、君主專制デアッタ爲ニ、人才ノ任免ハ悉ク君

主一人ノ喜怒ニヨリ、資格ヲ云爲シテモ夫レハ一種ノ虛文ニ過ギナイモノデアッタ。然シ共和政體ニナレバ、此ノ試験制度ハ最モ當ヲ得タモノトナル譯デアツテ、官吏ハ君主ノ私物デハナクテ國民ノ公僕デア。充分其職ニ適シタ者ヲ選バナケレバナラナイ譯デア。唯ダ考試驗ヲ行政部ニ屬セシムレバ、其ノ權限ハ餘リニ廣キニ過ギテ、流弊ヲ伴フデアラウカラ、ドウシテモ、之ガ爲メニ獨立ノ機關ヲ設ケナケレバ妥當ト言ヒ得ナイ。他ノ一ツハ彈劾權（糾察權）デア。專ラ彈劾ノ事ヲ掌ル機關ハ、何レノ國家ニ於テモ必ズ存スルモノデアリ、其ノ處理方法ハ容易ニ理解シ得ラレルモノデア。只中華民國ノ憲法ニ於テハ、之ガ爲メニ獨立ノ機關ヲ置カナケレバナラナイ。中國デハ古來御史臺ガ此ノ事ヲ掌ツテキタガ、此ノ役モ亦君主ノ奴隸ニ過ギナカッタ爲ニ、中正ナル處置ヲトリ得ナカッタ。現今立憲國ニ於テハ、各國トモ皆立法機關ニ監督權ヲ併屬セシメテ居リ、其ノ權限ニ強弱大小ノ差ハアルガ、總テ獨立シタモノトハナツテキナイ。ソシテ之ガ爲メニ無數ノ弊害ガ生ジテキル。米國ノ如キハ議院ガ糾察權ヲ掌握シテキル爲ニ、往々此ノ職權ヲ濫用シ、行政機關ヲ牽制シテ、彼等ノ命ニ從ハザルヲ得ザラシメ、結果トシテ常ニ議院專制ノ現象ヲ成シ、「リンカーン」、「マツキンレー」、「ローズヴェルト」等ノ如キ雄才ト大略トヲ有スル大統領デナイ限り、能ク其ノ獨立ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ状態デア。且ツ純理論カ

ラ言ツテモ、一般民衆ヲ裁判スル機關ガ已ニ獨立シテキルノニ、官吏ヲ裁判スル機關ガ他種機關ノ下ニ置カレテキルコトハ、不合理デアルカラ、ドウシテモ獨立シテ別個ノ機關トシナケレバナライ。

以上ヲ合シテ五權分立トナルノデアアルガ、斯ル制度ハ各國共ニ未ダ採用シタコトガ無ク、學說上ニ於テモ多ク見ナカッタ所ノモノデアツテ、破天荒ノ政體ト言フコトガ出來ル。余ハ已ニ斯ル基礎的機構ヲ發明シタノデアアルガ、此間ノ詳細ナル修理ト、完全ナル結果ノ獲得トニ至ツテハ、之ヲ大衆ト同志トノ盡力ト研究トニ待タナケレバナライ。斯クテ將來理想的ナル中華民國ノ憲法ヲ制定シ得レバ、民族ノ爲ノ國家、國民ノ爲ノ國家、社會ノ爲ノ國家ノ建設モ從ツテ能ク完全無缺ナルヲ得ルデアラウ。之レコソ我々漢族四億人ニトツテ最大ノ幸福デナケレバナライ。想フニ諸君ハ必ズ進ンデ此舉ニ當ラレ、之ガ目的達成ニ努力サレルデアラウ。之レ余ノ最モ諸君ニ希望スル所デアアル。

三、五族共和ノ眞義

— 民國元年九月一日北京ノ蒙藏統一政治改良會議ニ於テ —

今日此ノ會議ニ於テ、蒙古西藏ノ同胞ガ一堂ニ聚ツタ事ハ、實ニ亘古以來未曾有ノ盛舉デアツテ感激ニ耐エナイコトデアアル。

我ガ國民ハ自由平等博愛ノ三主義ヲ以テ、共和國家ヲ建設シタノデアアルカラ、蒙藏ノ同胞モ須ク共和國家ガ專制國家ト異ル所以ノ要點ヲ知ラナケレバナライ。則專制國家ニ於テハ其ノ利益ハ全部君主ニ屬スルガ、共和國家ニ於テハ利益ハ盡ク國民ニ歸スルデアツテ、之ガ共和ト專制ト特ニ異ル點デアアル。前清ノ極盛時代ニハ蒙古、西藏、青海、新疆ヲ合併シ、其ノ領域ハ亞細亞洲ノ東部ノ一大部分ヲ占メテキタノデアアルガ、國民ハ其ノ實絲毫ノ利益ヲモ享有セズシテ、利益ハ盡ク皇帝一人ノ占有トナツテキタ。現今ノ露國ノ如キモ同様デアツテ、其ノ政府ノ強固ナルト、國力ノ充實セルトハ、正ニ前清ノ盛時ト同ジク、或ハ之ニ過グルモノガアルニ係ラズ、其ノ人民ハ何等國家ノ利益ヲ享受セズ、反ツテ政治上種々ナル苦痛ヲ感受シツツアルノデアアル。蓋シ專制國ノ通例トシテ、國愈々強クシテ人民ノ苦痛ハ愈々甚シクナルモノデアアル。然ルニ共和國ニ於テハ之ニ反シ、國民ノ利益ノ増減ハ國家ノ強弱ト正比例シ、國家ガ強盛ニナレバ國民ノ利益モ日ニ日ニ増加シ、國家ガ衰弱スレバ國民ノ利益ハ日ニ日ニ減少スルノデアアル。之レ共和國ハ國民ヲ以テ國家ノ主體トナスカラデアアル。

今我國ニハ共和政體ガ成立シ、蒙古、西藏、青海、新疆等往昔壓制ヲ受ケテキタ地方ノ同胞モ、同様國家ノ主體トナリ、共和國ノ主人公トナルコトヲ得タ。換言スレバ國家ノ參政權ヲ取得シ得タノデアアル。則方今共和ガ成立シテ日ガ淺イタメ、各種ノ政治ハ未ダ條理ガ發生スルニ至ラナイカラ、將來ニ於ケル國家ノ立法ニ對シテ、我ガ同胞ハ皆自己ニ有利ナレバ贊同シ、不利ナレバ反對シ得ル譯デアアル。此ノ點前清政府ガ、蒙藏部落ヲ視ルコト、露國ガ人民ヲ奴隸視シ、日本ガ朝鮮ヲ牛馬視スルト同様デアツタノトハ大イニ異ルノデアアル。日本ハ強盛デアアルガ朝鮮ハ依然苦痛ヲ受ケ、毫モ利益ノ言フ可キモノガ無イデハナイカ。我ガ蒙藏ノ同胞ハ當ニ其ノ擇ブ所ヲ知ルベキデアアルニモ係ラズ、現在此ノ理ヲ知ラズシテ、日ニ外人ノ挑弄ヲ受ケ、種々謬レル行爲ヲナシツツアル。吾人ハ此ノ時局艱難ナル時ニ際シ、努メテ彼等ヲ勸導シテ共和ノ眞義ヲ理解セシメ、國內ノ同胞一致協力シテ事ニ當リ、以テ共和ノ福利ヲ享受センコトヲ期スベキデアアル。之レ貴會諸君ノ責任デアリ、余ノ諸君ニ希望スル所デアアル。

四、五族聯合ノ效力

一 民國元年九月三日五族合進會、西北協進會ノ席上ニテ

五族共和合進會ト西北協進會トガ、余ヲ歡迎サレタコトハ誠ニ恐縮ニ耐エナイ。竊ニ惟フニ、民國成立シテ五族ガ一家トナツタコトハ、地球上未ダ有ラザル所、古ヨリ罕ニ見ル所デアツテ、洵ニ美シイ事デアアル。

吾人ガ大イニ革命ノ舉ヲ興シタノハ、種族政治ノ兩問題ニ起因シ、之ガ目的トスル所ハ、自由平等博愛ノ三者ニ外ナラナカツタノデアアル。之ヲ歴史ニ徵スルモ、世界ニ於ケル革命ハ概ネ種族問題ニ起因スルカ、然ラザレバ政治問題ニ起因スルモノデアアル。(中略)我國ノ革命モ同ジク種族革命デアリ、政治革命デアツタ。何トナレバ漢滿蒙回藏ノ五大種族中、從來ハ滿族ノミ獨リ優勝ノ地位ヲ占メ、無上ノ權力ヲ握ツテ他ノ四族ヲ壓迫シ、滿族ハ主人デアリ、他ノ四族ハ皆奴隸デアツテ、種族ノ不平等ハ極點ニ達シテキタノデアアル。隨ツテ種族ノ不平等ハ自然政治的不平等トナリ、之ガ竟ニ革命ニ迄進展シテ行ツタノデアアル。即チ異族間ニ於ケル政治的不平等ハ、其ノ結果トシテ革命トナリ、同族間ニ於ケル政治的不平等モ亦、其ノ結果ハ革命トナルモノデアアル。革命ノ效用ハ不平等ヲシテ平等ニ歸セシムルニ在ル。(中略)

昨年ノ我國ニ於ケル革命ノ影響ハ、全般ニ及ビ、僅ニ數ヶ月ノ短時日ヲ以テシテ、大功成就スルニ至ツタノデアアルガ、其ノ成功ノ速カナリシコトハ實ニ天幸ト言フベキデアアル。今既ニ五族一

家トナリ、平等ノ地位ニ立ツタノデアルカラ、自然種族不平等ノ問題ハ解決シ、政治的不平等モ同時ニ解除サレ、此點永久ニ紛争ヲ起ス理由ハ存在シナイ譯デアアル。今後五大民族ハ同心協力シ、共ニ國家ノ發展ヲ策シテ、中國ヲ世界第一ノ文明大國トシナケレバナラナイ。之レ我ガ五大民族共同ノ大責任デアアル。

現在世界ノ文明ハ未ダ極點ニ達セズ、人智亦幼稚ナルヲ免レ難イ。此故ニ武装シテ平和ヲ求め、強ハ弱ヲ凌ギ、大ハ小ヲ欺ク等ノ事ガ應々ニシテ見受ケラレルガ、今後文明日ニ進ミ、智識日ニ高クナルニ於テハ、博愛主義ヲ推シ廣メ、全世界ヲ合シテ一大國家タラシムルコトモ強チ不可能デハナイデアラウ。元ト大國ハ團體ヨリ組織サレタモノデアツテ、人類ノ生存スル所、必ズ團體ガアリ、之ガ世運ノ變遷ニ隨ツテ、小團體ヨリ大團體トナリ、蒙昧ノ世ニハ千萬ノ小國ガ林立シテキタガ、現在世界ノ大國中ノ強國ハ僅ニ六七ヶ國ニ過ギナイ状態トナツタ。之ヨリ更ニ進メバ、此ノ六七ヶ國ノ大國カラ世界ガ唯一ノ大國ニ總合統一サレ、所謂大同ノ世ヲ現前スルコトモ、全然不可能トハ言ヒ得ナイデアラウ。只國境ヲ撤シテ大同ニ進ムコトハ、其ノ道頗ル困難デアツテ、人々ガ道德ヲ尙ビ、公理ヲ明ニスルニ於テ、始メテ之ヲ致シ得ルデアラウ。世界ノ先覺者デ、大同主義ヲ鼓吹スル者ハ既ニ其ノ人ニ乏シクナイ。由來我ガ五大種族ハ平和ヲ愛シ人道ヲ

重ンズル種族デアルカラ、若シ其ノ抱懷スル自由平等博愛ノ主義ヲ世界人類ニ迄擴充スルニ於テハ、大同ノ軌モ敢テ致シ難クハナイデアラウ。

民國ノ人口ハ繁殖シテ現在世界全人口ノ四分ノ一ヲ占メ、此點全ク他國ノ及バザル所デアアル。更ニ又版圖ノ遼闊ナルコトモ、米露二國以外ニハ較ブベキモノガナイ。而モ米國ノ領土ハ將來分裂ヲ免レ難イモノデアリ、露國ノ領土ハ疆地瘠寒ニシテ生産ノ可能ナル沃土ハ多クナイ。然ルニ我ガ中國ハ氣候溫和、物産豊富デアツテ、實ニ自然ノ優越的地位ヲ占メ、加フルニ人物聰秀、白人ニ比シテ、之ニ過グル所ハアツテモ及バナイ所ハナイ。ニモ係ラズ從前衰弱シテキタノハ、實ニ專制ノ淫威ガ之ヲ抑壓シテキタカラデアアル。其後國體ヲ共和ニ改メ、人民ハ善良ナル政治ノ下ニ生息シ、文化ノ進歩ハ甚ダ速カラトナツタカラ、今後十年ヲ出デズシテ、至強極盛ノ國トナルコトハ疑ナイコトデアアル。從ツテ既往ニ於ケル中國ハ悲觀ト失望トノ中デアツタガ、將來ニ於ケル中國ハ樂觀ト有望トノ中國デアラウ。余ハ五大民族ガ相愛相親、兄ノ如ク弟ノ如ク、共ニ國家ノ事ニ赴イテ、平和ヲ主張シ、大同ヲ主張シ、地球上ノ人類ノ最大ノ幸福ハ中國人ニヨツテ保障シ、最モ光榮アル偉績ハ、中國人ニヨツテ之ヲ建樹スベク努力サレンコトヲ望ムモノデアアル。之レ一種族一國家ノ利益ニ止ラズ、世界全人類ノ利益ヲ維持スル所以デアリ、我ガ五大民族ノ同胞

ガ共ニ勉メナケレバナラナイ所ノモノデアル。

五、鐵道敷設問題

— 民國元年九月二日北京新聞界歡迎會ニ於テ —

(前略) 今日新聞社關係諸君ノ歡迎ヲ受ケタコトハ、余ノ甚ダ幸トスル所デアル。今回中國ノ革命ガ成功シタノハ、諸君等新聞關係者ノ言論ニヨル鼓吹ガ與ツテ力アツタノデアルガ、今其等ノ言論機關ヲ支持スル諸君ト一堂ニ集ツテ握手シ得ル機會ニ當ツテ、余ハ余ノ現在抱有スル一種ノ意見ヲ吐露シ、諸君ト共ニ研究シ、尙又諸君ノ協力提唱サレンコトヲ望ムモノデアル。然ラバ余ノ意見トハ何カ。現在政治ノ事ニ關スル限り、袁大總統ト一般國務員トガ之ヲ擔任スルガ故ニ、余ハ政界ト關係無ク、専ラ一種ノ社會事業ヲ爲サントシツアルノデアル。若シ之ガ諸君ノ贊成ヲ得、余ノ抱懷スル計畫ガ實行サルニ於テハ、民國ノ前途ニ必ズ大利益ヲ齎ラシ得ルデアラウ。余ノ計畫トハ他ニ非ズ、鐵道建設計畫デアル。

余ノ此種ノ計畫ハ、上海在住當時既ニ之ヲ宣布シ、來京後袁大總統トモ商議シタ結果、若シ多數國民ノ同意ヲ得レバ、即刻余ハ之ニ着手進行スルコトニナツテキルノデアル。即チ余ハ十年以内ニ全國ニ二十萬里ノ鐵道ヲ敷設セントスルノデアル。只現在デハ民窮シ財竭キ、國家モ人民モ共ニ之ニ要スル巨額ノ費用ヲ支出スル能力ガ無イカラ、已ムヲ得ズ外資ヲ募集スル方法ニヨラントスルノデアル。而シテ此ノ外資ヲ借ツテ鐵道ヲ敷設スル一事ハ、前清時代既ニ弊政トナツテキタノデ、前者ノ覆轍ニ鑑ミテ、多クノ國民ハ敢テ進ンデ主張シナイデアラウガ、清代ニ於ケル借款ニヨル鐵道敷設ノ病弊ハ、實ハ條約ノ缺陷ニ起因シテキタノデアツテ、病原ガ外債ノ募集ソノ事ニ在ツタノデハ無イノデアル。清代ニ於テ外債募集ニヨル鐵道敷設ニ最モ激烈ナ反對ヲナシタノハ、四川湖南及湖北ノ各省デアツタ。余ハ屢々此等各省ノ人士ト此ノ問題ヲ討論シタガ、彼等ノ反對ノ理由モ亦全ク條約ノ不良ナル點ニ在ツタノデアル。若シ外債ヲ借リルコトガ國權ヲ妨害スルナラバ、當然之ニ反對スベキデアルガ、借款ノ條約ガ主權ヲ侵害シナイモノデアラナラバ、何等差支ヘナイ譯デアル。近時ノ各省ニ於ケル意見モ皆斯ノ如キモノデアル。況ンヤ我國ノ現存鐵道ハ、京漢、京奉、津浦、正太等ノ各線共ニ皆外債ヲ借リテ敷設シタモノデアツテ、中國自身ノ資本ニヨツテ敷設サレタノハ、京張鐵道ノミデアリ、而モ其ノ資本ハ京奉鐵道ノ餘剰金ニヨツタモノデアアルカラ、間接外債ニヨツタモ同様デアアル。此等ノ借款ハ抵當トシテ往々各種ノ權利ヲ外人ニ與ヘ、釐金、關稅收入等ヲモ其ノ抵當トシタ。之ガ爲ニ人民ハ多ク外債ニ贊成シナカツタ

ノデアル。然ルニ現在ノ余ノ計畫ハ借款總額六十億ノ豫定デアアルガ、其ノ實全部現金ニヨラズ、現金ニヨル部分ハ五分ノ一トシ、其餘ハ外國ノ材料ヲ購入スルノデアアル。故ニ現金ニヨル額ハ十億ニ過ギズ、外國ノ資本家カラ之ヲ見レバ甚ダ容易ナ額デアアル。或者ハ又、現在我國ノ政府ガ屢々各國ノ貸本家ト借款ノ交渉ヲナシ、其ノ額ハ多クレバ六億、少ナケレバ二億デアアルガ而モ猶成立スルニ至ラズ、將來交渉ヲ續行シ得ルヤ否ヤサヘモ未定ナ位デアアルカラ、六十億ト言フ様ナ巨額ノ借款ハ到底成立不可能デアアル、ト言フ者モアルカモ知レナイガ、之ハ鐵道借款ト其ノ他ノ政治借款トノ差異ヲ知ラナイモノデアアル。我國ガ借款シタ外債ヲ以テ、相手國タル外國ノ材料ヲ購入スルニ於テハ、各國ノ會社工場等ハ皆利益ヲ享有シ得ルカラ、必ズ先ヲ爭ツテ投資シ、決シテ形勢ヲ觀望スル様ナコトハ無イデアラウ。又或者ハ、世界ニ我國ノ使用ニ提供シ得ル、斯クノ如キ巨額ノ資金ハ無イデアラウ、ト言フカモ知レナイガ、之レ亦謬レル説デアアル。譬ヘバ饑エタル貧者ハ天下ニ錢無ク、米無シト思フデアラウガ、其ノ實米屋ハ其ノ在庫米ノ販路無キヲ恐レ、錢鋪ハ錢ノ流通セザルヲ恐ルルガ如キモノデアアル。我國ノ現状モ亦斯クノ如シデアツテ、財窮シ物盡キ、自國ノ資本ガ缺乏シテキルカラ、之ヨリ推シテ各國ガ皆資本ヲ有シナイトスルノハ、各國ノ資本家ノ實狀ヲ知ラナイ者デアアル。即チ彼等ハ寧ロ我國ガ其ノ資本ヲ借ラザルヲ恐ルルモノデ

アツテ、今若シ我國ガ鐵道敷設ノ目的ヲ以テ外債ヲ募集シタトシタナラバ、之ガ實現ハ決シテ困難デハナイノデアアル。現在英國ガ鐵道ノ資金トシテ支出シテキル額ハ、既ニ三百億ノ數ニ達シテキルコトカラシテモ、其ノ然ル所以ヲ知り得ルデアラウ。

或ハ又二十萬里ノ鐵道ハ資本ガアツテモ、十個年デハ工事ヲ成シ得ナイデアラウトスル者ガアルカモ知レナイガ、此ノ説モ亦正シクナイ。十ケ年ノ計畫トシテモ尙餘裕ガアルノデアツテ、二ケ年ヲ以テ外債ヲ募集シ、二ケ年ヲ線路ノ測量ニ當ツレバ、五ケ年ノ歲月ヲ以テシテ完全ニ全線ノ工事ヲ終了シ得ルデアラウ。之レ亦決シテ空言デハナク、「カナダ」ハ十萬餘里ノ鐵道ヲ敷設スルニ當ツテ、中國ニ於テ十五萬ノ華工ヲ招集シ、三年ニシテ全線ヲ開通スルコトガ出來タ。我國ガ自ラ鐵道ヲ敷設スルニハ、遠ク海ヲ渡ツテ人夫ヲ募集スル必要モナク、從ツテ難易既ニ大イニ同ジカラザルモノガアルカラ、必ズヤ五年ニシテ竣工シ得ルデアラウ。

又或ハ余ノ計畫ガ徒ニ大言壯語スルモノデアツテ、實現不可能ナコトデアルト言フ者デアアルカモシレナイガ、之レ我國ノ幅員ノ廣大ナコトヲ知ラナイモノデアアル。若シ之ヲ知ルナラバ余ノ計畫スル二十萬里ノ鐵道敷設ハ、極メテ小規模ナ計畫ニ過ギナイコトヲ知ルデアラウ。米國ノ現存鐵道總延長數ハ八十萬里ニ達シテキルガ、其ノ面積ハ我國ニ及バナイノデアアル。此ノ故ニ我國ニ

十ケ年以内ニ二十萬里ノ鐵道ヲ敷設スルコトハ、極メテ小規模ナコトデアツテ、決シテ單ナル大言壯語デハナイ。況ンヤ國防政治文化等ノ見地カラスルモ、鐵道ハ極メテ大ナル關係ヲ有スルモノデアツテ、現在我國ノ國防ガ強固デナク、露國ハ北滿及蒙古ニ於テ、日本ハ南滿ニ於テ、英國ハ西藏ニ於テ、夫々侵略ノ野望ヲ進メツアルガ、此等ニ對シテモ、若シ我が國ガ兵力ヲ以テ邊疆ヲ保護シ得レバ、斷ジテ斯様ナ心配ハ無イノデアアルガ、之レヲ爲シ得ナイノハ實ニ交通ガ不便ダカラデアアル。更ニ又久シイ以前カラ露國政府ハ恰克圖、張家口間ノ鐵道敷設ヲ計畫シテキルガ、之レガ若シ事實トナツテ現ハレ、露國政府ガ我が政府ニ此ノ問題ヲ提議シ來ツタ場合、我が政府ハ之レニ對シテ如何ナル手段ヲ講ズルカ。之レヲ拒絶スルカ承認スルカハ問題デナクテハナラナイ。我國ガ若シ速カニ自ラ之レヲ敷設スルニ於テハ、露國政府ハ何等ノ口實ヲモ得ナイコトニナリ、隨ツテ我國ハ自國ノ領土ヲ保全シ得ルデアラウ。且ツ曾テ我が政府ガ此ノ議ヲ提出シタ際、佛國ノ資本案ハ皆投資ヲ希望シタ事實モアルカラ、將來之レガ實現ハ決シテ困難デハ無イデアラウ。又斯ノ如キ方法ヲトル時ハ、將來資本案ガ勞働階級ヲ壓迫スル惧レガアルトナス者ガアルガ、之レ亦杞憂ニ過ギナイ。余ノ計畫ニヨレバ四十年後ニハ此等ノ鐵道借款ヲ全部償還シ得ル豫定デアツテ、當初ノ借款ハ開通後ニ於ケル毎年ノ鐵道利潤ヲ以テシテモ優ニ之レヲ償還シ得ルデ

アラウ。殊ニ鐵道ノ敷設ハ領土保全ノ見地ヨリシテ、一刻モ忽ニスベカラザルモノデアツテ、我國ノ領土タル東三省ガ完全ニ日本ト露國トノ勢力下ニ置カレテアルノハ、露ニ東清鐵道アリ、日ニ南滿鐵道アルガ爲デアアル。

之レヲ要スルニ今日ノ鐵道敷設ハ、實ニ眼前唯一ノ急務デアツテ、民國ノ生死存亡ハ此ノ舉ニ係ツテキルノデアアル。惟フニ今日民國ノ主權ハ人民ニ在ルカラ、人民ガ可トナセバ即チ可、人民ガ不可トナセバ即チ不可デアツテ、總テガ人民ノ意志如何ニヨルノデアアル。余ノ計畫ハ十個年以内ニ一律ニ之レヲ完成セントスルモノデアアルガ、諸君ハ輿論ノ代表者デアアル關係上、余ハ先ヅ諸君ニ一致シテ此ノ事ヲ鼓吹シ、全國民ノ趨向ヲ歸一セシメラレンコトヲ望ムモノデアアル。然ル時ハ余ハ志ヲ一ニシテ進行シ、必ズ此ノ目的ヲ達成スルデアラウ。重ネテ言フガ、此ノ事タルヤ諸君ノ努力ト協助トニ俟ツテ始メテ成就シ得ルモノデアアル。

六、鐵道ハ我國存亡ノ大問題デアアル

—民國元年九月十四日北京迎賓館ノ新聞關係者招待會ニテ—

本日諸君ノ御來集ヲ願ツタノハ、共ニ鐵道問題ニ就イテ討論センガ爲デアアル。

近時余ノ主張タル全國鐵道敷設計畫ニ對シテ、一二ノ新聞ハ反對論ヲ唱ヘテキルガ、之レ何等カノ誤解ニヨルモノト思ハレル。反對論ヲ唱ヘル者ニハ二種アルガ、其ノ一派ハ未ダ余ノ計畫ヲ眞ニ理解シナイモノデアリ、他ノ一派ハ明カニ此ノ事ノ有益ナルヲ知り乍ラ故意ニ反對スル者デアル。理解シ得ザルガ爲ニ批評シ討論スルノナラバ、余ノ最モ歡迎スル所デアルガ、故意ニ反對シ、全然反對ノ立場カラ此ノ計畫ヲ阻害セントスルガ如キハ、余ノ提唱スル全國鐵道ノ敷設ガ、實ニ中華民國存亡ノ大問題デアリ、此ノ計畫ヲ覆スコトハ民國立國ノ根本ヲ覆スコトデアル以上、斷ジテ不可デアル。今其ノ然ル所以ヲ分析シテ説明スレバ次ノ通りデアル。

大總統ガ余ニ委任シ、余ハ其ノ命令ニヨツテ全國鐵道敷設ノ計畫ヲ進メツツアルノデアルガ、之ニ對スル反對論者ハ或ハ法理ニ準據シ、或ハ現勢ニ鑑ミテ夫々反對論ヲ唱ヘ、其ノ主張タルヤ夫々一理アルガ、實際ニ於テハ皆誤謬ニ陥ツテキル。即チ余ガ政府ノ委任ニヨツテ、鐵道ノ敷設ヲナスコトヲ、其ノ反對ノ根據トナシテキルガ、之レ實ニ心無キ主張ト言ハナケレバナラナイ。前清時代ニ政府ガ迎賓館ノ修築ヲ米人堅利遜^{チェンリツン}ニ請負ハシメタ前例ニ徵シテモ明カデ、清政府ガ命令ヲ發シテ、始メテ堅利遜ハ其ノ工事ヲ請負ツタノデアツテ、余ノ場合モ一ツノ請負者ニ過ギズ、政府ハ命令ヲ發シテ余ノ工事請負ヲ承認シタニ過ギナイノデアル。余ハ鐵道事業ニ就イテ多

年研究シ來ツタノデアルガ、今回始メテ意見ヲ發表シ、多人數ノ贊成ヲ受ケ、政府ノ委任ニヨツテ敢テ此ノ事ヲ擔任スル様ニナツタノデアルカラ、一個ノ人夫頭トシテ之ヲ請負フタニ過ギナイノデアル。從ツテ前記迎賓館修築ノ場合ノ堅利遜ト同様ノ資格デアツテ、官職ヲ負フモノデハナイ。且ツ國民ハ既ニ國家ノ鐵道ヲ敷設スベキコトヲ承認シテ居リ、又大總統ノ命令ニハ反對シ得ナイモノデアル以上、余ガ此ノ命令ニ服從シタコトニ對シテモ、決シテ反對スル理由ハナイ筈デアル。若シ政府ガ一人ノ請負者ニ工事ヲ請負ハシムル場合ニ、議院ノ贊同ヲ得ル必要ガアルト言フナラバ、清朝ガ堅利遜ニ工事ヲ委任シタ場合、資政院ヲ通過シテ後之ヲナシタカドウカヲ見ルガヨイ。此ノ種反對ノ理由ハ誠ニ笑フ可キモノデアル。更ニ他ノ例ヲ示セバ一ツノ新聞社ヲ建築スル場合ハ、一人ノ請負者ヲ定メ、其者ノ工事請負ヲ承認シ、新聞社ノ管理人ハ之ニ工事ニ關スル全權ヲ委任スレバヨイノデアツテ、事ノ大小ハ異ツテモ、其間ノ理屈ハ同一デアル。

余ノ計畫ハ二十萬里ノ鐵道ヲ敷設セントスルモノデ、之ニ要スル費用ハ六十億ニ達シ、現在ノ中國ノ財力ヲ以テシテハ到底之ヲ支出シ得ナイ爲、勢必ズ外債ヲ利用スル必要ガアリ、此點稍々普通ノ請負ト軌ヲ異ニシテキル。凡ソ人ヲシテ工事ヲ請負ハシムルニハ、必ズ先ヅ資本ヲ投下シテ初メテ工事ニ著手シ得ルノデアルガ、今此ノ鐵道敷設ニ關スル限り、一文ノ資本モナク、其資

本モ亦余ガ之ヲ準備シナケレバナラナイ。然シ若シ此ノ資本借入ヲ余ニ爲サシメントスルナラバ、必ズ余ニ一種ノ證據トナルモノヲ交附シナケレバナラナイ。其ノ證據ガアツテ始メテ余ハ外人ト交渉シ得ルノデアツテ、外人ハ余ニ政府カラ委任サレタル證據ガ有レバ、ソレヲ見レバ余ヲ疑ハナイダラウシ、斯クテ始メテ資本ヲ募集シ得ルノデアアル。

現在余ノ與ヘラレタ全權ニハ一定ノ範圍ガアリ、借款ニ關シテモ、將來參議員ノ決議ニ準ジテ之ヲナスノデアアルカラ、決シテ國家ノ法律ヲ守ラナイノデハナイ。蓋シ現在我政府ニハ鐵道敷設ニ要スル資本ガ無ク、已ムヲ得ナイカラ、政府ノ名義デ外債ヲ借リルノデアアルガ、何等カノ國際交渉ヲ惹起シタ場合ハ、余ガ私人ノ資格ヲ以テ直接該國資本家ト交渉シ、政府ハ之ニ關與セズ、外國政府モ之ヲ過問シ得ナイ様ニシヨウトスルノデアアル。之レハ困難ナ我國ノ外交ガ、此ノ問題ニヨツテ更ニ困難ナ國際交渉ヲ誘起スルコトヲ防ガンガ爲デアアル。此點前例トシテ開平炭礦問題ノ起ツタ際ニ、清朝ガ政府代表ノ資格ヲ以テ人ヲ英國ニ派シタガ、竟ニ英國商人トノ間ニ訴訟問題ヲ起シ、其ノ爲ニ甚シク國家ノ體面ヲ喪失シタ様ナ事件ガアツタ。然ルニ余ハ今私人ノ資格ヲ以テ、外國資本家ト交渉シテ借款スルノデアツテ、此ノ問題ニ就イテハ、余ハ我ガ政府ニ對シテ責任ヲ負フモノデアリ、外國ノ資本家ニ對シテモ責任ヲ負フモノデアツテ、外國政府ニ對シテ責任

ヲ負フモノデハナク、同時ニ我ガ政府モ外國政府ニ對シテハ責任ヲ負ハナイノデアアル。斯クシナケレバ必ズ國際交渉ヲ惹起スルカラ、余ハ此種方法ヲ最モ穩當ト信ズル。

更ニ余ハ十箇年以内ニ全國二十萬里ノ鐵道ヲ敷設セントスルノデアアルガ、若シ國民全體ガ余ノ計畫ニ贊成スレバ、余ハ十年ヲ出デズシテ全線ヲ完成シ得ルコトヲ深ク信ズルモノデアアル。之ニ反シ各處ノ國民ガ反對スル様ナコトニナレバ、十年ハ愚カ五十年ヲ經過シテモ完成スルニハ至ラナイデアラウ。余ハ曾テ外人ト會社設立ノ事ヲ商議シタガ、其際外人ハ多ク此ノ舉ニ贊成シタカラ、將來ソノ實現ニハ可能性ガアル様ニ思ハレル。又此ノ計畫ハ二十萬里ノ鐵道ヲ敷設シ、四十年後ニハ悉ク之ヲ國有ニシヨウトスルノデアアルガ、或者ハ、四十年後ニ國家ニ六十億ノ資本ガナケレバ、全部ヲ國有トスルコトハ不可能デアラウト謂フカモ知レナイガ、之レ大イニ然ラズデアツテ、工事完成後、國家ハ一文モ支出シナクテモ、四十年後ニハ之ヲ國有トナシ得ルノデアアル。即チ損得共ニ國家ト關係ナク、國家ハ一錢ノ資本ヲモ支出スル必要ガ無イノデアツテ、而モ四十箇年ニ平均シテ、國家ハ毎年一億五千萬ノ資産ヲ得ル結果トナルノデアアルカラ、此ノ點何等心配スル必要ハ無イ譯デアアル。

或ハ又鐵道事業ハ利益甚大デ、京張鐵道ノ如キハ五ケ年間ニ資本ヲ回收シタ位デアアルカラ、全

國ノ鐵道經營ヲ外國人ニ委任スレバ、四十年以内ノ所得利益ハ悉ク彼等外人ノ囊中ニ入ル結果トナリ、大損害ヲ蒙ルデアラウ、トナス者モアルデアラウガ、之亦謬レル考ヘデアアル。我々ハ差當リカカル貪心ヲ棄テテ彼等ニ利ヲ獲セシムベキデアアル。何トナレバ若シ此等ノ線路ガ完成サレナカッタ場合ハ、永久ニ利ヲ獲ルコトガ出來ナイカラデアアル。四十年間ノ利ヲ彼ニ讓ルトシテモ、其後ニ於テ全線ガ完全ニ我が所有トナルナラバ、結局ハ我ニ有利ナリトシナケレバナナイ。況ンヤ余ニハ別ニ一個ノ條件ガアルデアアル。即チ各線ノ工事開始ノ當初、余ハ先ヅ外人ト契約ヲ訂結シ、二十年以後ニ於テハ、利益ノ大ナル線路ハ、隨意買收シ得ルコトスルデアアル。而シテ成績不振ノ線路ハ依然彼ニ經營セシムルナラバ、我々ノ側ニハ決シテ損失ハナイデアラウ。例ヘバ將來上海ヨリ伊犁ニ至ル八千里ノ線路ノ如キハ必ズ利ヲ獲ルデアラウカラ、二十年後ニハ株式ノ時價ニ準ジテ之ヲ買收スルコトニスレバ、原價一億ノモノヲ二億デ買收シテモ損ハ蒙ラナイデアラウ。此種ノ方法ハ外債ニヨツテ敷設スルノニ較ベテ利益甚大デアアル。滬寧鐵道ハ外債ニヨツテ敷設シタモノデアアルガ、一年目ニ二百八十萬ヲ缺損シ、二年目ニ二百五十萬ヲ缺損シ、缺損ハ我ニ於テ負擔シ、利益ハ人ノモノトナリ、而モ回收ノ時ニハ依然原價五十萬ヲ支拂ツタ如キ状態デアッタ。然ルニ今政府ハ次ノ三條件ヲ參議院ニ提出スルコトニナツテキル。

(一) 借款ニヨル鐵道敷設。京漢、京奉、粵漢、川漢等ノ各線路ノ敷設ハ外人トノ借款契約ニヨル。

(二) 株式募集規定。中外合辦會社ニ準ジテ處理ス。

(三) 外人トノ敷設契約。資本ヲ有スル者ニハ皆一線路ノ請負敷設ヲ許可シ、四十箇年ヲ滿期トシテ我ニ回收ス。

以上ノ内第三項ノ方法ニ至ツテハ之ヲ明知シナイ者ガ多ク、線路ニ關スル權利ガ一時喪ハレルコトニヨツテ、之ニ對スル主權モ同様ニ喪失サレルモノデアアルト考ヘテキル様デアアルガ、之レ外國ニ於ケル前例ヲ知ラナイモノデアアル。外國ニ於イテモ鐵道ノ敷設ニハ此ノ方法ヲ最モ妥當ナリトシテキルノデアツテ、現在佛國ノ如キ資本總額ノ我國ニ較ベテ萬倍モ豊富ナル國ニ於テモ、其ノ鐵道ハ尙英人ニ請負ハシメテ敷設シテキル状態デアアル。伊太利然リ、西班牙、「ペルー」等皆然リデアアル。之レ蓋シ私人ノ資格ヲ以テ交渉ヲ處理シ、國際上何等ノ關係ヲモ生ゼザラシメントスルガ爲デアアル。

此事ニ反對スル新聞紙ノ論調ニ就イテハ、余ハ未ダ詳細ニ之ヲ見ナイガ、大體ニ於テ次ノ三項ニ分チ得ル様ニ思ハレル。

- (一) 大總統ノ發令ノ理由ヲ解セズ、政府ノ所爲ヲ違法デアルトナスモノ。此說ヲナス者ハ、此種命令ガ單ニ一人ノ人夫頭ニ對シテナサレタモノデアツテ、官職ヲ有スル者ニ對シテナサレタモノデハ無イコトヲ知ラナイカラデアル。
- (二) 鐵道ノ委任敷設ノ有利ナルコトヲ知ラズ、他人ノ資本ニヨツテ之ヲナス時ハ主權ヲ喪失スルデアラウトナスモノ。此ノ點既ニ詳述シタカラ重ネテ論述シナイコトニスル。只事實利ヲ舉ゲ得ナイ線路、例ヘバ西藏鐵道ノ様ナモノハ何等急グ必要ハナク、且ツ外人ニ請負ハシメントシテモ、之ヲ肯ジナイデアラウカラ、此種ノ線ハ借款シテ自ラ敷設スベキデアル。
- (三) 斯ノ如キ大金ハ到底借款不可能デアラウシ、余ガ上海ニ銀行ヲ設立セントスル計畫モ、僅ニ一千萬ノ借款ヲナスニ過ギズ、而モ之ガ爲ニハ官有財産ヲ抵當トスル必要ガアルドラウカラ、此事ハ不可デアル、トナスモノ。余ガ此ノ主張ヲナスニ至ツタ原因ハ、六國銀行團ノ威嚇甚シク、之ガ爲ニ借款ガ久シク成立シナイカラ、上海ニ於テ各國ノ資本家ト商議シテ之ヲ抵制セントシタノデアル。然ルニ六國銀行團ハ皆、此ノ銀行ハ中外兩種ノ資本ニヨルベキモノデアルト主張シ、兩方ヨリ夫々一千万ノ資本ヲ出シ、之ヲ以テ債券ヲ發行シテ各國ニ賣ルベシトナシテキル。此ノ方法ニヨツテ銀行ヲ設立セシムル時ハ、能ク六億ノ借款ヲモ擔任シ

得ルノデアル。(此種銀行ノ資本中ニハ中國株ヲモ含ム)

余ハ曾テ電報ヲ以テ、政府ト一千万ノ資金ヲ籌畫シ得ルヤ否ヤヲ商議シタガ、當時ノ政府ハ一千万ハ愚カ一文ノ資金モ支出シ得ナイ状態デアツタ。其後又外國資本家ト、上海ノ或ル官有財産ヲ抵當トシ、中國側カラ、先ヅ二百五十萬ヲ支出スベキコトヲ協議シタガ、之モ六國銀行團牽制ノ目的ヲ以テシタモノデアル。然シ現在デハ既ニ大借款成立ノ望ミガアルカラ、余ハ此ノ問題ニ就イテハ再度論議シナイコトニシテキル。

今日ノ借款問題ハ、二十年前ニ於ケル革命ノ如キモノデアツテ、當時人ハ皆、革命ハ困難デアツテ成功ノ望ハ無イト言ツテキタガ、現在既ニ革命ノ目的ヲ達シテキルノト同様デアル。而モ此事タルヤ革命ニ比較シテヨリ容易デアリ、將來自ラ良好ナル效果ヲ舉ゲ得ルモノデアル。

余ノ民辦國有主義ニ極力反對ヲ唱ヘツツアル新聞ハ、米國經濟學博士ノ著書ヲ其ノ根據トシテ引用シテキルガ、該博士ノ著書ハ二十年前ニ發行サレタモノデアリ、當時米國ニハ僅ニ四十萬里ノ鐵道ガアツタニ過ギナカッタガ、現在デハ既ニ八十萬里ニ達シ、博士ハ四十萬里ノ鐵道ヲモ多シトナシタニ係ラズ、現在八十萬里ニ達シ居ルコト等ヨリ見テ、到底現在ニハ適用シ得ナイモノデアル。更ニ該新聞ハ一種奇態ナ議論ヲナシテキル。即チ中國ノ幅員ハ東西三千哩ニ過ギズ、何

ゾ二十萬里ノ鐵道ヲ敷設シ得ンヤト言フノデアアルガ、佛國ノ領土ハ長サ三百哩寬サ二百哩ニ過ギナイガ、其ノ鐵道總延長ハ七十萬里ニ達シテ居ルデハナイカ。

民辨ニ至ツテハ最善ノ方法ト言フベキデアツテ、日本モ曾テ此ノ方法ニヨツタコトガアル。最初國家ガ自ラ此ノ事ニ當ツタトシテモ其ノ損得ハ豫測シ難イモノデアリ、恐ラク六十萬ノ借款ヲナセバ必ず先ヅ三十萬ノ欠損ヲ見ルニ至ルデアラウト思ハレル。之レ中國ニ於ケル場合ノミナラズ各國皆然リデアアル。故ニ吾人ハ請負ノ方法ヲ最善トナスモノデアツテ、斯ル場合其ノ請負人ハ決シテ好ンデ欠損ヲナスガ如キコトハシナイモノデアアル。上述ノ如ク余ハ借款ニヨル鐵道ノ敷設ヲ主張シ、更ニ之ヲ外人ニ請負ハシムベキヲ主張スル者デアツテ、藉リテ以テ民生主義ヲ實行シ、種々ナル方面ノ弊害ヲ除カントスルモノデアアル。以上ガ余ノ鐵道敷設計畫ノ大要デアアル。諸君ニ若シ不明ナ點ガアレバ遠慮ナク質問サレタイ云々。

七、外資ノ歡迎ト門戶開放

— 民國元年九月五日北京迎賓館ニテ —

余ガ今回北來セルニツイテ、各界諸君ノ盛ンナル歡迎ヲ蒙ツタコトハ、誠ニ感謝ニ耐ヘナイコ

トデアリ、今日又諸君ト相會シテ共ニ談ズル機會ヲ得タコトハ、余ノ最モ喜ビトスル所デアアル。

此度余ハ北京ニ來ツテ以來、各方面ノ狀況ヲ目撃シテ十分ナル満足ヲ得ルコトガ出來タ。余ハ南方ニ在リシ頃、北方ニ此ノ奮發有爲ノ氣象ガアルトハ思ハナカッタノデアアルガ、來京後各界ノ諸君ト懇談シテ、始メテ此方ノ進歩ノ程度ガ、全ク余ノ意想外ノモノデアアルコトヲ知り、南北ノ疎隔モ將來ハ發生セザルベキヲ信ジ、且ツ國內問題ノ如キモ直ニ圓滿ニ解決シ得ベキヲ信ズルニ至ツタ。只蒙古ト西藏トハ未ダニ共和ノ眞義ヲ理解セズシテ、盛ニ反對ノ氣勢ヲ擧ゲツツアルガ、之レ全ク感情ノ融洽ヲ缺イデキル爲デアアル。前清時代ニモ此種現象ヲ見タガ、今回ノモノハ從前ニ比較シテヨリ激甚デアアル爲ニ、到底短時日ノ間ニ解決スルコトハ不可能デアラウ。此等ハ元來國內問題デアアルガ、其實外交問題ニモ關聯スルモノデアツテ、今日此ノ問題ヲ解決セントセバ、先ヅ外交問題ノ解決ヲ圖ル必要ガアル。

我ガ中華民國ハ成立後既ニ九ヶ月ヲ經タガ、未ダニ各國ノ正式承認ヲ得ルニ至ラナイ。之ニハ二ツノ原因ガアル。其ノ一ツハ、臨時政府ナル名目ノ爲ニ、各國ガ信用シナイカラデアアル。即チ各國ハ臨時ノ二字ヲ解釋シテ、確固タル永久ノ機關ニ非ズシテ、一時的假設的機關デアリ、將來ニ於ケル變動ノ有無ハ豫測シ得ナイモノデアルトナシ、隨ツテ之ガ承認ヲ遲疑シテキルノデア

ル。余ハ海外ヨリ初メテ歸來シタ當初、南方同志ノ委託ニヨツテ臨時政府ノ組織ニ當ツタガ、當時革命ハ尙完成サレテキナカツタノデ、迅速ニ政府ヲ組織シナケレバ、大ナル危険ヲ伴フ惧レガアリ、且ツ南北ノ統一モ完成サレテキナカツタノデ、人ハ皆當時組織スル政府ハ單ニ臨時的機關タラシムルニ適ギナイモノデアルト考ヘテキタ。之ガ爲ニ臨時政府ナル名ヲ冠スルニ至ツタノデア。余ハ當時此事ノ妥當デナイコトヲ知ツテキタガ、前記ノ意見ヲ主張シタ人々ハ、今日其爲ニ斯ノ如キ外交問題ヲ惹起スルニ至ルダラウトハ、豫想シテキナカツタデアラウ。然ルニ現在國內問題ハ悉ク解決サレ、困難ナノハ只外交問題ノミトナリ、臨時政府モ成立後既ニ九ヶ月ヲ閱シタノデアルカラ、此ノ際余ハ速カニ臨時政府ナル名稱ヲ取消シテ外人ノ疑惑ヲ去リ、各國ノ承認ヲ得ル様ニ努力スベキデアルコトヲ主張スル。「バナマ」革命政府ノ如キハ、成立後僅ニ一日ニシテ、先ヅ米國政府ノ承認ヲ得タガ、此等ハ米國ガ、「バナマ」新政府ノ確固且ツ永久的政府デアリ、一時的假政府ニ非ザルコトヲ信ジタガ故デア。之ニ反シ我民國ハ臨時政府ノ四字ニ禍サレ、其爲ニ蒙ツタ損害ハ尠カラザルモノガアル。

其ノ二ハ現在各國ノ我國ニ對スル態度デア。彼等ハ皆一致協調シ、何レノ一國モ肯テ步調ヲ亂スモノナク、之ガ爲ニ承認ノ一事モ皆遲延トシテ決シナイノデア。之レハ各國ガ、我國ニ對シテ夫々種々ナル權利關係ヲ有スル爲、若シ一國ガ單獨行動ヲトル様ナコトガアレバ、直ニ他國ノ疑ヲ受クルコトニナリ、從ツテ一國ノミノ承認ハ不可能デ、承認スルトスレバ、各國ガ同時ニ承認シナケレバナナイ様ナコトニナツテキルノデア。故ニ余ハ目前ノ重大問題ハ外交ヲ以テ第一トシ、此ノ困難ナル問題ヲ解決センガ爲ニハ、從來ノ閉關主義ヲ改變セザレバ不可ナリトナスノデア。

近來多クノ世人ハ、我國ノ外交問題ニハ之ガ解決ノ方法無シ、トシテキルガ、其實然ラズデア。即チ我國ガ若シ閉關主義ヲ改メテ門戶開放主義トナスナラバ、各國ハ我國ニ對シテ重ネテ無理ナ要求ヲナシ得ザルニ至ルデアラウ。暹羅ノ如キハ清朝時代ニ於テハ、高麗安南ト同一視サレタモノデアツテ、人口僅ニ五百萬、而モ專制政體デアリナガラ、今日猶ヨク其ノ獨立ヲ保持シ得ルノハ實ニ開放主義ヲ採用シ、國內ノ鑛山鐵道等ノ經營ヲ外人ニ許可シ、之ニ種々ナル制限ヲ加ヘズ、小ナルモノヲ開放シテ大ナルモノヲ保全スル政策ヲ採ツテキルカラデア。此外ニモ露國ノ如キハ、其ノ製造工場、兵工廠等ニ皆英人ヲ雇用シ、日本伊太利等ニ於テモ其ノ製造事業ニ關スル限り、多クノ英人ヲ雇用シツツアル状態デア。現代ハ鋼鐵ノ時代デアリ、地球上ニ國ヲ建テントセバ、必ズ之ガ製造ノ方法ヲ講ジナケレバ不可デア。然ルニ我國ニ於テハ外人ヲ排斥シ、

彼等ノ工場開設ヲ肯ゼザル爲、多額ノ代價ヲ支拂ツテ他國ノ兵器ヲ購入スルガ如キ、甚シク不利ナ結果ニ陥ツテキル。惟フニ今日ノ需要ニ應ジ得ル一ツノ兵工廠ヲ設立シヨウト思ヘバ、其ノ資本ハ少クトモ一億ヲ要シ、現在ノ我國トシテハ到底爲シ得ザル所デアアル。此ノ巨額ノ資金ヲ得ンガ爲ニハ借款ニヨル外無イ。果シテ然ラバ之ヲ中外合辦トシ、外人ノ持株五千萬、我が國人ノ持株五千萬トスルコトヲ以テ上策トナスモノデアアル。外人ニ投資ヲ許可スルニ於テハ、彼等ハ必ず其ノ事業ノ爲ニ盡力スルデアラウシ、此ノ點僱傭關係ニ比シテ、遙ニ我ニ有利ナコトハ言ヲ待タナイ。

余ハ外人ニヨル商工業ノ經營ヲ主張スルノデアアルガ、之ガ爲ニハ一定ノ期限ヲ定メ、期限終了後ハ之ヲ我國ニ買收シ、利權ノ永久ニ他人ノ手ニ落ツルコトヲ防止スベキデアアル。我國ニ於ケル一般世人ハ鐵道及礦山ノ賣却ヲ恥辱ト心得、敢テ此ノ說ヲナス者ガ無イガ、余ハ斷然此ノ事ノ有利無害ナルコトヲ保證スル。日本ガ既ニ之ヲ行ツテ大利ヲ獲タ事實ニ鑑テモ、其ノ然ル所以ハ明カデアアル。余ノ主張タル十ヶ年二十萬里鐵道敷設計畫ノ如キモ、勢ヒ外資ヲ借ラザルヲ得ナイモノデアアル。開放主義ノ結果多少ノ損害ハ受ケルトシテモ、自國ニ各種事業ヲ經營スル能力ガ無イ以上、之ガ經營ヲ外人ニ許可シナイ爲ニ、外人又ハ外國政府ガ強イテ我が政府ニ之ヲ要求シ來ツ

タ場合ハ、我國ニハ之ヲ拒絕スル力ガ無イカラ、滿洲鐵道ガ日露ノ手ニ歸シタト同様、遂ニハ永久ニ其等ノ利權ヲ外人ノ手ニ歸セシムル結果トナルデアラウ。殊ニ鐵道ニ於ケル場合ハ、之ガ主權ノ喪失ハ必ず領土ヲ喪フコトトナリ、頗ル寒心スベキ結果ヲ招來スルモノデアアル。故ニ斯ル場合小事ヲ保全セントシテ、大事ヲ喪フハ愚策デアツテ、寧ロ小事ヲ開放シテ大事ヲ保全スルヲ以テ策ノ得タルモノトセネバナラナイ。故ニ今日外交上ノ困難ヲ救ハントスレバ、進ンデ外資ヲ歡迎シ、從來ノ閉關主義ヲ一變シテ門戸開放主義ヲ採用スベキデアアル。以上ハ余ノ現在ノ外交問題ニ對スル意見デアアル。尙諸君ノ切實ナル研究ヲ望ム云々。

八、民國教育家ノ任務

— 民國元年九月三十日北京教育界歡迎會ニテ —

本日學界諸君ノ厚意ニヨリ、一堂ニ參聚シ得タコトハ欣幸ノ至リデアアル。

中華民國ノ學界ノ前途ニ對シテハ、余ハ諸君ヲ通ジテ無窮ノ希望ヲ有スル者デアアル。蓋シ學問ハ立國ノ根本デアリ、東西各國ノ文明ハ皆學問ニヨツテ發達シタモノデアアル。革命以前ノ我國ハ專制酷シク人ニ自由ノ權利ガ無カッタノデアアルガ、革命提唱サレテヨリ一唱百和、以テ能ク

成功ヲ告グルニ至ツタコトハ、皆學說ノ鼓吹ガ與ツテ力ガアツタノデアツテ、數十年來ノ運動奔走共ニ一般學界同志ノ熱心ナル援助ヲ俟ツテ初メテ今日ノ共和ヲ實現シ得タノデアアル。(雷ノ如キ拍手)今既ニ破壞ヲ終リ建設ノ緒ニ就クニ當リ、曾テ破壞ノ學ニ豐富ナリシ諸君ハ、今ヤ當ニ變ジテ建設ノ學ヲ求ムベキデアアル。世界ノ進化ハ學問ニ隨ツテ轉移スルモノデアツテ、人類有ツテ以來常ニ各種專門名家ガ、各種ノ專門學說ヲ發明シ、斯テ初メテ政治實業等ノ各般ノ文化ハ、自然ニ進化スルニ至ツタノデアアル。二十世紀以前、歐洲諸國ニ於テ生存競争ナル一種ノ新學說ガ創始サレ、影響ノ及ブ所、一時各國共ニ優勝劣敗、弱肉強食ヲ以テ其ノ立國ノ根本義トナスニ至ツタ程デアツタ。然シ強權有ツテ公理無シトスル此ノ學說ハ、歐洲文明ノ進化ノ初メニ於テハ之ヲ適用シ得タカモ知レナイガ、今ニシテ之ヲ視レバ一種ノ野蠻ナル學說ニ過ギナイ。今ヤ歐米ノ文明ハ愈々進ミ、其ノ結果現在倫理的見地ヨリ世界平和ヲ標榜スル學說ヲ提唱シ、公理ヲ重ンジテ暴力ヲ斥ケ、道德ヲ尙ンデ野蠻ヲ尙バズ、彼ノ生存競争ノ學說ノ如キハ、既ニ今日ノ如キ過渡時代ニ在ツテハ適用サレズ、次第ニ消滅セントシツアル。然ラバ何ヲ以テ過渡時代ト言フカ。蓋シ野蠻ナル學問ヨリ、文明ナル學問ニ推移シツアルヲ以テデアアル。(拍手雷ノ如シ)故ニ今日學問ノ一途ニ執掌スル諸君ハ、當ニ宗旨ヲ改良シテ文明ニ着眼シ、中國ノ學問ヲ歐米ト竝駕セ

シメ、惹イテハ政治實業ノ自然ノ進歩ヲ助長シ、以テ將來ノ中華民國ヲシテ、世界各國ト同様ノ平和ヲ享有セシメナケレバナラナイ。

惟フニ專制時代ニ於ケル一般人士ノ求學ノ目的ハ、皆權利ノ獲得ニ在ツタ。ソシテ目的ニ到達スレバ、其ノ智識ヲ利用シテ民權ヲ剝奪侵害シ、桀ヲ助ケテ虐ヲ爲シ、反ツテ學問ヲシテ民ヲ賊シ、國ヲ賊スルモノタラシメテキタノデアツテ、余ノ最モ痛恨措ク能ハザリシモノデアツタノデアアル。(拍手雷ノ如シ)

今ヤ國政既ニ革リタルヲ以テ、諸君ノ求學ノ心理モ亦當然改ムベキデアアル。蓋シ共和國ハ權利ノ平等ヲ尊重シ、弱肉強食、優勝劣敗ノ學說ノ如キハ此ノ社會ヲ蠱毒スルモノデアリ、非共和國ニ於テノミ適用シ得ベキモノナルガ故デアアル。我國四億ノ同胞ハ智愚一ナラズ、人々皆政治ニ參與スルニ足ル智能ヲ有スルコトハ不可能デアアルガ、才智アル者ハ各種ノ學問ヲ研究シ、政治的能力有ル者ハ政治的權勢ヲ有シ、皆分ニ應ジテ、其ノ學問ヲ、民ノ幸福ヲ謀リ國家ノ富強ヲ圖ランガ爲ニ用フベキデアアル。諸君ハ今後須ク求學ノ方針ヲ知り、一個人ノ利權ノ爲ニ非ズシテ、國家萬民ノ爲ニ責任ヲ負ハンコトヲ期シ、爾今文明ノ學問ヲ研究シテ野蠻ナル學問ヲ去リ、我國ノ道德ヲ日一日ト向上セシメ、惹イテハ我國ノ價值ヲ日一日ト高カラシムベキデアアル。國家ノ價值日

ニ高ケレバ、懸テハ神聖不可侵ノ地位モ獲ラレ、瓜分共管ノ説ノ如キモ自ラ雲消霧散スルニ至ルデアラウ。余ハ此ノ事ヲ深ク諸君ニ熱望シテ止マナイ。(拍手雷ノ如シ)

九、建設ヲ謀ラントセバ須ク舊思想ヲ排除セヨ

— 民國元年九月十八日太原ニ於ケル歡迎會ニテ —

本日余ガ初メテ當地ニ來リ、諸君ノ歡迎ヲ受ケタコトハ實ニ感激ニ耐ヘナイ。

昨年武昌ニ於テ義兵ヲ起シ、半載ナラズシテ成功ヲ告グルニ至ツタニ就テハ、山西ノ實力者タル閻百川君ノ功ガ、與ツテ力アツタノデアツテ、此點閻君ニ對シテハ、山西人ハ勿論、十八省ノ人ハ皆同様ニ感謝スベキデアル。何トナレバ廣東ハ革命ノ發祥地デアルガ、清朝ノ防衛ガ嚴シカツタ爲、革命軍ハ屢々敗レ、革命事業ハ容易ニ進展シナカッタ。此時ニ當ツテ山西ノ義舉ガナカツタナラバ、自然南北ノ交通ハ斷絶シ、天下ノ事ハ豫測ヲ許サナイモノガアツタデアラウ。

古今ノ歴史ニ徴スルニ、破壊ハ易ク建設ハ甚困難デアル。今日眞ニ五族ガ共和シ、天下一家ノ實ヲ舉ゲ様ト思ヘバ、之ガ爲ノ建設方法ハ、各省ガ聯絡シ、同舟共濟、以テ此ノ事ニ當ラナケレバ、決シテ鞏固ナル基礎ハ建設シ得ナイ。況ンヤ共和國ハ既ニ成立シタガ、列強ハ尙承認セズ、

危険ナル状態ガ紛々トシテ起リツツアル今日、我ガ同胞ハ勇旺邁進、險阻ヲ避ケズ、意見ヲ争ハズ、權利ヲ主張セズ、責任ヲ轉嫁セズ、協同一致以テ眞ノ共和達成ニ努力スベキデアル。

惟フニ前清入關以來ノ第一政策ハ、團體ノ破壊ヲ目的トシタモノデアツタ。故ニ各省ニ此事ヲ令シテ相互ノ統一ト聯絡トヲ防ギ、之ヲ久シウシテ一種ノ習慣ヲナスニ至ツタ。其後留學生ガ日ニ多クナリ、彼等ヲ通ジテ省界ニ對スル偏見ハ漸次融和消滅シ、又外人ノ刺戟ヲ受ケテ、始メテ不統一ト無聯絡トノ特ムニ足ラザルヲ知ルニ至ツタ。茲ニ於テ氣脈ヲ通ジテ一致事ニ當ルコトトナリ、始メテ今日ノ良結果ヲ收メ得タノデアル。余ハ我ガ同志ガ此ノ心ヲ堅持シテ少シモ變ラザルコトヲ望ム。蓋シ現時ノ中國ハ猶危険ナル時代ニアルカラ、各々が自己ノ爲ニノミ謀ツテ國家ヲ其ノ前提トナサザルニ於テハ、虎視眈々タル外人等ニヨツテ分割共管ノ禍ヲ受クル危険ガ目睫ノ間ニアルノミナラズ、國民自ラ離心離德シ、之ガ結果トシテ一層困難ナル事態ヲ誘致スルコトハ必定ダカラデアル。故ニ中國ニ鞏固ナル國家ヲ建設セントセバ、國民ガ心ヲ一ニシテ協力協策スルニ非ザレバ、外人ノ覬覦ヲ防ギ得ナイデアラウ。ソシテ斯ノ如キ状態ニ入ルガ爲ニハ、各人が舊思想ノ全部ヲ消除シ、代フルニ嶄新ナル思想ヲ以テシナケレバ、到底成功シ得ナイモノデアル。即チ政治革命、種族革命等ノ名題ハ皆共和完成以前ニ於ケルモノデアツテ、民國ガ成立シ、

既ニ目的ヲ達シタル今日ニ在ツテハ、此種舊思想ヲ悉ク排除シテ初メテ建設ヲ謀リ得ルノデアル。現在ハ共和時代デアツテ、專制時代ト異リ、政治ハ政府ニ依ラズシテ國民ニヨリ、從ツテ其ノ責任モ政府ニ無クシテ國民ニ有ル。此ノ事實カラシテモ四億ノ同胞ガ一齊ニ努力シテコソ、眞ノ共和ト自由ト幸福トガ獲ラレルノデアル。今日幸福ノ何タルカハ人皆之ヲ知ツテキルガ、幸福ノ眞諦ニ至ツテハ未ダ之ヲ究メズ、又之ニ到達シテキナイ様デアル。何レニシテモ現在吾人ガ幸福ヲラントスル希望ヲ有シテキル以上、吾人ハ須ク之ガ爲ニ努力シ、之ガ目的ヲ達成シ、眞ノ幸福ヲ享受シ得ル様勉メナケレバナラナイ。然シ建設時代ニハ、寧ロ個人ヲ犠牲ニシテ一般民衆ノ幸福ヲ謀ルベキデアツテ、此ノ點破壊時代ニ人ノ生命ヲ犠牲ニスル必要ガアルノト同様デアル。即チ今日ノ建設ニモ犠牲ヲ要スルノデアル。而モ其ノ要スル犠牲タルヤ、從前ニ倍スルモノデナクテハナラナイ。要スルニ眞ノ自由ト幸福トハ生命ト權利トヲ犠牲ニスルニ非ザレバ、到底獲得シ得ナイノデアル。此故ニ諸君ハ、破壊時代ニハ生命權利ヲ犠牲トスベキモノデアルガ、建設時代ニハ必ズシモ其ノ必要ハナイ、ト言ツタ様ナ考ヘテ棄テ一路努力邁進シナケレバナラナイ。之レ今日ノ余ノ希望デアル。我が同胞タルモノ能ク之ヲ勉メヨ。

十、國家社會主義ノ提唱

— 民國元年九月四日北京共和黨歡迎會ニ於テ —

余ガ今回北來シ、今日諸君ノ歡迎ヲ蒙ツタトハ感謝ニ耐ヘナイ。

現在中華民國ハ專制政體ト異ル共和政體ヲ採ツテキル。專制政體ノ主權ハ、君主一人ノ私有物デアルガ、共和政體ニ於テハ、三權分立デアツテ、夫々ガ獨立シテ異ツタ權限ヲ持ツテキル。此等三權ノ中、立法機關ハ最重要ナモノデアリ、人民ヲ代表スルモノデアル。國家ノ完全ヲ期セントスルニハ、先ヅ第一ニ議院ノ完全ヲ期スルコトガ必要デアリ、之ガ爲ニハ先ヅ完全ナル政黨ヲ必要トスル。民國ノ初ニ發生シタ政黨ハ、貴黨ト國民黨ノ二黨デアル。然シ現今人民ノ多クハ尙未ダ政黨ノ作用ヲ解シテキナイ。故ニ余ハ諸君ト共ニ政黨ノ何モノナルカニ付テ解釋ヲ試ミタイト思フ。

世界デ最モ完全ナル政黨ヲ有スルノハ英國ト米國トデアル。英國ニハ保守黨ト自由黨トガアツテ、自由黨ハ自由貿易ヲ主張シ、保守黨ハ保護關稅制度ヲ主張シ、兩々相持シテ今日ニ至ル迄、解決ヲ見ナイ。米國ニモ共和黨ト民權黨トガアル。一八四〇年「マツキンレー」氏ハ西班牙ニ勝

ツテ「フイリツピン」ヲ征服シタガ、其後「ルーズヴェルト」ガ大統領トナリ、海軍擴張ノ急務ナルコトヲ主張スルニ至ツタ。「ル」氏ハ共和黨ニ屬シテキタノデ、共和黨モ國權ノ擴張ヲ主張シ、從ツテ帝國主義ヲ唱フルモノト見ララルニ至ツタガ、民權黨ハ練兵ニ反對シタ。民權黨ハ米國ハ、世界最富ノ國デアアルカラ、關ヲ閉シテ自ラ守ツテ居レバ、以ツテ其ノ強勢ヲ保ツニ足ルカラ、人道ヲ破壊シ他國ヲ侵略スル必要ハ無イト主張スル、之ガ所謂「モンロー」主義デアアル。斯ノ如ク此等ノ兩黨ハ夫々異ツタ主張ヲ有シ、今日ニ至ル迄之ガ正當ナル解決ヲ見ナイノデアアル。斯様ニ英米兩國ニ於イテハ、政黨ガ對立シテ相争ツテキルガ、其ノ争フ所ハ皆重大ナル問題ニ付テデアツテ、議院ノ議案ニ就テハ、兩黨各々是非ノ判斷ヲ同ジクスル場合ニハ、飽ク迄自黨ノ言ヲ固執スルト言フ様ナコトハ無イ。此等ノ例ニ反シ、自黨ニ於テ意見ガアル場合、豫メ黨員ノ間ニ運動シテ其ノ了解ヲ得、然ル後、議案トシテ提出シ、其ノ議案ガ無益デアアル事ヲ知ツテキテモ、自黨ノ提出シタモノハ必ズ之ヲ通過セシメ、他黨ノ提出シタモノハ譬へ有益デアツテモ、之ニ反對スルト言フ様ナ政黨ハ、必ズヤ國家ニ益ナキモノデシカアリ得ナイダラウ。民國既ニ成立シタル今日、余ハ兩黨ノ諸君ニ、英米ヲ以ツテ模範トナシ、公理ヲ以テ終局ノ目的トサレンコトヲ願フモノデアツテ、斯クスレバ將來必ズヤ發達ノ望ミガアルデアラウ。之ニ反シテ若シ公理ヲ

目標トシナケレバ、如何ニ黨員ガ多ク、其ノ勢力ガ盛ンデアツテモ、遂ニハ失敗ヲ招クデアラウコト必定デアアル。

余ガ此度北來シタ目的ハ、政黨トノ關係ヲ絶ツテ、社會事業ニ從事センガ爲デアツテ、余ハ今後專心實業方面ニ盡力スル考ヘデアアル。從來余ハ三民主義ヲ主張シツツアルガ、民生主義モ其ノ一端デアアル。民生主義ハ今日ニ至ルモ尙其ノ發達ヲ見ナイ。然ルニ此ノ主義ハ國民ノ生計ニ關係スルトコロ至大デアツテ、大多數人ヲシテ幸福ヲ享受セシメントセバ、民生主義ニヨルニ非ラザレバ不可デアアル。而モ世間ニ於テハ此ノ問題ニ對シテ頗ル疑惑ヲ有シテキル様デアアル。之ハ恰モ彼等ガ二十年前、革命ニ反對シタト同様デアツテ、民生主義ハ貧富ヲ平均スル主義デハ無クテ、國家ノ力ヲ以テ自然ノ實利ヲ發達セシメ、資本案ノ專制ヲ防遏スルモノナル事ヲ知ラナイカラデアアル。獨逸ノ「ビスマーク」ハ社會主義ニ反對シテ、國家社會主義ヲ提唱シタガ、此ノ主義ハ十年來世界ヲ風靡スルニ至リ、日本ニ於テモ先年多數ノ社會黨ノ人ヲ殺シ、其ノ政府ハ煙草專賣等ノコトヲ主張スルニ至ツタ。此等ハ皆國家社會主義ニ屬スル主張デアツテ、此點カラ見テモ、此ノ主義ガ荒謬ナモノデハナク、世界各國ニ行ハレツツアルモノナルコトヲ知り得ルデアラウ。現在英米等ノ各國ハ皆資本案專制ノ害ヲ受ケテキルガ、其ノ例トシテ總統ノ年俸ハ十萬余ニ過ギナ

イガ、資本家ノ一タル法律顧問ノ如キハ、年收三十萬余ニ達シテキル。之ヲ以テモ資本家ノ勢力ノ大ナル事ヲ知り得ルデアラウ。更ニ議員ノ如キモ多クハ資本家ニ買收セラレテキル。中國ニモ十年ノ後ニハ必ズ十萬人以上ノ大資本家が生ズルデアラウカラ、今カラ之ガ防備ノ準備ヲナス必要ガアルノデアツテ、余ガ國家社會主義ヲ提唱スル微意モ亦此處ニ存スルノデアリ、鐵道ノ敷設ト、之ガ國有トヲ主張スル所以モ、國家社會主義ヲ實施シ、富國強民ノ基ヲ築カンガ爲メデアル。貴黨ノ諸君ガ鄙意ニ賛成下サレバ幸甚デアアル云々。

十一、社會主義ノ分派ト其ノ方法

— 民國元年、中國社會黨ニ對スル演說 —

社會主義トイフ言葉ハ、十七世紀ノ初ニ起リ、其ノ概念モ既ニ廣汎デアルカラ、其ノ定義モ自ラ困難デアル。特ニ斯ル主義ハ元來吾々人類ノ頭腦中ニ當然發生スベキ思想デ、現社會ノ種々ナ組織ニ不滿ヲ感ジ、之ヲ改良セントスル意思ヲ抱クト、之ガ爲ニ社會主義ノ潮流ハ、時ニ應ジ勢ニ順ツテ吾人ノ頭腦中ニ入り込シテ來ル様ニナリ、從ツテ種々ナル社會主義ノ原理ガ、吾人ノ研究ヤ討論ニノボル様ニナルノデアアル。先ヅ西歐ニ於ケル最初ノ社會主義ノ學說ニツイテ見ル

ニ、ソレハ「均産派」デアツテ、貧富兩者ノ財産ヲ合シテ之ヲ均分セヨト主張シタ。貧富間ノ闘争ノ風潮ガ激シクナルヤ、政府ノ取締方法モ亦嚴重トナリ、政府ノ取締ガ嚴重トナルニツレ、黨人ハ之ニ反抗シテ其ノ主張ハ益々激烈トナツタガ、無政府主義ノ學說ガ其ノ勢ヲ逞シウスルニ及シテ眞正純粹ノ社會主義ハ遂ニ雲霧ノ中ニ湮没シ、杳トシテ其ノ跡ヲタヅネ得ザルニ至ツタ。其ノ後、獨逸ニ「マルクス」ガ出テ、苦心獨學、資本ノ問題ヲ研究スルコト三十年ノ久シキニ及ビ、「資本論」ノ一書ヲ著シ眞理ヲ闡明シテ餘力ヲ遺サズ、條理ノ無カッタ學說ヲ遂ニ系統アル學理タラシメ、社會主義ノ研究者ハ之ニヨツテ皆據ル所ヲ知り、重ネテ以前ノ如キ粗暴淺薄激烈ナ言論ヲナサナイ様ニナツタ。然シ、ナホ未ダ數理天文等ノ學ノ如ク完全ナル科學トハナツテ居ラズ、現在進行中ノモノ故、一定ノ標準ト言フモノハナイ。將來モシ一科學トナリ得タナラバ、實行方法ヲ研究シテ更ニ着手ヲ容易ナラシメルデアラウ。

社會ハ個人ニ對立スルト云ヒ、社會主義ハ亦個人主義ニ對立スルト云ハレル。ソシテ英國ハ個人ヲ尊重シテ、極端ナ自由ヲ主張シ、獨國ハ國家本位デ、個人ヲ國家ノ一分子トシ、寧ロ犠牲ニシテモ惜シマナイ。斯様ニ、其ノ國家ノ政體ガ異ルカラ、其ノ主義モ之ニヨツテ異ルノデアアル。個人主義ヲ主張スル者デアツテ社會主義ニ反對シナイ者ハナク、社會主義ヲ主張スル者ハ又、個人

主義ニ反對セザルハ無イ。カクテ議論紛々トシテ中正ナルヲ得ナイ。個人ト社會トハ、本來、大我ト小我ノ同ジカラザル如キモノデ、其ノ理ハ相互ニ見出シ得テモ、其レダケデ是非ヲ云々スル事ハ出來ナイ。

社會學ト社會主義トハ、固ヨリ自ラ區別ガアル。ソノ社會ノ起原、及ビ社會ノ變遷、種々ナ状態、現象等ヲ研究スルノハ、ミナ社會學ノ範圍ニ屬シテ居ル。社會主義トハ一言ニシテ云ヘバ、社會ノ生計デアアル。然シソノ主張ノ激烈デ、富人ノ財産ヲ均分セヨト云フガ如キコトハ、理論上既ニ行キ詰リ、主義ノ上カラ見テモ矛盾ガアル。故ニ社會ノ生計ノ平均ヲ主張セント欲スルナラバ、必ズヤ別ニ平和的ナ完全ナ解決方法ヲ作り、以テ社會主義ノ希望ヲ達シナケレバナラス。コレヲ歴史ニ鑑ルニ、我國ハ元來古クカラ社會主義ヲ主張セルモノデ、井田ノ制ハ、均産主義ノ濫觴デアリ、累世同居ハ共產主義ノ嚆矢デアツテ、以テ我國民ノ腦裡ニハ久シク社會主義ノ精神ガ蘊蓄サレテ居タ事ヲ知ルニ充分デアアル。從ツテ其ノ發展ノ速カナルコトハ、應ニ一日千里ノ勢ガ有ツテ然ルベキデアアル。

歐洲ノ社會黨ハ、完全ニ政黨タル性質ヲ有シ、近年ニ至ツテハ、著シク政治上ノ勢力ヲ得、佛ノ如キ、獨ノ如キ、白耳義ノ如キ、ソノ政府、或ハ議院中ニ社會黨員ガ多數ヲ占メテ居ル。英國ハト云フニ、四五年前社會黨（労働黨）員ガ初メテ議席ヲ占メ、シカモ同時ニ選舉サレタ黨員ハ數十名ノ多數ニ達シ、且ツソノ一人ハ殖民地大臣ニ任ゼラレタ。米國ノ社會黨ハ未ダ發達シテ居ナイガ而カモ其ノ黨員デ政治上重要ナル位置ニ在ル者ハ非常ニ多ク、以テ一團ヲナシテ居ル。中國社會黨ハ民主政體ノ下ニ發生シタ。一體、民主政體ノ政治ハ、第一ニ人民政治デアアル。社會黨ハ既ニ民主政體下ノ人民ヲ集メタ以上、政治上ノ活動ヲシナケレバナラナイ。則チ、今日、社會黨ハ速ニ強力ナル政黨ヲ組織シ、政治上ノ勢力ヲ握ラネバナラナイ。社會主義ノ政策ヲ實行スルコトハ實ニ余ノ深ク希望スル所デアアル。

社會主義ハ獨リ國家政策ノ一種タルノミナラズ、其ノ人類世界ニ影響スルコト重且ツ大デアツテ、社會主義ハ實ニ進化ノ理ニ循ヒ自然ヨリ人爲ニ至ル、關鍵デアアル。動物ノ強弱、植物ノ榮衰モ皆、物競天擇、優勝劣敗ニ歸スルガ、進化論者ハ此例ヲ舉ゲテ人類ノ國家ニ例ヘ、凡ソ、國家強弱ノ戰爭、人民貧富ノ懸隔等ハ、皆自然淘汰ノ原則ナリト見ナシテ居ル。故ニ「ダーウキン」ノ主張デハ、世界ニハ強權アルノミデ公理ハナイト云フ。後代ノ學者ハソノ言ニ附和シテ、絶對ニ強權ヲ以テ世界唯一ノ真理トナスニ至ツタ。然シ吾人ハコレヲ良知ニ訴ヘテ見テ、未ダ敢テ贊同シ難イノヲ覺ユル。誠ニ強權ハ自然ノ進化ニハ合致スルガ、而モ公理ハ天賦ノ良知ヲ混スコト

ハ出來ナイ。故ニ自然淘汰ハ、野蠻ナル物質ノ進化デアリ公理良知ハ實ニ道德文明ノ進化デアアル。社會組織ノ不良ハ自然ニ制限サレルガ、之ガ改良ハ、人爲ノ力ヲ以テシテモ尙ホ或ハ及ビ得ルデアラウ。故ニ社會主義ハ、人ノ能クシ得ル所ヲ盡クシテ自然界ノ缺陷ヲ匡救スルモノデアリ、其ノ主張スル所ハ、元來、弱肉強食、優勝劣敗ノ學說ヲ打破シテ、平和慈善ヲ以テ貧富ノ階級ヲ消滅セシメ様ト欲スルモノデアアル。彼ノ富人ノ財産ヲ均分スルトイフ主張ハ、表面ハ平等ノ趣旨ニ叶フ様デアアルガ、實際ハ一時的ノ平等デアツテ、永久ノ平等デハナイ。故ニ、永久ニ貧富兩階級ヲ絶滅セント願フナラバ、此ノ方法ヲ捨テテ別ニ他ノ方法ヲ行ハネバナラス。社會主義學說ニシテ最近發表サレタモノハ、深奥ニシテ且ツ其ノ數モ夥シイモノデアアル。佛、獨、白ノ各國政府ハ、ソノ多クヲ採用シ實行シテ居ル。社會黨ニ反對スル日本ノ如キデモ、社會政策ヲ採用シナイ様ナ事ハナイ。一般日本人ガ社會黨員ニ反對スルノハ、ソノ主張ガ激烈デ秩序ヲ破壊シ、法律ガ之ヲ許サスカラデアアルニ過ギナイ。我國ニ於ケル社會主義ノ流行ハコレカラ始マルノデアアルカラ、特ニ、黨員ガ平和的態度ヲ持シ、政府ト連絡シテ共ニ進展ヲ圖ラレン事ヲ切望スル。尙社會主義ハ本來專制政體トハ極メテ相容レナイモノデアアルカラ專制政體ノ下デハ存在シ得ナイ。然ルニ今我國ノ社會黨ハ民主政體成立ノ時ニ當ツテ發生シタ。之レ實ニ他ニ得ヤスカラザル機會デアアル。

此ノ好機ヲ得ナガラ、順序ヲ追ツテ漸進シ、以テ將來アラシメル事ヲシナカッタナラバ、ソレコソ痛恨事デアツテ、此點運動ヲ鼓吹スル人々ノ少カラズ注意ヲ要スル所デアアル。

次ニ社會主義ノ分派ヲ考察シヨウ。(一) 共產社會主義 (二) 集産社會主義 (三) 國家社會主義 (四) 無政府社會主義。英、獨ニハ更ニ所謂、宗教社會主義(譯者註、基督教社會主義) 世界社會主義ガアリ、宗教ヤ世界ヲ以テ社會主義ノ範圍ヲ定メテ居ルモノガアルガ皆適當デナイ。余ノ意見デハ、社會主義ハタダ二派ニ區分スベキデアル様ニ思フ。一ハ集産社會主義デアリ、一ハ共產社會主義デアアル。蓋シ、國家社會主義ハ本來集産社會主義ニ屬シ、無政府社會主義ハマタ共產社會主義ニ屬スルカラデアアル。デハ所謂集産トハ何かト云フニ、凡ソ利益ヲ生ズル諸事業、土地、鐵道、通信、電氣、鑛産、森林等ヲミナ國有ニスルモノデアリ、共産トハ、人間社會ニ在ツテ各自其ノ能クスル所ヲ盡クシ、各自其ノ必要トスルモノヲ取り、父子兄弟共ニ一家ニ住居シ、各々其ノ利ヲ生ミイダス力ヲ盡シ、各々其ノ衣食ニ必要ナモノヲ取ツテ、互ニ競争セズ、妨害セズ、平和ノ極、政府モ遂ニ無爲ノ立場ニ至リ、消滅ノ一途ヲ辿ル、ト言フ主張デアアル。此ノ兩者ヲ相互ニ比較スルト、共產主義ハ勿論社會主義ノ上乘ナモノデアアル。然シ今日國民一般ノ道德程度デハ、其ノ能クシ得ル所ヲ盡シテ、以テ必要トスル所ヲ求メルト云フ様ナモノハ少數ハアラウケレドモ、全體

トシテ其處迄ハ達シテ居ナイ。即チ誰モ彼モ其ノ必要トスル所ハ勝手ニトルガ、少シモ其ノ能ク
スル所ヲ盡サヌト云フ連中ガ多イノデアル。之レデハ己レノ能クスル所ヲ盡スト云フ方ハ、マダ
決シテ充分デナイノニ、其ノ必要トスル所ヲトルコトノミガ、恐ラク多量ニ過ギルデアラウ。之レ
ハ狡猾ト誠實ト勤情苦樂トガ反對ノ效果ヲモタラシ、却ツテ真正ノ社會主義ト相牴觸シテシマフ。
論者ハ、道德知識ガ完全ニナツテ後行フベシト謂フ。併シ其ノ時ノ人民ハ、道德知識ガ吾人ニ比
較シテ高ク、自ラ實行力モ有ラウカラ、必ズシモ吾人ガ若心慘憺シテ數千年前ニ計劃スル必要ハ
ナイ。吾人ハ今日ノ人民デアルカラ、今日負フベキ責任ヲ放棄シテハナラヌ。斯クスルコトコソ
今日吾人ガ負ハネバナラヌ責任デアリ、數千年後ノ人民ニ對シ責任ヲ負フコトナノデアル。故ニ
吾人ハ今日ノ社會ニ在ツテハ、マサニ今日ノ社會組織ヲ改良スルコトニヨツテ吾人ノ本分ヲ盡サ
ネバナラヌ。則チ、集産社會主義ヲ主張スル事コソ、實ニ今日唯一ノ要務ナノデアル。凡ソ利ヲ
生ズル土地、鐵道ハ收メテ國有トナシ、一二資本案ノ漁利ヲ壟斷スル所ナカラシメタナラバ、失
業ノ貧民モ、各自ソノ所ヲ得、自ラソノ勞働ニヨツテ衣食スルコトガ出來、カクテ自然ノ缺陷モ
補救サレ、又深ク公理ノ平等公正ニモ合スルニ至ルデアラウ。コレコソ社會主義ノ精神デアリ、
貧富ノ激戰ヲ平和的ニ解決スル所以デアル。

吾人ノ抱ク所ノ唯一ノ宗旨ハ、其ノ不平等ヲ平等ニ、不平等ナルモノヲシテ平等ナラシメント
スルニ過ギナイ。滿清ハ少數人ヲ以テ吾人多數ノ漢人ヲ壓制シタガ故ニ種族革命ガ起ツタ。專制
政體ハ一帝王ヲ以テ吾人多數ノ人民ヲ壓制スルモノ、故ニ政治革命ガ起ツタノデアル。社會革命
ニ至ツテハ、元來少數大資本案ガ多數ノ人民ヲ壓制スルコトカラ起ルモノデ、各國ニ於イテハ貧
富兩階級間ノ差ハ甚シク距リガアリ、之ガ爲ニ遂ニ社會革命ヲ醞釀シ、革命セズンバ止マザル勢
トナツテキル。我國ニハ大資本案ハナホ未ダ發生シテキナイカラ、社會革命ニ言及スルヲ要シナ
イ様デアルガ、併シ我國ノ物質文明ハ、正ニ企業家ガ縱横ニ發展ヲ計畫シツツアルカラ、將來大
資本案ノ富ハ必ズヤ石油王、鋼鐵王ニ過グルモノガ有ルダラウ。ソノ既成勢力タルニ至ツテ後、
社會革命ヲ思フヨリハ、何ゾ微ニ防ギ、漸ニ杜ギ、此ノ貧富ノ戰爭ノ禍ヲ未然ニ去除クニ如カン
ヤデアル。西歐諸國ノ如キハ之ヲ譬ヘテ云フナラバ、疾病ガ既ニ身體ニ纏ヒツキ、激藥ヲ投ゼザ
ルヲ得ナイ状態デアルガ、我國ハ未ダ病ニオカサレテ居ナイノデアルカラ、宜シク最モ衛生ニ注
意スベキデアル。社會主義ヲ、病氣ヲ醫スル爲メノ藥石ト稱スルノハ、ヨロシイ。マタ衛生ノ方
法ト稱スルモノモ、ヨロシイ。タダ我國ト諸國トハ社會状態ガ同一デナイカラ、社會主義ノ實行
發展ノ政策モコレガ爲メニ激烈ナルト平和ナルトノ違ヒガナクテハナラナイ。各國ニハ社會主義

ニ反對スル政府ガ多イガ、我國デハ極メテ社會主義ニ賛成シテキル。サレバ我國ノ社會主義ヲ主張スル學徒ハ國家社會ノ情勢ヲ斟酌シ、一種平和圓滿ナル學理ヲ鼓吹シ、以テ政府ノ採擇ニ供スベキデアアル。

社會主義ハ人道主義デアアル。人道主義ハ博愛、平等、自由ヲ主張スル。社會主義ノ真髓モ亦此三者ニ外ナラズ、實ニ人類ノ福音デアアル。我國古代ノ堯舜ノ「博ク施シテ衆ヲ濟フ」トイフ說ハ孔子ニモ傳ヘラレテオリ、墨翟ノ兼愛ハ博愛ニ近似スルモノガ有ル。併シナガラ、ミナ狹義ノ博愛デアツテ、其愛ハ人々ニ普及スルヲ得ナイ。社會主義ノ博愛ハ廣義ノ博愛デアアル。社會主義ハ人類ノ幸福ヲ謀ツテ、普遍普及セシメ、地ハ五大洲ヲ盡クシ、時ハ萬世ニワタリ、蒸々芸々、ソノ惠澤ヲ被ラザルハナイ。コレガ社會主義ノ博愛デアツテ、眞ニ博愛ノ精神ヲ得タモノデアアル。然ラバ人類ノ幸福ヲ謀ランガ爲メニハ、其ノ着手スル方法ハ、將ニ何カラ爲スベキデアルカ。之ニハ先ヅ人類ヲ苦シメル原因ヲ究明セネバナラナイ。人類ノ社會ニ在ツテ、疾苦幸福ノ同一デナイノハ、生計ガ實ニソノ主要ナ原因ヲナシテ居リ、人類ノ生活モ亦皆生計ノタメニ制限サレルノデアアル。カルガ故ニ、生計ガ完備シテ始メテ生存シ得ルガ、生計ガ斷絶スレバ途ニ淘汰サレテシマフノデアアル。社會主義ハ既ニ人類ノ幸福ヲ謀ラントスル以上、先ヅマサニ人類ノ生存ヲ謀ラネバナラス。人類ノ生存ヲ謀ラントスル以上、當ニ社會ノ經濟ニ就イテ研究セネバナラス。故ニ

社會主義ハ、一面人類ノ經濟主義デアアル。經濟學者ハ、專ラ經濟ノ一方面カラ着想シ、其ノ學說ハ既ニ完全ナル一科學ヲナシテ如ルガ、社會主義ハ社會經濟ノ方面ヨリ着想シ、經濟學ノ根本ニヨツテ解決シ、以テ社會上ノ疾苦ヲ補救セントスルモノデアアル。

按ズルニ、我國ニ於ケル經濟學ノ濫觴ハ、管子ノ經濟學デ、彼ハ鹽魚ノ利ヲ興シ、齊ヲ治メテ富強ヲ致シタ。タダ當時ハ經濟學ナル名詞モナケレバ、理論モナカッタノデ、未ダ科學トナル事ハ出來ナカッタ。ソノ後、經濟ノ原理ガ、系統アル學說トナリ、富國學、或ハ理財學ノ名ヲ以テ論議サルルニ至ツタガ、イブレモ未ダソノ内容ヲ充分表現スルニ足りナカッタ。タダ經濟ノ二字ハ、稍々之ニ近い様デアアル。經濟學概論ハ、千端萬緒、分類ハ周到詳密デアアルガ、要スルニ生産ト分配ノ二事ニ外ナラナイ。生産ハ即チ、物産及ビ人工製品、分配ハ即チ産スル所ノ物ヲ支配シテ人ノ需要ニ供スルコトデアアル。不用意ニ之ヲ視ルト、其ノ理ガ如何ニモ高明深淵デナイ様デアアルガ、詳ラカニ之ヲ觀レバ、社會ノ一切ノ現象ニシテ其中ニ包括網羅サレテキナイモノハ無イノデアアル。

生産ニハ三要素ガアル。(一)土地(二)勞働(三)資本。土地ハ人類ガ定着シテ生存スル所ノモノデアアル。故ニ土地ナクテハ人類モ存シ得ナイ。經濟學デ所謂土地トハ、タダニ土地ヲ指シテ云フバカ

リデナク、凡ソ海洋、空氣ナド空間ノ面積ヲ占有スルモノハ悉ク之ヲ土地ト見做ス。併シ經濟學原理カラ云ヘバ、土地ノミアツテ勞働、資本ガ無ケレバ生産ハ行ハレナイ。故ニ經濟學者ハ千萬言ヲ費シテモ、ナホ其ノ説ヲ説明シキレナイノデアル。吾人ハ、土地ト勞働トノ區別限界ニ關スル學說ニ就イテハ、明瞭ニシ易イガ、タダ資本ト勞働トノ關係ニ就イテハ最モ區別シ難イ。此ノ點ガ即チ社會主義者ト經濟學者トノ相爭フ論爭點デアツテ、今日ニ至ルモ猶ホ未解決ノママ殘サレテキルノデアル。

經濟學者ハ云フ、資本ハ金錢ノ二字ヲ以テ其ノ意義ヲツクシ得ルモノデハナイ。勞働ニヨツテ造ラレタ生産物モ、消費サレタ殘餘ハ以テ生産ノ發達ヲ補助シ得ルカラ、資本タリ得ルノデアルト。併シ餘サレタル生産物モ、之ヲ生産業ノタメニ使用セネバ、產物ト異ル所ガナイカラ、資本デアルトハ稱シ得ナイ。例ヘバ、人ニ家屋ヲ賃貸シテ其ノ家賃ヲ收メ、人ニ車ヲ賃シテ車賃ヲ受ケル場合ニハ、其ノ家屋、其ノ車ハ皆資本デアアル。然シ家屋デモ自分ガ住居シ、車デモ自分ガ乗ツテキルノデハ、資本デアルト言ヒ得ナイ。自分ガ乗ツタリ自分ガ住ンダリシテキタノデハ利ヲ生ジ得ナイカラデアアル。

世界ノ文明ハ進歩シ、社會組織ハ日ヲ追フテ複雑ニ、事業ノ發展ハ日ト共ニ繁劇トナル。凡ソ

生産物及金錢ニシテ、之ヲ以テ生産ニ供スルモノハ皆資本ト稱スベキデアアル。蓋シ資本ハ既ニ生産サレタモノデアリ、勞働ハ資本ヲ生ムモノデアアル。吾人ハ既ニ資本ガ勞働ノ所産デアアル事ヲ知ツタ。故ニ勞働サヘアレバ充分デアアル。何ゾマタ資本ヲ需メンヤデアアル。更ニ、生産ニハ必ズ材料ヲ要スル。材料ヲ生産者ノ消費ニ供シテ其ノ生産ノ結果ヲ待望シナケレバ、如何ニ生産セントシテモ何物ヲモ産出シ得ナイデハナイカ。「ロビンソン」ノ孤島漂流モ、モシ木ヲ切ツテ小屋ヲ立テル斧ガナク、又餓ヲ凌グ糧ガナカツタナラバ、數日ナラズシテ離レ小島ノ餓鬼ト化シタデアラウ。ソレデモ尙ホ、能ク植エタ穀物ノ熟スルノヲ待チ荒地ノ開拓サレルノヲ待チ得タデアラウカ。故ニ斧ト糧トハ、其ノ生産ノ費用ヲ供シタモノデ、之ヲ資本ナリト稱スルモ勿論不可ハナイ。誠ニ資本ノ來源ヲ考察スレバ、大方ハ文明ノ遺産傳來ヲ採ツテ以テ吾人今日ノ生産ニ供シテ居ルノデアツテ、其ノ起源ヲ窮メ様トシテモ、容易ニ知リ難イ。以上ヲ綜合シテ觀レバ、資本ト勞働トノ關係ハ、ホボンノ限界範圍ヲ知ル事ガ出來ル。即チ土地、勞働、資本ノ三者ハ、同様ニ生産ノ要素トシテ一モ缺クベカラザルモノデアアル。

分配トハ、土地、勞働、資本ヲ以テセル生産物ヲ、土地、勞働、資本ノ分量ニ按ジテ一定ノ法則ニヨリ配分スル事デアアル。此ノ一定法則ノ原理ハ、人類有ツテ以來固有ノモノデ、經濟學者ガ

之ヲ明白ニシ之ニ斷案ヲ下シタモノデアツテ、各種ノ科學モ同様ニ此ノ經濟學ノ原則ニ據ツテ確立シタ。即英國ニ「アダム・スミス」ガ出テ始メテ經濟學ヲ極メテ理論體系アルモノトシタノデア。而シテ其ノ眼目ハ、自由競争ヲ前提スルモノデ、英人ノ功利主義者ハ此處ニ基ヅイテ個人主義ヲ提唱シ、遂ニ「ダーウキン」ノ進化論ト結合スルニ至ツタ。曾ツテ百年前、英國ノ社會ハ一變化ヲ經過シタ。産業革命ガ之デア。ソレ以前ノ工業ハミナ手工ニヨツテ製造サレタガ、科學ガ發達シ機械ガ出現スルニ至ツテ産業革命ガ行ハレタ。即チ機械ヲ以テ人力ニ代ヘタノデア。サキニ個人ガ競争ノ具ト特ンデキタモノハ、此處ニ至ツテ遂ニ其ノ效力ヲ失ヒ、ヨツテ労働者ハ遂ニ一大苦痛ヲ喫スルニ至ツタ。蓋シ、當時ノ英國ハ、航海業ガ發達シ、工業商業モ亦之ニ隨ツテ發達シ、物産ノ多キコトハ全世界ノ貨物ヲ悉ク供給スルニ足ル程デ、遂ニ富強ヲ致シ、全世界ヨリノ注文ヲ受クルニ忙シク、英國ノ手工製造品ハ其ノ需要ヲ滿タスニ足ラナイ様ニナツタ。爲ニ機械ガ之ニ代ツテ人力ノ煩ヲハブキ、斯テ生産物モ多量トナリ、從ツテ國家ハ益々富裕トナツタ。サリ乍ラ、人力ト人力トノ比較ニ於テハ、其ノ生産力ノ差ハ二倍乃至十倍ニ過ギナイガ、機械ト人力トノ比較ニ於テハ、其ノ生産力ノ差ハ、實ニ百倍ニ達スルモノガアル。機械ノ生産力ガ人力ノソレニ比較シテ大デアレバ、機械ヲ使用スル生産者ガ、人力

ヲ使用スル生産者ヨリ多數トナリ、從ツテ労働者ノ多數ハ其ノ業ヲ失ハネバナラナクナル。即チ機械生産ガ必要トスル人力ハ實ニ寥々トシテ云フニ足りナイガ、労働者ノ職ヲ求メントシテ其メク者ハ鱗ノナラベル如ク、櫛ノ齒ヲヒクガ如ク多クナツタノデア。ソシテ得ル所ノ賃銀ト造ル所ノ製品トガ正比例シ得ナイノミカ、續々押シカケル求職者ハ自ら其ノ賃銀ヲ低下セシメテ悔キナカツタ。失業者ハ固ヨリ淪落シテ自然淘汰サレ、就業者モ亦、賃銀ノ低額ヲ爲メ殆ンド社會ニ生存スルヲ得ナクナツタ。而モ資本家ハ機械ヲ利用シテ産額ヲ増加シ、更ニ低額ヲ以テ良工ヲ使用シ、坐ナガラニシテ充分ナ利益ヲ收メ、労働者ガ飢エ凍ヘ死亡スル苦痛ヤ慘狀ニ對シテハ、些シテ注意モセズニ、正ニ斯クノ如キモノガ自然淘汰ノ一般法則デアルト論ジタ。「アダム・スミス」經濟學ニ就イテ考ヘルニ、生産ノ分配ハ、地主ガ一部分ヲ占メ、資本家ガ一部分ヲ占メ、労働者ガ一部分ヲ占メルモノデ、誠ニ經濟學ノ原理ニ深く合致スルモノダト云フガ、豈計ランヤ、此ノ生産額全部ハ皆労働者ノ血ト汗トカラ成ツテ居ルノデア。然ルニ地主ト資本家トハ坐ナガラニシテ其ノ全額ノ三分ノ二ノ利ヲ收メ、労働者ハ其ノ受ケル所ノ三分ノ一ノ利ヲマタ多數ノ労働者ニ割當テル爲ニ、一労働者ノ所得ト資本家ノ所得ヲ比較スレバ、其ノ相去ル事ハ實ニ甚ダ遠イモノガアル。カクテ富者ハ愈々富ミ、貧者ハ愈々貧シク、兩階級ノ間隔ハ行ケバ行ケ程益々遠クナリ、

爲ニ平民ノ生計ハ遂ニハ資本家ノタメニ奪ヒ去ラレルニ至ルデアラウ。慈善家ハ之ヲ目撃シテ心傷ミ、思フ之ガ救済ニコラシタ。茲ニ於テ社會主義ハ大光明ヲ世界ニ放ツニ至ツタノデアアル。英國社會主義者「オーエン」ハ労働者ノ困窮ヲ深ク心痛シ遂ニ自己ノ資本ヲ投ジテ頗ル大キナ工場ヲ創設シ、労働者ヲ優待シテ社會主義實行ノ試験場タラシメントシタ。其ノ後編制ニ缺陷ガアツテ失敗スルニ至リ、去ツテ米國ニ赴キ飽ク迄其志ヲ遂ゲ様トシタガ、マタモ失敗ニ遭ヒ、其ノ主義ノ實行ヲ果サナカッタ。同時代ニ「フーリエ」ト「ブラン」トイフ佛國ノ社會主義者ガアリ、之レ亦社會主義ノ工場ヲ開設シタガ、現社會ノ習慣ノ影響ヲ受ケ、共ニ其ノ苦心獨創ノ希望ヲ達スルヲ得ナカッタ。之ニ對シ反對派ハ其ノ成敗ノ跡ヲ見テ社會主義ノ缺點短所ヲ論ジ、一般學者ハ元ヨリ定見ナク、亦相率キテ社會主義ヲ漫罵シタ。

此時ニ當リ、英國ノ科學者「マルサス」ハ人類物産統計表ナル一書ヲ著シタ。其ノ核心トモ云フベキハ、物産ノ産額ニハ一定ノ制限ガアリ、人類ノ蕃殖ハ級數的ニ増加シ二十五年ニシテ倍加スルト言フ説デアアル。コレヲ將來ニ推スト、必ズ人口多クシテ土他稀少ノ患ヲ生ズル。生物多ク食物寡クレバ、天ハ疫病ヤ、國際戰爭ヲ下スガ、コレ等ハミナ人口過剰ヲ減少シ、多産ノ害ヲ防止スル所以デ、世界進化ノ原理ニ合シテ居ル。國家ノ殖民政策モ人口ノ過剰ニヨツテ發生スルモ

ノデ之ガ爲ニ弱肉強食、優勝劣敗ノ歴史ヲ展開シ、兵乃ニ死スル者モ甚ダ多數ニ達スルノデアアル。強力ナル民族ノ蹂躪ヲ蒙リ、衰亡シテ種族ノ絶滅ニ歸スルモノ等皆此理ニヨルト言ツテキル。

然シ社會主義者ハ起ツテ之ニ反對シ、人道ヲ主張シ、公理ヲ支持シタ。當時ノ一般政治經濟學者ハ、之ヲ目シテ顛狂ナリト爲サザルハ無カッタガ、タダ下層社會ノ労働者ヤ貧民ハ、社會主義ニ因ツテ自己ノ疾苦ヲ救済シ得ルトナシ、遂ニ之ヲ崇信シ、社會黨ニ關スル限り、壓制モ結局ハ反抗ニ敵シ得ズ、僞説ハ終ニ真理ニ勝チ得ナカッタ。ソシテ曩キノ經濟學、統計學、自然淘汰説等モ次第々々ニ其ノ不合理ノ破綻ヲ現シ、社會主義ノ學說ハ遂ニ經濟學、統計學、自然淘汰説等種々ノ科學ヲ排シテ、巍然トシテ獨リ高ク其ノ旗幟ヲ掲ゲ、社會ノ歡迎ヲ受ケツツアルノデア

ル。社會主義ハ、社會ノ疾苦ヲ救済スル學說タリトハ云ヘ、之レガ實行ヲ見ント希望スルナラバ、必ズ經濟學ノ分配問題ニ基イテ研究セネバナラス。米人「ヘンリー・ジョージ」ハ商船ノ一船員デアツタガ、舊金礦ニ赴イテ金礦ヲ採掘シテ富ヲ築キ、一新聞ヲ創刊シテ、其ノ平生抱懷シテキル主義ヲ鼓吹シ、曾ツテ「進歩ト貧困」ト題スル一書ヲ公ニシタ。其ノ大意ハ、世界ガ文明ニナルニツレテ人類ガ愈貧困トナツタノハ、經濟學ノ均分ノ不當ニヨルモノデアルトシ、土地ノ公有

ヲ主張シタモノデアアル。此ノ説ハ一時ヲ風靡シ、竟ニ各國學者ノ贊同スル所トナツタ。殊ニ、其ノ闡明セル地稅法（土地單稅論）ノ理由ハ、最モ精確デアツテ、遂ニ單稅社會主義ナル一説ヲサヘ發生セシメタ。

元來、土地公有ハ、實ニ精確不滅不磨ノ理論デ、人類發生以前ヨリ土地ハ既ニ存在シテ居リ、人類消滅以後モ土地ハ必ズヤ長ク殘存シテ居ルデアラウ。之ニヨツテモ、土地ハ實ニ社會ノ所有物タルヲ知り得ルデアラウ。ソレハ人間ニ於テ私シ得ルモノデハナイ。或ハ、地主ノ土地ヲ所有スルノハ元來資本ヲ以テ購ツタモノデアルト云フ。然ラバ、試ニ、第一ニ土地ヲ占有シタ人ニキクガヨイ。何處カラ購ヒ來ツタモノデアルカト。故ニ、「ヘンリー・ジョージ」ノ學說ハ、深ク社會主義ノ主張ニ合致スルモノデ、生産分配ノ平等ヲ求メントセバ、必ズ先ヅ土地ヲ回收シテ公有トシ、然ル後、始メテ社會永遠ノ幸福ヲ謀リ得ルノデアアル。

土地公有説ガ、英國ニ侵漸スル時コソ、正ニ英人恐慌ノ日デアアル。英國ノ土地ハ、本來貴族大資本家ノ占有スル所デアアル。商工業ガ發達シタ爲メ、農ヲ業トスル者ガ少ク、産スル所ノ穀物食料ハ人民ノ食料ヲ供給シ得ナイデ、外國ノ食料品ヲ輸入スルガ、ソノ價格ハ却ツテ本國ニ比較シテ廉價デ、英國ノ土地ノ生産力ハ其ノ效用ヲ失ヒ、地主ハ耕作ヲ事トセズ牧畜ヲ營ミ、ソノ小作

人ハ土地ヲ離レテ流浪シ、逐ハレテ遂ニ米國ニ生活ノ道ヲ謀ルニ至ツタ。一般ノ學者ハ、地主ノ金儲ノ手段ノ不道德ナルヲ深痛シ、土地公稅ノ説ニ對シテハ、之ヲ祝福シテ救世ノ福音トナシ、歡迎贊同シタ。之ガ爲ニ單稅派ナル一派ガ出來、土地ノ分配ハ公ニ歸シ、國家ハ地價ノ十分ノ一ヲ課稅シ、他ノ苛稅ハ皆輕減スベシト主張シ、資本家モ事此處ニ至ツテハ敢テ反對ヲ唱ヘ得ザルニ至ツタ。

「ジョージ」氏ト「マルクス」氏ノ二家ノ説ハ、表面上ハ、多少相違スル點ガ有ル様デアルガ、實際ハ相互ニ並存スベキモノデアアル。世界ノ土地ハ本來限リアルモノデ、所有者ガ其ノ租稅ヲ壟斷シ、生産ノ三分ノ一ノ利ヲ取り、坐シテ其ノ成果ヲ收メ、労働者ト同様ニ同等ノ利益ヲ享ケルコトハ、コレニ過グル不平等ハナイ。労働者ガ心力ヲ勞シテ自ラ其ノ報酬ヲ得ルノハヨイガ、土地ハ元來天然物デ人力ノ造ツタモノデハナイカラ、其ノ分配ハ、「アダム・スミス」ノ説ノ如クアルベキデハナイ。サレバ、土地ガ社會主義經濟學ノ原理ニヨツテ、マサニ個人ノ所有タラシメズ、當然公有タラシムベキモノデアルトコトハ、蓋シ疑ヲ容レザル所デアアル。「ヘンリー」氏ノ説ハ以上ノ様デアルガ、「マルクス」氏ノ説ハ、專ラ資本ヲ論ジ、資本モ亦人造物デアリ、當然公有ニ屬スベキデアルト謂フ。主張ハ各同一デハナイガ、ソノ社會大多數人ノタメニ幸福ヲ謀ル點ハ一デア

ル。「マルクス」ノ資本論ハ、資本ノ公有ヲ主張シ、將來ノ資本ハ機械デアルトシ遂ニ機械公有ノ説ヲ唱ヘタ。鐵道ヲ發明シタノハ「スチブソン」デアリ機關ヲ發明シタノハ「ワット」デアル。經濟學者ハ謂ヘラク、鐵道ト機關トハ二氏ノ發明セルモノデアルカラ、鐵道ト機關ト二者ノ利益ハ、マサニ二氏ノ專有ニ歸スベキデアルト。然シ機械ハ個人ガ發明シタトシテモ、發明シ得タ其ノ知識ノ盡クガンノ人ノ天才ニ出タモノデアラウカ。社會カラ種々ナ教養ヲ受ケテ始メテ機械ヲ發明スル知力ト發明スル機會ヲ得タノデハナカラウカ。「スチブソン」、「ワット」ヲシテ荒島僻地ニ生レシメタナラバ、其ノ智識ハ、何ニヨツテ啓發セラルルデアラウカ。天性極メテ聰明デアツテモ、耕シテ食ヒ、織ツテ着ルソレ丈ニソノ一生ノ勞働ヲ費シテシマヒ、ドウシテ其レ以外ニ機械ノ發明ニ從事スル暇ガアラウカ。之ニヨツテ、鐵道機關ハ二氏ガ發明シタトハ云フモノノ、實ハ二氏ガ社會ニ代ツテ發明シタノデアル。社會ニヨル教養ハ、元社會ノタメニ幸福ヲ謀ル代價デアリ、二氏ハコノ社會ノ力ヲカリテ機械ヲ發明シタノデアルカラ、機械ニヨル利益ハ私有スルヲ得ナイ、マサニ之ヲ社會ニ公ニスベキデアル、ソシテ社會ハ機械ヲ發明シタ人ニ對シテハ、彼等ガ心ヲ勞シ力ヲ勞シタノデアルカラ、社會經濟ノ分配ノ原理ニ按ジテ、相當ノ報酬ヲ與ヘナケ

レバナラナイ、ト言フコトガ解ル。即チ、無線電信ヲ發明シタ「マルコニイ」モ、精神ヲ勞シテ其ノ報酬ヲ得ルニ過ギナイノデアツテ、無線電信ト言フ利益ノアル資本ハ、マサニ之ヲ公有ニ歸スベキデアル。以上ガ「マルクス」學說ノ由來スル所デアル。

二氏ノ學說ヲ綜合スルト、一ハ土地公有、他ハ資本公有デアル。タダ勞働ニヨツテ得ル生産物ノ分配ノ利益ハ、個々人ノ生活上必要デアリ、土地資本ノ得ル各一分ノ利益ハ公共ノ費用ヲ辨ズルニ必要デアルカラ、人民ハミナソノ一部分宛ノ利益ヲ享クルコトトシ、資本家ガ壟斷獨占シテ平民ノ利益ヲ奪フコトヲ得ザラシメ様トスルノデアツテ、コレガ社會主義經濟ノ分配方法ノ原理デアル。

現在、經濟學者ト云ヘバ、常ニ二派ニ分レテ居リ、一ハ舊經濟學派、「アダム・スミス」派ノ如キハコレデ、他ハ新經濟學派、「マルクス」派ノ如キガコレデアル。各國ノ學校教育ハ概ネ新經濟學ヲ用キテ居リ、一般學者ハ舊經濟學ノ影響ヲ受ケル事深ク、社會主義ニ反對シ、「アダム・スミス」ノ分配ヲ主張シテ、資本家ノ壟斷ヲ自由ニシ勞働者ヲ抑壓スル。彼等ハ舊經濟學說ヲ過重ニ評價、誤信シテ、新經濟學ノ真理ニ對シテハ、未ダ研究シテ居ナイノデアル。一方社會主義者ハ、「ヘンリー」、「マルクス」二氏ノ學說ヲ主張シ、多數勞働者ノタメ、ソノ生活ノ幸福ヲ謀ラヌ

者トテハナイ。

諸君ハ既ニホボ經濟學ノ大綱ト、産業革命ノ理由ヲ知ラレタ。更ニ進ンデ詳細ニ考究スレバ舊經濟學ニヨル、生産物ノ三種ノ分配ハ、平等公正ヲ得ナイモノデアルコトヲ知ルダラウ。機械ノ發明以前ニハ、工作ハミナ人力デアツタカラ、生産力モ隨ツテ貧弱デ、所謂資本ハ労働者ノ生活資料ニ過ギズ、經濟學三種ノ分配ノ平等公正ナラザル點モマダ容易ニ見出シ難カツタ。然ルニ産業革命以後工作ニ必要トスル労働力ハ次第ニ減少シ、生産力ハ以前ニ比較シテ次第ニ増加シ、竟ニ資本家ハ機械ヲ資本トシテ利益ノ根源ヲ壟斷シテシマヒ、労働者ノ労働ガ生産スル生産物ハ、ミナ坐ナガラニシテ資本家ニ收メラルルニ至ツタ。コノ不平等ナ現象ハ遂ニ一般學者ノ眼ニ映ジ、經濟學分配ノ法ハ、未ダ總テガ經濟學ノ學理ニ合致シタモノデハナイト唱導サレル様ニナツタ。我國古代ノ學說ニ、「之ヲ生ム者衆ク之ヲ食スル者寡ケレバ、則チ財恒ニ足ル」ト。又曰ク、「工ノ家一、器ヲ用フル家六、農ノ家一、粟ヲ食スル家六」ナレバ社會經濟ニハ必ズ恐慌ノ現象ガ起ルト。誠ニ労働ノ生産スル物産ニハ限度ガアル。労働スル者ガ少ク、消費スル者ガ多ケレバ、生産物ハ供給不足ノ勢ヲ現出シ、財貨ハ之ガタメニ缺乏シ、經濟ハ之ニヨツテ恐慌ヲ來タスモノデアル。多數ノ歐米ノ舊經濟學者モ、此ノ說ヲ主張シテ居ルガ、ソレハ産業革命以前ニ於イテサウ

デアツタニ過ギナイ。社會ハ、既ニ産業革命ヲ經、機械ガ相ツイテ煩雜ナル人力ニ代リ、生産力ノ大ナルコト、人力ニ比較シテ正ニ萬倍ニモ及ブモノガアル。而モ生産品ノ販路ハ擴大セズ、却ツテ停頓堆積ノ虞サヘアル。今日社會經濟ヲ論ズルナラバ、之ヲ生ム者ノ衆カラザルヲ患ヘズ、之ヲ食スル者ノ衆カラザルヲ患フト言フベキデ、サキニハ生産者ハ多數、消費者ハ少數ナラン事ヲ主張シタガ、今日ノ主張ハ、生産者ハ少數、消費者ハ多數ナランコトヲ願フ譯デ全然反對デアル。斯様ナ事ハ皆舊學說ガ現社會ニ適用セザルコトノ例證デアル。

我國ハ未ダ嘗ツテ産業革命ヲ經驗シナイ。サキニハ閉關主義（鎖國主義）ヲ主張シ、其ノ後外人ノ威迫ニヨツテ止ムヲ得ズ貿易ノ禁ヲ解イタガ、戰々競々トシテ貨物ガ外ニ流出シテ物價ガ昂騰スルダラウコトヲ恐レ、之ガ防止ノ策ヲ練リ、遂ニ輸入税ヲ輕ク、輸出税ヲ重クスル一策ヲ案出シタ。何ゾ知ラン、外人ノ意ハ、自國ノ貨物ヲ廣ク賣捌カントスルニ在ツテ購買ニハナク、我國ノトツタ種々ナ防止手段ハ却ツテ外人ニ利用サレ、外國貨物ハ充滿シ、國產品ハ停滯シテシマヒ、經濟上ヨリシテ莫大ナ影響ヲ受ケタガ、之レ實ニ我國民ノ經濟學ノ原理ニ對スル無知ノ致ス所デアツタ。

吾人ハ社會ノ貧困ハ生産ノ發達ヲ求ムル事ヲ知ツタ。然ルニ生産ハ充分デアリナガラ社會ハ却

ツテ貧困ニ陥ツテ行クノハ何故カ。ソノ原因ハ實ニ分配ガ不適當ナルニ由ルノデアアル。労働者ノ所得ハソノ一小部分ニ過ギヌガ、地主資本家ハ之ニ反シテ大部分ヲ占メ、マタ更ニ其ノ餘剰ノ利益ヲ以テ資本トナシテ事業ヲ發展セシメ、其ノ結果貨物ハ充滿シ、之ガ競争シテ賣込ミ、以テ利ヲ爭奪スルカラ、社會經濟ノ受ケル影響ハ莫大デアアル。故ニ根本的ニ解決スルニハ、分配問題ヨリ着手シナケレバ不可デアアル。

全然労働力ノミヲ使用スル時代ニ在ツテハ、其ノ生産ノ成果ヲ、舊經濟學說ニ從ツテ分配シ、土地、労働、資本ガ各々一部分宛ヲ得テモ、ナホ其ノ弊害ヲ感ジナイ。ダガ、機械發明ノ後モナホ、此ノ例ニ倣フナラバ、ソレハ最モ不適當ナ方法デアアル。労働者ハ多イガ、工場ノ雇傭スル職工ハ少ク、生産物ハ多イガ労働者ノ得ル報酬ハ少ク、労働ハ安ク土地ト資本ハ高イカラ、貧富兩階級ハ日ニツレテ愈々相距ル事ガ遠クナルノデアアル。社會主義學者ハ遂ニ平等ニ分配スル良法ヲ研究シテ其ノ害ヲ救ハントシ、現世界ノ人類ガ貧富苦樂ノ同一デナイノハ、社會上ノ關係カラデアアルコトニ想到シタ。社會主義ノ主張ハ、實ニ世界ノ人類ヲシテ同ジヤウニ平等ノ地位ニ立タシメ、富メバ同ジク富ミ、樂シメバ同ジク樂シミ、貧富苦樂ヲ異ニスルコトニヨツテ社會ヲ競争悲苦ノ立場ニ陥ラシメテハナラナイ、トイフニアル。

産業革命ノ後、社會主義ガ發生シテカラ、一般學者ハ始メテ舊經濟學ノ分配ノ不當ヲ悟リ、次ノ如ク主張シタ、労働ハヨロシク生産ノ餘剰ノ大部分ヲ得ベキデ、地主ト資本家ハ、土地ト資本トガ生産ニ於イテ有スル地位ニ應ジタダケノ利ヲ得レバヨク、労働ニ分配スル報酬ノ多寡ハ精神ヲ勞シ體力ヲ勞シタソノ多寡ヲ觀察シ、労働ガ大デアレバ報酬モ多ク、労働ガ小デアレバ報酬モ少クシ、餘剰ノ利益ハ之ヲ社會ニ提供シ、以テ社會各般ノ事業ヲ興スコトニスレバヨイ。凡人ハ社會ノ一分子タルカラニハ、ソノ餘剰ノ幾分カラ享ケヌ者ハナイ譯デアアル。コレガ分配ノ最モ平等公正ナ方法デアアル。コレハ社會主義ノ最モ力説主張スル所デアアル。

最近ノ歐米デハ、舊經濟學ニヨツテ分配シ、地主資本家ハ既ニ優勝ノ地位ヲ占メ、労働者ハ遂ニ劣敗ノ地位ニオカレテ居ル。法律上ニモ、資本家ト地主ノ利益獨占ガ保護サレテ居ルカラ、地主ハ益々ソノ土地所有權ヲ壟斷シ、資本家ハ益々其ノ利權ヲ壟斷シ、多數ノ労働者ハソノ労働能力ヲ發揮シ難イバカリカ、社會ニ生存スルコトサヘ困難デ、相互ノ階級ハ非常ニ懸絶シテ居ル。ダカラ不平ナ人々ガ均產主義ヲ主張スルノハ、固ヨリ怪シムニ足リナイノデアアル。

英京倫敦ハ最モ富裕ナ場所デ、人口約六七百萬ノ多キニ上ルガ、毎年冬季ハ工場ガ休止スルノデ、失業ノ饑民ハ嘗ツテ百萬トイフ數ニ達シタ程デアアル。富裕ノ地區ニシテ人民ガナホ饑寒カラ

免レナイノハ、生産ガ需要ニ應ジ切レヌカラデハナイ。實ニ分配ガ平等公正デナイ故デアアル。英國ノ人口ヲ調べテ見ルト四千五百萬カラアルガ、男女老少ヲ全部平均シテ計算スルト、毎年一人ノ收入ハ、ザツト三千餘元位デ五人家族トスレバ丁度一萬五千元ヲ得ル事ニナル。但シ、實際ハ大イニ之ト相違シテキルノデアアル。即チ英國ノ普通ノ賃銀デ計算スルト、一人一年五六百元ニ過ギナイ。労働者五人家族ノ家デハ、全然コレ丈ニ頼ツテ生活ヲ營ンデ居ルノデアアル。中國ノ如ク經濟程度ノ高クナイ時代ニ在ツテ充分生活シ得ルノニ、經濟程度ガ既ニ高イ英國ニ於イテハ實ニ生活シ得ナイ状態ノデアアル。又、英國國民全體ノ收入ヲ通算スレバ平均一人一年三千餘元トナルガ、婦人、老少等労働シ得ヌ者ヲ除クト、生産ニ從フ労働者ハ實ニ四分ノ一ニ過ギナイ。ソシテ各人一年間ノ生産額ハ三千餘元ニ四倍スル一萬餘元デアリ、シカモ得ル所ノ報酬タル賃銀ハ、五六百元ニ過ギナイノデアアル。コレデハ労働者ノ所得ハ百分ノ十二モ及ハズ、地代ヤ利息ハ百分ノ九十餘トナル譯デアアル。カカル分配ノ不當ハ、舊經濟學ノ分配ノ三要素ヲ以テスルモ符節ニ合シナイ。ソシテ之ガ爲ニ利益ヲ生ミ出ス労働者ハ常ニ俄エト寒サノ苦ヲ受ケ、利益ヲワケドル地主、及ビ資本家ハ反對ニ優游トシテ苦モナク社會ノ無上ノ幸福ヲ享樂シテキル。實ニ不平等ノ甚シイモノデハナイカ。

社會主義者ハ此ノ不公平ヲ目撃シ、激烈派ハ遂ニ均産ノ說ヲ唱導スルニ至ツタ。然シ最初ノ思想ハ甚ダ簡單デアツテ、勿論未ダ嘗ツテ事實上ノ計劃トシテ現レタ事ハナイ。其ノ後學說ガ研究サレ、方法モ穩健トナリ、ミナ根本ノ解決ハ、經濟問題ニアルコトヲ知り、「ヘンリー」氏ノ土地公有、「マルクス」氏ノ資本公有ガ出タガ、此等ノ學說ハヨク社會主義ノ真髓ヲ得テ居ル。今日、中國ノ地主資本家ハ眼光ガナホ狭ク、保守ヲ知ツテ進出ヲ知ラナイ。又山野荒地等、未ダ主ナキモノガ多ク、一般平民モ往々ニシテ自由ニ使用スル權利ヲ有シテキル。從ツテ薪ヲトリ遊牧シテモ之ヲ禁止シタ例ハナイ。歐洲ニ於イテハ、山野荒地モ皆資本家ガ領有シ、他人ガ其間ニ薪ヲトリ遊牧スル事ハ許サレナイ。社會黨ハ資本家地主ガ專横デ全國ノ經濟ヲ支配スル勢力ヲ有スルガ故ニ、極端ニ之ニ反抗スル。併シ資本家地主ハ屹然ト頑張ツテ少シモ動搖セズ、國家法律ノ保護ヲ受ケテ居ルノデ、現ニ社會黨員ノ反抗モ實ニ小サナ火ノ一フキスレバ消エテシマフノト異ル所ガナイ。茲ニ於テ激烈派ハ遂ニ消極的主張ヲ以テ、工場及鐵道ヲ破壊シ去リ、其ノ營業ニ必要ナ資本ヲ破壊シテ利益ヲ生ゼザラシメ様トシタ。併シ早速法律ノ干涉ヲ受ケ、結局根本的解決ヲ爲スコトハ出來ナカツタ。

資本家ト社會黨ハ交渉ガアレバアル程、關係ハ惡化シタ。ソシテ之ニヨツテ其ノ害ヲ蒙ルモノ

ハ一般労働者デアル。一般労働者ハ社會主義ニ賛同セヌ者トテハナク、社會黨員ト心ヲ同ジクシ法ヲ設定シテ資本案ノ專制ヲ抑制セントシテ居ル。吾人ハ傍觀者ノ地位ニ在ツテ、世界一切ノ生産物ニシテ労働者ノ血ト汗トカラナツテ居ナイモノハ無イ事ヲ知ツテ居ル。故ニ労働者ハ、タダニ資本ヲ發達セシメタ功臣デアルバカリカ、マタ人類世界ノ功臣デサヘアル。世界人類ノ功臣ヲ以テシテ、シカモ強力者ノ蹂躪虐待ヲ受ケツツアル。吾人ハ此ノ事ガ既ニ不平等デアルト考ヘル。況ンヤ資本案ノタメニ功勞ガアリ乍ラ、却ツテ資本案カラ殺戮ヲ受ケツツアルノデアル。労働者ガ資本案ノ苛酷ナ待遇ヲ受ケテ、反抗ヲ思フノハ、ソレヲ彼等ノ罪トスル事ハ出來ナイ。當時労働者ハ組合ヲ組織シ、賃銀ノ増額ヲ要求シ、遂ニ同盟罷業ノ騒動ヲ惹起シタノデアル。

斯ル場合罷業ハ労働者ニトツテ止ムヲ得ナイ事デアリ、世界ニ於イテ最モ悲惨且ツ苦痛ナ事デアル。労働者ノ罷業ハ、賃銀ノ増額ヲ謀ラントスルモノデアルガ、而モ現在ノ賃銀ヲ犠牲トセザルヲ得ナイ。彼等ニ多クノ蓄ヘガ有ル譯ハナイ。其ノ衣食ハ全ク日々ノ賃銀ニ依ツテ支ヘラレテ居ルノデアル。ダカラ一旦罷業スレバ、甚シキニ至ツテハ日ニ一度ノ食事サヘシ得ナイノデアツテ、其ノ苦痛慘狀ハ思フニ耐ヘナイモノデアル。資本案ハ、仕事ガ無ケレバ生活スル事ハ出來ヌカラ、罷業ハ決シテ永續シマイト泰然トシテ行動シ少シモ動かサレナイ。労働者ハ俄ト寒サニ交

々迫ラレテ、恨ヲノミ聲ヲノンデ、再ビ資本案ノ門内ニ入ル。資本案ハ一時罷業ニヨツテ多少ノ損失ハ蒙ルガ、生活费ニ供スル財産ヲ有シ、決シテ労働者程困苦スルニハ至ラナイシ、損失ヲ補填スル日モアルノデアル。

社會主義學者ハ、罷業ニヨル強請要求ガ決シテ根本的解決ニ非ラズ、當ニ經濟學上分配ノ平均ヲ求ムベキデアル事、及ビ先ヅ須ラク資本案問題ヲ解決セネバナラヌ事ヲ知ツテ居ル。資本ノ消長ヲ顧レバ、種々ノ原因ガアル。米國ノ鐵道會社ノ如キハ、民衆ニ農産物ヲ輸送スルノニ運賃ガ極メテ低廉デアリ、別ニ農運會社ヲ設ケテ、ソノ土地カラ廉價ニ買上ゲテキル。人々ハソノ爲メ運賃ヲ免レ得ルノデ皆之レニ廉賣スル事ヲ望ンデキル。農運會社ハ元來鐵道會社ニ附屬シテ發生シタノデアルガ、運送賃ガ他ニ比シテ低廉デアリ、ソノ上資本モ少ク、更ニ他ニ廉價デ賣捌クコトモスルノデ商人ノ業務ヲ奪ツテシマツタ。之ガ爲ニ商人モ農夫モ皆失敗シ、小商人ハ早クモ淘汰サレタ。ソコデ會社ハ遂ニ其ノ價格ヲ高クシタ。小商人ハ價格ガ高クナレバ、利益ガ見込マレル所カラ、マタモ舊業ヲ興シタ。會社ハ小商人ガ再ビ起ツタノヲ見テ、再ビ價格ヲ引下ゲタ。小商人ハ資本ガ微小デ維持スルコトガ出來ズ、マタモ消滅シ、會社ハ遂ニ其ノ利益ヲ獨占シタ。コレハ獨リ農産物運輸會社ノミデハナイ。石油、鋼鐵等モミナ人ノ惡事ヲ真似ザルハナク、故意ニ操縦

シ、カヲホシイママニシテ併呑シ、小商人ハカノ敵シ難イノヲ知ツテ、タダ手ヲ拱ヌイテ退讓スルノ外ナク、ソノ生産、厚利ハミナ大資本ニ獨占サレテシマツタ。即チ「トラスト」ガ一度出現シテ以來、ソレハ殆ンド全世界ノ經濟ヲ左右スル勢力ヲ有スルニ至リ、石油、鋼鐵王等ガ出現シ、多數民衆ノ資財ヲ兼併シテ一個人ノ富ヲツクルニ至ツタ。

産業革命以前ハ、人々ガミナ「アダム・スミス」ノ標準タルヲ知ツテ、一致シテ自由競争ヲ主張シタガ、機械ガ出現スルニ及ンデモ、依然舊イ法則ニ遵ツテ説キ行ツタノデ、其ノ結果ハ急激ニ社會上貧富激戦ノ害ヲ醸成シタ。勞働者ハ、産業革命以前ニハ、勤勞儉約質朴デ、漸ヲ逐フテ財産ヲツクリ得タ。然シ機械ガ發明サレテカラハ、利益ノ源泉ハ盡ク資本家ニ壟斷サレ、勞働者ハ一生勞働シテモ、ソノ生ンダ利益ハ盡ク資本家ニ享樂所有サレテシマヒ、己レ一人ノ得ル賃銀デハ衣食ニモ事缺ク有様デ貯蓄ナドハ到底望メナクナツタ。歐米近來ノ經濟ノ現狀ヲ目撃シテハ、萬ニ一ツモ勞働者ノ致富シ得ル理ヲ見出サナイ。中國ハ今日ニ於イテハ、機械モ工場モナホ十分ニ發達セズ、利源モ亦充分ニ開拓サレテ居ラナイ。故ニ現在デハ貧民ニモナホ致富ノ機會ガアルガ、更ニ進歩スレバ、亦將ニ歐米ト同一ノ状態ヲ呈スルデアラウ。

社會主義學者ハ嘗ツテ、物極マレバ必ズ反ス、ト云ツテ居ルガ、專制モ若シ極點ニ達スルナラ

バ、ソノ顛覆スルコトノ容易ナル事掌ヲカヘスガ如シデアアル。將來ノ社會革命ハ先ヅ最初ニ米國ニ起ルデアラウ。米國ハ大資本家ガ經濟界ノ特權ヲ擅ニシ、農工ヲ牛馬トシ、勞働者行商人ヲ奴隸トシ、專制既ニ甚シキモノガアルカラ、反抗スレバ必ズ力ヲ極メ、其ノ伏流潛勢ハ一度發スレバ抑壓スベカラザルモノガ有ルデアラウ。蓋シ資本家ノ專制ト政府ノ專制トハ同一デアアル。政府顛覆ノ日コソ、亦資本家ノ顛覆スル日デアアル。

各國ノ社會主義者ハ、將來ノ社會革命ノ禍ニ鑑ミテ、懸命ニナツテ「マルクス」ノ學說ヲ提唱シ、分配ノ平等ヲ主張シ、根本ノ平和的解決ヲ求メ、以テ過激派ガ均產主義ヲ實行スルコトニヨル攘亂カラ免レ様トシテキル。故ニ土地回收、資本公有ノ二說ハ、國是ヲ思フ者ニハ贊成許諾サレ、勞働ハ當然相當ノ報酬ヲ得ベシトノ説モ、マタ全世界ノ學者ニ贊同サレテ居ル。

我國ニ社會主義ヲ提唱スルト、人ハ皆、病モナイノニ呻吟スルモノダトシテ斥ケル。之レハ未ダ社會主義ノ使用方法ヲ知ラヌ者デアアル。今日ノ中國ニ在ツテハ社會主義ヲ口ニシテ、其レデ大資本家ノ發生ヲ豫防スレバヨイノデアアル。之レハ無病ノ呻吟デハナイ。正ニ病ノ防衛デアアル。必ズシモスベテ歐米ノ激烈ナル對峙ニ則ラズトモ、學理ニ基キ平和ノ裡ニ防止スレバ結構デアアル。歐米ニ於イテハ、既ニ資本家ノ勢力ガ築カレテ居ルカラ、土地資本ガ回收サレテ國有トナル時ハ、

社會黨ノ資本家ニ對立スルコト、アタカモ革命ガ滿清皇室ニ對立シテ、激烈恐喝、之ニ退位ヲ迫ルト同様ナコトニナルデアラウ。我國ノ資本家ニ至ツテハ、資財數千萬ヲ有スルガ如キ者ハ國內ニ殆ンドナイ。多少資本ヲ有シテ居ル者モ、大半ハ金ヲ窖ニシテ守ツテ居ル丈デアアル。變亂ノ際、外國銀行ニ貯金スル者、保險料ヲ支拂フ者ノ甚ダ多イコトニヨツテモ、我國ノ資本家ハ元來資本ヲ利用シテ生産ヲ營ム事ヲヨクシナイノガ判明スルダラウ。經濟ノ極メテ高度ナ發達ヲ示シテキル國ニ較ブレバ、我國資本家中ノ最モ財產家デモ、中流ノ財產ニ過ギナイデアツテ、必ズ退讓セネバナラヌ程ノ事デハナイ。

資本トハ元來、金錢ヲノミ專ラ指スノデハナク、機械、土地モ皆資本ナラザルハナイ。今日ノ財界ノ状態ニ就イテ觀ルニ、其ノ資本金ノ最大ナルハ鐵道デアアル。米國鐵道ノ資本金ハ約一百八十億、毎年全國ノ收入ハ約十五億、十二年間ノ收入デ元本ヲ回收シ得ル。則チ十二年後ノ收入ハ盡ク丸儲ケデアアル。其ノ利益ノ莫大ナ事之レニ過グルモノハ少イ。余ハ鐵道政策ニ對シテハ多年研究シテキル。今、カリニ資本金六十億ヲ募集シテ鐵道二十萬里ヲ建設スレバ、其ノ資本ハ米國ニ比較シテ僅々三分ノ一デ、四五十年間ハ維持シ得、毎年六億ノ利益ヲ得ル事ガ出來ル。米國ノ鐵道ハ會社ノ所有、即チ少數資本家ノ所有デアアルガ故ニ、其ノ利益ハミナ私人ニ獨占サレテ居ル。

我國ノ鐵道ハ提唱シテ之ヲ公有ニ歸セシメレバ、鐵道ヲ公有スル事ニヨリ毎年進カニ六億ノ收入ヲ増加スルシ、更ニ之ヲ以テ生産事業ヲ經營スレバ、其ノ利益ハ云フマデモナク公有ニ歸スル。カクスレバ大會社、大資本ハ盡ク公有ノ社會事業トナリ、少數資本家ノ獨占專制ヲ免レ得ル。國家社會主義ニ從ヘバ、公有ハ即チ國有デアアル。國ガ民國デアアルカラ、國有ハ民有ト異ル所ガナイノデアアル。國家ハ、生ジタ利益ヲ舉ゲテ人民ノ事ニ使用シ、我國民ハ共ニ其ノ利ヲ受ケルノデアアル。碎イテ云ヘバ國家行政ノ經費、地方費ハ吾人民衆ガ負擔シテ居ルノデアアルガ、公共ノ利ガ興リ、府庫ガ充實スルコトハ、吾人民衆ニトツテハ、間接ニ租税ノ負擔ヲ輕減スルコトニナルノデアアル。

鐵道及ビ各種ノ生産事業ハ其利益ガ右ノ如ク大デアアルカラ、勞働者ノ賃銀ニツイテハ、社會生活ノ程度ニ適應シテ、漸次之ヲ増加シ得ル。ツトメテ生計ヲユルヤカニ裕カニシ、利ヲ平等ニ受ケルナラバ、勞働者モ仕事ニ安ンジ再ビ同盟罷業ノ悲劇ヲ演ズルニ至ラナイ。以上述べタ所ハ、資本問題ノ解決デアアルガ、進ンデ土地問題ヲ解決スルノハ、最モ容易ナ事デアアル。ココニ諸君ノ爲ニ申述ベヨウ。

土地問題ヲ解決セント欲セバ、我國ノ今日ハ絶好ノ時期デアアル。此ノ資本未發達、地價ノ騰貴

セザル時期ニ乗ジテ先ヅ解決ヲ行ヘバ、歐米ニ比較シテ其ノ難易ハ同日ノ談デハナイ。併シ、此ノ土地問題ヲ解決セントセバ、須ラク先ヅ土地價格ノ變遷ヲ知ラネバナラス。上海ノ土地ニ就イテ云ヘバ、開港以前ニハ一畝ノ土地ハ五兩ニ過ギナカツタガ、現在デハ三四十萬兩スル所サヘアル。繭ツテ内地ヲ觀ルト、滿蒙、陝西、甘肅、西藏、新疆ノ地價ハ、昔日ノ上海ト正ニ相等シイ。英大馬路ノ黃浦灘カラ靜安寺ニ至ル一路ノ地價ハ、既ニ貴州全省ノ地價ト相匹敵シテ居ル。之ニヨツテモ、今日ノ上海ハ、今日ノ内地ト同一ノ土地デアリナガラ同一ノ價格デナイ事ヲ知り得ヨウ。即チ、今日ノ上海ト、昔日ノ上海トモ、亦土地ハ同一ナガラ、ソノ價格ヲ一ニシナイノデアル。ソノ價格ノ同一デナイ理由ハ、自然ガサウサセタ譯デハナイ。實ニ社會ノ進化ガ影響シテノ事デアル。上海地價ノ高價ナルハ、既定ノ事實デアルガ、將來工業商業ノ發達、交通ノ便利ト共ニ、内地ノ地價モ亦、必ズ上海ノ如クナル時代ガ有ラウ。

更ニ社會ノ進化ニヨリ、二三十年ヲ經過スレバ、地價ハ萬倍ニモ騰貴スルダラウガ、コノ萬倍ノ利ハ、一體何人ニ屬スルカト言フニ、ソレハ地主ノモノトナルノデアアル。外人ハミナ此ノ理ヲ知ツテ居ルノデ、財ヲ出シ、名ヲカツテ、土地ヲ買フ者、ソノ數ヲ知ラナイ。我國ハ廣大ナ土地ヲ有シナガラ、コレヲ支配スル良法ガナク、社會ノ生産シタモノヲ廢棄スル様デハ、必ズ外人ニ

乗ゼラレ、土地生産ノ權ヲ奪ハレテシマフニ違ヒナイ。ダカラ吾人ハ土地支配ノ方法ヲ研究シテ、社會主義ノ眞髓ヲ知ラネバナラナイ。

土地價格ノ増加ガミナ社會進歩ノ影響ニヨル事ハ知ツタガ、デハ社會ノ進化ハ果シテ彼レ地主ノ力ニヨルモノダラウカ。若シ地主ノ力デナイナラバ、社會及ビ増加スル地價モ隨ツテ、地主ノ享樂所有タリ得ナイ譯デ、將來増加シテユク地價ハ當然社會ノ公有ニ歸スベキデアリ、カクテコソ社會經濟ノ眞理ニ合致スルニチカカラウ。モシ社會ノ公有ニ收メズ、地主ノ私有ニ歸セシメタナラバ、將來大地主ハキツト大資本家トナリ、三十年後ニハ歐洲革命同様ノ流血ノ慘劇ヲ醸成スルデアラウ。故ニ今日社會主義ヲ主張スルノハ、實ニ子孫ノ幸福ノ計ヲナスモノデアルト言ハネバナラナイ。

今日我國ニ於イテ社會主義ヲ唱ヘ、土地公有ヲ主張スルノハ、地價及ビ地價稅徵收ノ二法ヲ規定セントスルモノデ、之レ實ニ社會主義ノ政策デアアル。即チ、地主所有ノ土地ヲ調査シテ其ノ地價ヲ定メ、自由ニ報告ヲ提出セシメ、國家ハ其ノ地價ニ應ジテ地價百分ノ一ノ稅ヲ徵收スル。地主ハ地價ヲ高ク報告セントスレバ納稅ガ重クナリ、納稅ヲ輕カラシメントスレバ報告ノ地價ハ低カラザルヲ得ナイカラ、兩者ヲ考慮シテ、結局報告ノ地價ハ相當程度タラザルヲ得ナイノデアアル。

ソコデ國家ハ其ノ地價ニ基キコレヲ戸籍ニ登記シ、報告ノ地價ハ規定ノ地價トナリ、其ノ後ノ地價ノ騰貴ハミナ社會ノ公有トナリ、私人ハソノ利ヲウケル事ガ出來キズ、地主ガ壟斷シヨウトシテモ、何處ニモンノ口實ヲ見出し得ナイノデアアル。(此ノ法ハ、廣東デハ既ニ議案トシテ省議會ニ提出シ可決サレタ)

米國紐育ノ一市デ、地代ノ收入ハ毎年八億ノ巨額ニ上ルガ、惜シムラクハミナ地主ノ私有スル所トナツテ居ル。若シ公有ニ歸シタナラバ、社會經濟上必ズ益スル所ガアルダラウ。之レハ紐育一州ノ事ニ過ギナイ。我が國ハ、土地ノ廣大ナルコト、物産ノ豊富ナルコト、世界ニ冠タルモノダガ、將來商工業ガ發達シ交通ガ便利ニナレバ、地代ノ收入ハ紐育ニ比シテ幾十萬倍トナルダラウ。從ツテ國富ハ立ドコロニ成リ、今日ノ如ク民窮シ財盡キ外人ヨリ借款セネバ國ガ立チ行カヌト言フ様ナコトハナクナルダラウ。

余ハ社會主義ニ對シ、其ノ國利民福ヲハカルニ眞面目デアツテ、社會ノ眞理ニ基ヅキ、種々ノ生産物ヲ集メテ公有ニ歸セシメヨウトスルコトヲ心カラ歡迎スル。社會主義ヲ實行スル日コソ、幼ハ教フル所アリ、老ハ養フ所アリ、分業デ作業シ、各自適所ヲ得、我が中華民國テフ國家ハ一變スルニ至ルデアラウ。余ハカク考へ、頗ル樂觀シテ社會主義國家ノ理想ヲ抱イテキル。次ニソ

地代

ノ種々ナル施設ニツイテ、再ビ略述シタイ。

社會主義ノ國家ハ、眞ニ自由、平等、博愛ノ境域デアアル。國家ハ、鐵道、鑛業、水運等ノ收入及ビ人民ノ完納スル地代、地稅ヲ有シ、國庫ハ充實シ、之ヲトレドモ竭キズ、之ヲ用フレドモ盡キザル状態トナリ、社會主義學者ハ進ンデ之ヲ經理シ、國家ノ經費ノ餘剩ヲ以テ、社會ノ種々ナル幸福ヲ謀ルニ供スルノデアアル。

(一) 教育、人間トシテ用ジク社會ノ一員デアリナガラ、富貴ノ家ニ生レバ教育ヲ受ケル事ガ出來、貧賤ノ家ニ生レバ教育ヲ受ケル事ガ出來ナイトハ、不平等モ甚シイ。社會主義者ハ教育ノ平等ヲ主張スル。凡ソ社會ニ人ト爲ツテハ貴賤ヲ論ゼズ、ミナ公共ノ學校ニ入學スベキデアアル。タダニ學費、食費ヲ徴收セザルノミナラズ、衣服、履物、書籍等モミナ政府ガソノ費用ヲ支辨シ、ソノ聰明ヤ才能ヲ發揮セシメ、各専門ニ分チ、ソノ資質ガ高等教育ヲ受クル能ハザル者ニハ其ノ性質ノ適不適ニ從ツテ農工商ノ技術ヲ授ケテ、獨立シテ生活シ得ル者タラシメ、卒業後ハソレゾレ各處ニ送ツテ服務シ、ソノ能ヲ發揮セシメル。カクスレバ、教育ノ恩惠ハ、獨リ富人ノ獨占ニ偏スル事ナキヲ期シ得、貧困ニシテ就學シ得ザル者モ亦コレデ其ノ憾ヲ免レル事ガ出來ル。

(二) 養老、人ハ社會ノタメ精神ヲ勞シ、肉體ヲ勞シ、辛苦スルコト數十年、老衰シテ筋力モ弱リハテ、何事モナス事能ハザルニ至ル。社會主義者ハ、社會ニ功勞アル者ノ晩年ニ對シ、社會ハ當然扶養ノ義務ガアルト考ヘ、公立養老院ヲ設ケ、老人ヲ收容シ、生活ヲ豊富ニシテ愉快ナラシメル。カクシテ其ノ天壽ヲ全ウスルナラバ、以テ貧窮者ノ家庭ノ缺陷ヲ補フニ足ルダラウ。

(三) 病院、人類ガ社會ノタメ忠實ヲ盡クシ、身ヲ惜シマズ、タマノ疾病ニカカル。富メル者ハ固ヨリ醫藥ヲ以テ治療スルガ、貧シキ者ハ餘分ノ金トテハナク、終ニ沈淪シテ死ニ至ル。コレモ亦不平等ナ話デアル。社會主義者ハ、公共病院ヲ設立シテ治療シ、治療費ナシデ而カモ富人ノ代價ヲ支拂フモノト同一ニ待遇スル事等ヲ主張スル。カクナレバ、コノ社會ニハ死ナズトモ濟ムノニ死ヌ様ナ人ハ少クナリ得ル。

其他、雙啞癱疾院ノ如キハ造化ノ失錯ヲ救ヒ、公共花園ノ如キハ、閑暇ノ遊戲ニ提供スル。人々ハ平等デアツテ、心ヲ勞スルモノト力ヲ勞スル者トノ差コソアレ、ソノ勞働ヲ爲スニ至ツテハ同一デアル。官吏ト勞働者トハ分業ノ關係ニ過ギズ、各自一ツノ業務ニ從ヒ、決シテ尊卑貴賤ノ差ハナイデアル。社會主義ノ國家デハ、人民カラシテ尊卑貴賤ノ觀念ガナイカラ、尊卑

貴賤ノ階級ハ、自然ニ形モナク消滅ニ歸シテシマフ。農夫ハ耕シ、勞働者ハ製造シ、商人ハ流通シ、士ハ治メ、各自ソノ業務ニ力ヲツクシ、幸福ハ平等ナラシメズシテ自ラ平等ニ、權利ハ等シカラシメズシテ自ラ等シク、コレニヨツテ發展スレバ、大同ノ世界ヲ招來スルコトモ難クハナイ。余ノ講演ハ三日ニ亙リ、社會主義ヲ説明シタガ、ナホ詳細ヲツクシテ居ナイ。望ムラクハ、諸君ト共ニ研究シ、共ニ進ンデ行キタイ。コレガ即チ余ノ拙キ願デアル。

十二、民生主義ト社會革命

— 民國元年四月臨時大總統辭職後同盟會ノ送別會ニテ —

諸君、今日同盟會ノ送別會ニ於テ一同相會スル機會ヲ得タコトハ誠ニ幸デアル。今日中華民國ガ成立シ、余ハ總統ノ職ヲ辭シタガ、辭職ハシテモ何事モ爲サナイト言フノデハナイ。即チ今後ハ政治ヨリモ更ニ重要ナコトニ著手シヨウトシテキルデアル。二百七十年前、中國ガ滿洲ニ亡ボサレテ以來、我々中國人ニヨル光復ノ舉ハ、何回トナク繰返サレ、各處ニ於ケル會黨ハ皆民族主義ヲ實行セントシタ。五十年前ニ起ツタ太平天國ノ如キハ、全ク民族革命ノ代表的ノモノデア。只此等ノ民族革命ハ、其ノ革命成功後ニ於テ、專制政治ヲ爲セバ、其レハ結局成功シ得ナイ

ノデアル。

八九年前、少数ノ同志ガ、日本ニ於テ同盟會ヲ發起シテ、三大主義ヲ定メタ。一、民族主義
二、民權主義 三、民生主義ノ三デアル。今日已ニ滿清ハ退位シ、中華民國ガ成立シタカラ、民
族民權ノ兩主義ハ俱ニ其ノ目的ヲ達シタ譯デアアルガ、只民生主義ニ至ツテハ尙未ダニ着手サレテ
キナイ、故ニ今後我々ガ力ヲ致サナケレバナラナイノハ、此事デナクテハナラナイ。現在社會革
命ハ全世界ノ提唱スル所デアアルガ、多數ノ中國人ノ見解ハ、今尙此點ニ迄到達シテキナイ様デア
ル。即チ今日多クノ人ノ中國改造ノ目標ハ、専ラ中國ヲ歐米諸國ト並駕齊驅シ得ル様ナ一大強國
ニスルコトニ在ル様デアアル。今日最モ富強ヲ誇ルノハ英米デアリ、最モ進歩シタ文明ヲ有スルノ
ハ佛蘭西デアアル。而シテ英國ハ君主立憲國デアアルガ、米佛ハ共和政體デアアル。斯クノ如
ク彼等ノ政體ハ已ニ完美ナモノデアアルガ、貧富階級ノ差ガ甚シイ爲ニ、多クノ社會黨ハ頻リニ革
命ヲ想ヒツツアル。而モ未ダニ社會革命ヲ見ナイ爲ニ、總テノ人民ガ安樂タリ得ズ、幸福ヲ享有
シツツアル者ハ少數ノ資本家ノミデアツテ、多クノ労働者ハ、依然苦痛ヲ受ケツツアル状態デア
ル。従ツテ人民全體ガ相安無事ナルヲ得ナイノデアアル。今我中國ハ已ニ民族民權ノ兩主義ノ目的
ヲ達シ、達シ得ナイノハ民生主義ノミデアアル。本黨員中ニハ「種族革命ト政治革命ハ極メテ容易

デアアルガ、最モ困難ナノハ社會革命デアアル。何トナレバ種族革命ハ異族ヲ驅逐スレバ足リ、政治
革命ハ機關ヲ改良スレバ夫レデヨイガ、社會革命ノ實行ハ、其ノ必須條件トシテ、人民ノ程度ガ
最高ナモノデナケレバナラナイ。ダカラ中國ハ民族民權ノ兩革命ニハ成功シタガ、社會革命ハ寧
ロ之ヲ保留シテ、暫ク時期ヲ待ツベキデアアル」トノ説ヲナス者モアルガ、此ノ説モ妥當トハ言ヒ
得ナイ。英米ノ如キ諸國ハ文明ガ已ニ進歩シ、商工業モ已ニ發達シテキルカラコソ、社會革命ガ
困難ナノデアツテ、我中國ハ文明ガ未ダ進歩セズ、商工業モ尙發達シナイカラ、却ツテ革命ガ容
易ナノデアアル。英米諸國ニハ資本家ガ已ニ發生シ、障礙物モ已ニ多クナツテ居リ、此等ノ障礙物
ヲ排除スル事ハ頗ル困難デアアルガ、中國ニハマダ資本家モ無ク、障礙物モ無イカラ、之ヲ行フノ
ハ容易デアアル。然ラバ之ヲ行フ方法如何。社會革命ニハ武力ヲ用フベキデアアルカ。此等ノ問ニ對
シ、余ハ敢然トシテ答フルデアラウ。英米ニ於ケル社會革命ナラバ、或ハ武力ヲ用フベキデアアル
カモ知レナイ。然シ中國ノ社會革命ニハ武力ヲ用フル必要ハナイト。先ニ余ガ英米ノ社會革命ハ
困難デアアルガ、中國ノ夫レハ容易デアアルト言ツタノモ之ガ爲デアアル。中國ハ元來貧窮ナ國デアツ
タノガ、此度ノ革命ヲ經テ一層民窮財盡ノ状態トナリ、中國人ノ家ニハ已ニ多クハ餘財ガナク、
外國ニ於ケル資本家ノ如キモノニ至ツテハ全ク存在シテキナイ。従ツテ社會革命ニ因ツテ苦痛ヲ

感ズル様ナ者ハ無イ譯デアアル。只現在弊害ガ現レテキナイカラト言ツテ、社會革命ノ實行ヲ將來ニ迄擱置スルコトハ不可デアアル。此ノ點、人ガ病氣ノ醫療ヲスルノト同様デアツテ、已ニ發病シテカラ療治スルヨリモ、未然ニ豫防スル方ガ上策デアアル。吾人ハ眼光ヲ遠大ナル一點ニ向ケ、數十年或ハ數百年後ノコトヲ想ヒ、眼ヲ全世界ノ各國ニ馳セナケレバナラナイ。中國ニハ資本家ガ發生シテキナイカラ、現在社會革命ヲ云々スル必要ハナイ、人民ノ程度ガ高クナリ、貧富ノ階級ガ形成サレテカラ、此ノ事ヲ論ズベシ、ナドト言ツテキタノデハ遅キニ失スルデアラウ。英米各國ハ從前此ノ事ニ意ヲ用ヒナカタ爲ニ、近時ニ至ツテ斯ノ如キ苦痛ヲ喫シテキルノデアアル。昨冬ノ炭礦罷業ノ如キハ此ノ事ヲ如實ニ物語ルモノデアアル。罷業ハ一種ノ暴動デアツテ、革命トハ言ヒ得ナイモノデアアルガ、英國人達ハ社會革命ヲ行ハントシテ、行ヒ得ザルガ故ニ、已ムヲ得ズ暴動ノ手段ニ出タノデアアル。且ツ社會革命ハ譬ヘ現在之ヲ行ヒ難クトモ、將來ハ必ず實行シナケレバナラナイモノデアアル。又其ノ實行ノ時ニ至ツテ、如何ナル過激手段ヲ用ヒ、如何ナル危險現象ヲ呈スルニ至ルカハ豫言シ得ナイコトデアアル。我々ガ此ノ民族民權兩革命成功ノ時ニ當ツテ、若シ後患ノ豫防ヲ思ハナカツタナラバ、將來必ず資本家ガ出現シ、其ノ壓制手段ハ恐ラク專制君主ニ比シテ、ヨリ一層激烈ナモノトナルデアラウ。ソシテ之ガ爲ニ殺人流血ノ争ヒヲナスニ於テハ、

夫レコソ禍ヲ重スルコトデナクテ何デアラウ。

本會ガ從前主義トシタ所ノモノニ、「地權ノ平均」ナル一事ガアルガ、若シ此ノ地權ノ平均ヲ實行シ得レバ、社會革命ハ其ノ七八割ヲ成功シタモ同様デアアル。而シテ地權平均ノ法ヲ實施スルニハ先ヅ此ノ主義ヲ全國ニ普及シテ始メテ無礙ナルヲ得ルノデアアル。只注意スベキハ、現在已ニ舊政府ガ倒レテ新政府ガ樹立サレ、而モ民政ハ開辦サルルニ至ツテキナイカラ、此時ニ當ツテ各地主ノ契約ヲ結ビ換ヘサセル様ニスル必要ガアルコトデアアル。此事ハ歴代政府ノ交迭スル毎ニ、當然爲サレナケレバナラナイコトデアツテ、社會革命ヲ主張スル上ニモ、此ノ契約書キ換ヘノ際ニ、少シデモ改變ヲ加ヘテ置ケバ、其ノ效果ハ無窮デアリ得ル。即チ從來人民所有ノ土地ハ、其ノ面積ニ準ジテ納税シ、之ヲ上中下ノ三等ニ分ツテアツタガ、今後此ノ方法ヲ改メテ地價ニ準ジテ徵税スルコトトシ、土地ノ不同ニヨツテ、單ニ三等級ニノミ分ツト言フ様ナ方法ハ廢止スベキデアアル。何故カト言フニ、例ヘバ南京ノ土地ト上海ノ黃浦灘ノ土地トノ地價ノ相異ハ非常ナモノデアアルニ係ハラズ、此等ヲ單ニ三等級ニ分ケルノハ不公平ダカラデアアル。ソレヨリモ寧ロ地價ニ準ジテ徵税シ、高價ナ土地ニハ多ク、低廉ナ土地ニハ少ク課税スル方ガ、遙ニ公平デアリ得ル譯デアアル。

何故カト言フニ高價ナ土地ハ必ズ繁盛ナ地域ニ在リ、其ノ所有者ハ多ク富メル者デアラカラ、此等ノ土地カラ多クヲ取ツテモ、決シテ慘虐トハナラナイガ、安價ナ土地ハ必ズ窮郷僻壤デアツテ、多クハ貧シイ者ガ之ヲ所有シテキル關係上、此等ノ土地ニ重稅ヲ課シテハナラナイノデアル。又三等級ノ外ニ價格ニヨル差別ヲ設ケテ置カナケレバ、黃浦灘ノ如キ土地モ一畝ノ納稅額ハ數元デアリ、鄉村ノ農民ノ所有地ノ納稅モ、同ジク一畝數元ト言ツタ様ナ、頗ル不公平ナコトナルガ、地價ニ準ジテ徵稅スレバ、能ク此ノ弊害ヲ除去スルコトガ出來ルデアラウ。今後商工業ノ發達ト地價ノ騰貴トハ必至ノ勢ニアルガ、ソウナレバ百年前ニ比較シテ今日上海ノ地價ハ、其ノ萬倍ニ騰貴シテキルガ、五十年後ニハ正ニ數十ノ上海ヲ現出スルニ至ルデアラウ。先年英京ニ居タ時分、些シテ繁盛デモナイ土地ガ、每畝六百萬元モシテキルノヲ見タガ、將來中國モ之ト同様な状態トナルデアラウカラ、現在ノ儘デハ此等ノ巨額ノ利益ハ地主ノ所得トナル外ハナイ。鄉村ニ十畝ノ土地ガ有リ、今、人力ヲ用ヒテ之ヲ耕作シタトシタラ、辛フジテ一人ヲ養ヒ得ルニ過ギナイデアラウガ、此ノ土地ガ地方ノ發達ニヨリ、地價ガ千萬元トナル様ナコトガアツタトスレバ、其ノ所有者ハ一大富豪トナル譯デアル。然ラバ此ノ財產ハ如何ニシテ得ラレタモノカト言フニ、大低ハ鐵道ノ敷設又ハ地方産業ノ發達等ノ結果ニ依ルモノデアツテ、地主個人ノ力ニヨツテ得タ

モノデハ無イノデアル。斯クテハ、數十年後ニハ、土地ヲ有スル者ハ、皆坐シテ此ノ莫大ナル利益ヲ優先的ニ享有シ得ルニ至ルデアラウ。故ニ土地ノ面積ニ準ジテ徵稅スルコトハ、地權ノ甚シイ不平均ヲ招來スルモノデアル。中ニハ之ガ平均ノ方法トシテ、土地ノ國有ヲ主張スル者ガ有ルガ、國家ガ全國ノ土地ヲ買收スルコトハ、其ノ力量ニ於テ到底及バナイダラウカラ、最善ノ方法ハ矢張り地價稅法ヲ定ムルコトデナクテハナラナイ。地價百元ノ時ニ一元ヲ納稅スル地主ハ、其ノ地價ガ一十萬元トナツタ曉ニハ十萬元ヲ納メテモ、強チ重稅トハ思ハナイデアラウ。此種地價稅法ハ英國ニ於テハ已ニ之ヲ行ヒ、數度ノ議會解散ヲ經テ始メテ通過シ、其ノ屬地タル濠洲等ニ於テハ已ニ之ガ實施ヲ見ツツアル。之ハ此ノ方法ガ完全デアリ、他ノ力ニヨツテ阻礙サルルコトガ無イカラデアル。

以上ノ第一條件ニ於テハ、富人ニ多額ノ租稅ヲ納メシメントスルノデアルガ、更ニ第二條件トシテ、國家ハ地券中ニ、國家ニ於テ必要トスル場合ハ、隨時地券記載ノ地價ニヨツテ其ノ土地ヲ買收シ得ル旨ヲ明確ニ定メネバナラナイ。斯クシテ始メテ弊害無キヲ得ルデアラウ。何トナレバ、人民ガ將來國家ガ其ノ地ヲ買ヒ取ルカモ知レナイト言フ見込ノ下ニ、其ノ地價ヲ高クシテオケバ、若シ國家ガ之ヲ買ハナイ場合ハ、年々其ノ價格通りニ多額ノ税金ヲ納入シナケレバナラナ

クナリ、其ノ累ニ堪ヘナイデアラウカラ、敢テ此舉ニ出ル者ハナイデアラウ。更ニ又其ノ地價ヲ低廉ニシテ置イテ、少額ノ納稅ヲ濟マソウトスレバ、若シ國家ガ其ノ土地ヲ買收スル場合ニハ、自然之ヲ廉價ニ賣ラナケレバナラナクナル譯デ、之モ亦敢テ彼等ノ爲シ得ザル所デアラウ。故ニ此ノ兩方法ハ相互表裏トナリ、定メズシテ自ラ地價ハ定マルノデアアル。國家ノ側カラ見テモ、斯クスレバ、買收ニモ徵稅ニモ、皆大ナル利益ガアルノデアアル。

近來ノ中國ハ貧窮ヲ極メテキルガ、之ガ補救ノ法トシテハ單ニ地稅ヲ徵收スルバカリデ無ク、更ニ地券登記稅ヲ徵收スベキデアアル。嘗ツテ廣東ニ於テ百兩毎ニ九兩宛ノ地券登記稅ヲ取ツタコトガアルガ、今宜シク全國一律ニ地券ノ書換ヘヨナシ、更ニ一ツノ標準價格ヲ定メ、百兩毎ニ三兩乃至五兩宛ノ地券登記稅ヲ徵收シ、年ヲ逾ヘテ猶モ地券ヲ書換ヘ無イ者ニ對シテハ、年ニ按ンジテ次第ニ此ノ登記稅額ヲ遞加スルコトニスレバ、敢テ故意ニ延引スル様ナ者ハアルマイ。此ノ方法ニヨレバ今後地價ガ日ニ騰貴スレバ、國家ノ收入モ益々多クナル譯デアアルカラ、中國ハ何等其ノ貧困ヲ患フルニハ當ラナイ譯デアアル。惟フニ土地ハ生産ノ原素デアアルカラ、地權ヲ平均シ得タル後ニ於テハ、社會主義ノ實施モ自然容易トナリ、國家ガ鐵道ヲ敷設セントスル如キ場合ニモ、人民ガ其ノ地價ヲ高騰セシメ得ナイカラ、土地買收ハ至ツテ容易ニ行ハレ得ルニ至ルデアラウ。

ウ。

次ニ資本ノ問題ヲ論ズルコトニスル。國家ガ大實業ヲ興サントスル場合、資本ガ無ケレバ外債ヲ借ラザルヲ得ナイ。而モ此ノ外債ヲ借ツテ實業ヲ振興スルコトタルヤ、我國ニ於テハ已ニ内外ノ均シク贊成スル所デアアル。先日、唐少川氏ガ、京奉鐵道借款ハ夙ニ償還シ得ルノデアアルガ、英人ガ回收スルコトヲ欲シナイ爲ニ、此ノ金額ヲ流用シテ京張鐵道敷設ノ資金トスルコトニシタ、ト言ツタト言フ話ヲ聞イタガ、之ヲ以テ見テモ、中國ノ實業ヘノ投資ハ、外人ノ望ム所デアアルコトガ解ル。中國人ハ外債ト言ヘバ毒物ノ様ニ畏レ、外債ヲ不生産的ナ事ニ用フレバ有害デアアルガ、之ヲ以テ生産的ナ事業ヲ營メバ有利デアアルコトヲ知ラナイ。米國ノ發達ヤ日本ノ勃興ハ皆外債ノ力ニ依ツタモノデアアル。我國ニ於ケル外債ニヨル鐵道敷設ノ利ハ、三ケ年間ノ收入ヲ以テスレバ完全ニ敷設資金ノ全部ヲ償還スルコトガ出來、其後ノ年々ノ收入ハ皆純利益トナシ得ル程ノモノデアアル。而モ若シ外債ヲ借ラナケレバ、斯ノ如キ巨額ノ收入ヲ得ルコトハ出來ナイノデアアル。米國ノ鐵道ハ毎年七億弗ノ收入ヲアゲテキルガ、更ニ之ニヨル附屬的利益トシテ、數百萬ノ勞働者ヲ養ヒ、各地ノ生産物ヲモ輸送シテオルノデアアル。故ニ中國ニ於テモ之ガ實施ガ遅ルレバ、一年毎ニ少クトモ數億ノ收入ヲ失フコトニナル譯デアアル。西人ハ時ハ金ナリト言フガ、我國人ガ何時

迄モ此ノ事ヲ措イテ顧ミナイノハ、誠ニ残念ナコトデアアル。昔張之洞ハ蘆漢鐵道ノ築設ヲ議スルニ當ツテ、外債ヲ借ルコトヲ畏レ、又外國材料ノ使用ヲ畏レテ、之ガ爲ニ漢陽鐵廠ヲ設立シ、自ラ「レール」ヲ製造セントシタ。然ルニ孰ゾ知ラン、漢陽鐵廠ハ屢々失敗ヲ繰返シ、更ニ多クノ資金ヲ投入シタガ、竟ニ盛宣懷ノ手ニ歸シ、鐵道ノ方モ成功スルニ至ラズ、其後遅ルルコト二十年ニシテ、白耳義資本ニヨツテ漸ク敷設サルルニ至ツタ。此時ハ一切ノ材料ヲ外國カラ購入シタノデアアルガ、漢陽鐵廠ノ成功ヲ待タントシテ已ニ二十年遅レタ譯デアツテ、其ノ失フ所タルヤ實ニ幾何タルカヲ知ラナイノデアアル。中國人ハ金錢ノ貴ブベキヲ知ツテ、時間ノ貴ブベキヲ知ラズ、小ヲ顧ミテ大ヲ失フ缺點ガアル。中國各地方ノ産業ハ未ダ發達セズ、人民ニハ働クベキ仕事ガ無ク、廣東省ノ如キハ毎年約三十萬ノ猪仔（南洋華僑中ノ契約労働者）ヲ輸出シ、彼等ハ人デアリ乍ラ牛馬ニ等シイ仕事ヲナシツツアル。此際若シ外資ヲ輸入シテ大イニ事業ヲ興スコトガ出來レバ、中國人ハ海外ニ出テ傭工トナル必要ハナクナルデアラウシ、國內ノ産業モ亦現在ニ比シテ幾層倍ニモ増加スルニ至ルデアラウ。余ハ昨年「カナダ」ヲ經テ、彼地デ中國人ガ炭坑デ機械ヲ用ヒテ採炭シテキルノヲ見タガ、彼等ハ毎日十餘噸ヲ採掘スルコトガ出來、日給七八元ヲ貰ツテキタ。ソレデキテ資本金ハ尙最少限度一人ノ労働者ニヨリ一日百數十元ノ收入ヲアゲテキルノデア

ル。然ルニ中國内地ノ炭坑ニ於ケル労働者ハ、毎日辛ウジテ一噸ヲ掘リ得ル状態デアツテ、其ノ生産力ハ極メテ小イ。之ガ若シ機械ヲ用フレバ、其ノ生産力ハ少クトモ十數倍トナルデアラウシ、生産力ガ十數倍トナレバ、財富モ亦十數倍ニ増加スル譯デ、中國ハ從ツテ一ツノ最モ富メル國家トナリ得ルノデアアル。即チ生産力ヲ開發シ得レバ富ミ、開發シ得ナケレバ窮スルノデアアルガ、前清政府ハ開發セントシテ、爲シ得ナカッタ。然ルニ今日デハ共和國トナリ、自由ナル措置ヲ採リ得ルノデアアルカラ、産業ノ勃興モ期シテ待チ得ルノデアアル。然シ防ガザル可ラザル一種ノ流弊ハ、之ニヨツテ資本金ガ發生スルダラウコトデアアル。

若シ一工場ガアリ、數百人ノ職工ヲ雇備シ、各人ガ二百元ノ利益ヲ舉ゲ得ルモノトシテモ、其ノ職工一人ノ工賃ガ五元ニ過ギナイナラバ、恐ラク一家ノ糊口ヲ養フニハ足りナイデアラウ。ツシテ此種ノ不公平ガ激成サルレバ、罷業ニ迄進展スルノデアツテ、之ハ生産増加ニ伴フ不可避ナ階梯ナノデアアル。故ニ一面國家ノ富強ヲ圖ルト共ニ、他面資本金ノ利益壟斷ノ流弊ヲ防ガナケレバナラナイ。而シテ此ノ弊害防止ノ方法ハ、社會主義ノ實施以外ニ無イノデアアル。本會ノ政綱中ニ國家社會主義政策ヲ採用シテキルノハ之ガ爲デアアル。獨逸ニ於テハ已ニ此ノ政策ヲ採用シ、鐵道電氣水道等ノ大事業ハ全部國有ニ歸シ、以テ私人ノ利益壟斷ヲ禁ジテキル。英米ハ最初此政策

ヲ採用シナカッタガ、今日弊害ノ大ナルヲ見テ、米國ハ今ヤ鐵道ヲ國有トセントシツツアル。只之ガ買收ニハ巨額ノ資金ヲ要スルノデ、之ガ爲ノ財力ガ不足シ、已ニ根深クシテ抜ク能ハザルノ勢ヲナシテキル。只獨逸ハ其後ニ興ツタ爲ニ、能ク之ガ豫防ニ成功シ、全國ノ鐵道ヲ悉ク國有ニ歸スルコトガ出來タ。中國ハ當ニ法ヲ獨逸ニ採ルベキデアアル。ソシテ鐵道ノ總延長ヲ二十萬里ニ達セシムルコトガ出來レバ、歲入十億元ヲ得ルコトガ出來、此ノ金ノミヲ以テシテモ全國ノ公用ヲ滿シテ餘リ有ルデアラウ。更ニ中國ガ他國ニ優ツテキル點ガアル。夫レハ英國ノ土地ハ多ク貴族ノ所有デアリ、既墾ノ地ハ大低人民ノ所有ニ歸シテ居リ、未墾ノ地ノミガ悉ク私有トマデハ行ツテ行ナイ狀態デアルガ、中國デハ宅地田畝以外ノ一切ノ鑛山山林等ハ多クハ國有デアアル。又英國デハ鑛物稅ハ頗ル多額ニ上リ、毎年ノ所得ハ甚大デアルガ、此等ハ皆地主ノ收入トナツテキル。之ニヨツテ見テモ、中國ニ於ケル鑛山ノ屬官ガ、人民ニ鑛山ヲ貸シ與へ、之ヲ開掘セシメテ利ヲ求メテハイケナイト言フ理屈ハナイ。若シ中國ガ國家社會政策ヲ實施スルニ至レバ、地租ノミニ付テ見テモ其ノ收入ハ現在ニ數十倍スルデアラウシ、鐵道收入ニ至ツテハ三十年後之ヲ國有トシテ回收シタ曉ニハ、米國ニ準ジテ能ク十四億ノ收入ヲ得ルコトガ出來ル様ニナルデアラウ。更ニ此ノ外ニ鑛山採掘權ヲ貸與スルコトニヨツテ得ル收入ヲ十億元ト見テ、此ノ三項ノ收入ヲ合算ス

レバ、國家ノ收入ハ、其ノ歲費ヲ支辨シテ裕ニ餘リアルモノトナルデアラウ。此ノ時ニ至ツテ、國家ガ患フルノハ其ノ貧窮ナコトデハナクテ、此等ノ收入ヲ如何ニ使用スルカト言フコトデアアル。收入ニ餘リガ有ツテ、之ガ用途ノ無イ場合モ、亦慮フベキモノデアルカラ、其時ハ用途ヲ考慮シテ、之ヲ教育費ニ充當スルガ最モヨイト思フ。即チ法律ヲ以テ男子ハ五六歳ニナレバ小學校ニ入ルコトニ定メ、爾後國家ガ之ヲ教ヘ之ヲ養ヒ、二十歳ニ至ツテ止メルコトトシ、之ヲ以テ中國國民ノ一種ノ權利ト見做スコトニスルノデアアル。而シテ學校ニ於テハ各種ノ學問ヲ授ケ、修了後ハ一個ノ獨立國民トナリ得ル様ニシ、參政權、自由平等權等ノ各種權利ヲ有シ得ル様ニシ、二十歳以後ハ自力ヲ以テ生活シ、幸ニ富豪ニナルニシテモ、之ヲ他人ノ力ニ依倚シナイコトニシ、若シ又不幸半途ニ於テ蹉跎シテモ、五十歳以後ハ國家ガ養老金ヲ給與スルコトニスルノデアアル。此制度ハ英國デハ已ニ實施シテキテ、一人一年七八百元ヲ給與シテキル。將來ノ中國ニ於テハ、一人ニツキ數千元ヲ支給シ得ルニ至ルダラウ。ソシテ若シ澤山ノ子供ヲ産ンデ養育スル力ノ無イ者ガアレバ、之レニモ國家カラ養育資金ヲ支給シ得ル様ニナルデアラウ。

此時ニ至レバ家給人樂、中國ノ文明ハ遙ニ歐米ノ文明ヲ凌駕シ得ルニ至ルノデアアル。將來此ノ境地ニ達スルコトハ、決シテ望ンデ得ラレナイコトデハナイノデアアルガ、之ガ爲ニハ先ヅ禍ノ豫

防ヲ計リ、國家社會主義政策ヲ採用シ、社會ヲシテ經濟的階級ノ壓迫ニヨル苦痛ヨリ免レシメナケレバナラナイ。斯クスレバ自然ノ趨勢トシテ、必ズヤ前記ノ如キ狀態ニ迄進歩シテ行クデアラウシ、所謂國利民福モ之ニ逾ユルモノハ無イノデアアル。我國民ハ共ニ之ニ勉メナケレバナラナイ。

十三、共和ト自由ノ眞諦

— 民國元年四月十日湖北政界代表ノ歡迎會ニ於テ —

此度ノ革命ハ國民革命デアツテ、多數國民ノ爲ノ幸福ヲ造成セントスルモノデアアル。凡ソ人民ハ最モ大切ナモノデアツテ、軍人ト官吏トハ一種ノ國家機關デアリ、全國人民ノ爲ニ事ヲ辨ズルニ過ギナイモノデアアル。

光復以來共和ト自由トノ聲ハ世上ニ露々タルモノガアルガ、其實之ガ眞義ヲ誤解スル者ガ甚タ多イ。蓋シ共和ト自由トハ專ラ人民ノ爲ニ説カルベキモノデアツテ、決シテ少數ノ軍人ヤ官吏ノ爲ニ説カルベキモノデハナイノデアアル。若シ軍人ト官吏トガ共和ト自由トニ藉口シテ紀律ヲ破壞スルガ如キコトガアレバ、國家機關ハ決シテ統一シ得ナイデアアラウシ、機關ノ統一ガ不可能トナ

レバ、事ニ從事スル者ニ責任感ガ無クナリ、從ツテ一盤ノ散沙ニ等シイ状態トナリ、到底國民ノ爲ニ事ヲ辨ズルガ如キコトハ不可能トナルデアラウ。此ノ故ニ機關ノ運用ニ當ツテ貴ブ所ハ紀律デアアル。之レ恰モ機械ニ於ケルト同様デアツテ、百輪交錯シテ一絲亂レザレバコソ機械ノ運用ハ至極圓滿ナルヲ得ルノデアアル。此點有形ノ機關モ無形ノ機關モ何等異ル所ガ無イ。政治機關ニ在ツテモ、凡百ノ事ハ皆、階級ニ準ジテ處理サレ、此ノ間ノ紀律ガ嚴明デアツテ始メテ完全ニ能率ヲ擧ゲ得ルモノデアリ、又斯クテコソ始メテ人民ト領土トヲ保全シ得テ、列強ト覇ヲ爭ヒ得ルノデアアル。斯ク論ジ來タレバ、或ハ平常信奉スル共和ト自由主義トハ相衝突スルモノデハナイカト思フ者ガ有ルカモ知レナイガ、事實ニ於テソノ様ナ事ハナイ。此ノ點余ハ先ニ之ヲ述ベタ答デアル。共和ト自由トハ共ニ人民全體ノ爲メニ講ズルモノデアツテ、官吏ノ如キハ國民ノ公僕ニ過ギナイモノデアリ、人民ノ供應ヲ受クモノデアルカラ、自由タリ得ル事ハ出來ナイモノデアアル。即チ人民ハ終歲勤勞シテ自己ノ生活ヲ計ルガ、官吏ハ人民ニ養ハレテキルノデアツテ、自己ノ生活ヲ計ル必要ガナク、人民ハ各自其ノ所有物ノ一部ヲ出シテ此等少數人ヲ養ヒ、自己ニ代ツテ事ヲ辨ゼシメテキルノデアアル。故ニ其ノ事ヲ辨ジツツアル間ハ、此等少數人ハ自己ノ自由ヲ停止シテ、人民ノ爲メニ其ノ職責ヲ盡シ、以ツテ人民ノ供應ニ答ヘナケレバナラナイ。此種供應タルヤ

實ニ少數人ノ自由ヲ購取スル爲ノ代價デアルカラ、此等ノ少數人ガ自由ヲ欲シテモソレハ人民ノ爲ニ斥ケラレナケレバナラナイ。自由ノ範圍ハ元、廣汎デアアルガ、執務ノ期間ハ甚ダ狹小デアアル。余モ曾ツテ總統デアツタ時代ニハ自由ニ行動スル事ガ出來ナカッタ。今日湖北ニ來リ諸君ト相見エタノハ全ク一國民トシテノ資格デアツテ、總統トシテノ資格ヲ以ツテスルノデハナイ。故ニ今日余ハ完全ナル自由ヲ享有シテ居リ、其ノ自由タルヤ實ニ國民トシテノ自由デアアル。

余ガ今回總統ヲ辭シタニ就イテ、世間デハ功成ツテ身退イタモノデアルトノ説ヲナシテキル者ガアルガ事實ハソウデナイ。身ヲ退イタ事ハ事實デアアルガ、功ハ未ダ成ツテキナイノデアアル。余ノ辭職ニハ二ツノ原因ガアル。第一ハ速カニ國民トシテノ自由ヲ享受センガ爲メデアリ、第二ハ社會事業ニ盡瘁センガ爲メデアアル。我國ハ既ニ種族革命ト政治革命トニハ成功シタガ、社會革命ニハ未ダ着手シテキナイ。故ニ社會事業ハ今日ノ我國ニ於テ頗ル重要ナモノデアアル。今試ミニ中國四億ノ民衆ヲ分ツテ見レバ、身ヲ政界ニ置ク者ハ多クトモ五萬人ニ過ギナイデアラウシ、軍界ニ籍ヲ置ク者モ多クトモ百萬人ニ過ギナイデアラウ。其餘ノ者ハ皆普通人民デアアル。斯ノ如ク多數人民ノ存在ニ著眼スル時、吾人ハ社會事業ノ萬々忽ニスベカラザルモノデアアル事ヲ知ルノデアアル。統一以前ニ於イテハ、政治ト軍治トハ共ニ極メテ重要ナモノデアツタガ、統一

後ニ於イテハ重心ヲ社會問題ニ移サナケレバナラナクナツタ。前者ハ自由ヲ犠牲ニスルモノデアリ、後者ハ自由ヲ擴張スルモノデアアルガ、而モ此等ノ二者ハ並立シ得ルモノデアアル。余ハ今回職ヲ辭シタニ就イテハ、社會事業ノ一發起人タラン事ヲ願ツテキル。吾人ハ自由民デアアルガ、自由民トシテナスベキ事業ハ甚ダ多イノデアアル。而モ我國民ハ久シク專制政治ノ壓迫ヲ受ケ、人格ヲ喪失スル事久シク、之ガ恢復ヲ計ルガ爲メニハ非常ナ力ト、多クノ時間トヲ要スル。余ハ不敏ナリト雖モ敢テ此事ニ當ラントスル者デアアルガ、茲ニ一言諸君ニ言ツテ置キタイ事ハ、若シ諸君ガ完全ナル自由ヲ得ントスルナラバ、退イテ一個ノ人民トナルベキデアリ、退イテ人民トナラズ、軍人又ハ官吏ノ職ニアル間ハ、必ズ自己ノ自由ヲ犠牲ニシテ紀律ニ服從シナケレバナラナイト云フ事デアアル。革命ニ盡力サレタ諸君ハ必ズヤ言フデアラウ、「我々ハ血涙ヲ以ツテ自由ヲ獲得シタ。而モ軍人ナルガ故ニ自由ヲ享有シ得ナイト言フノハ何故デアアルカ。軍人ノ數ハ少ク人民ノ數ハ多イ。我々が軍務ニ在ル間ハ短ク、普通人民デキル時間ハ長イ。朝ニ總統トナツタベニ職ヲ辭シ、朝ニ軍長トナツタベニ歸農スレバ、完全ナル自由ハ時ニ隨ツテ之ヲ享受シ得ルデハナイカ。故ニ人民ノ自由ハ即チ軍人ノ自由デアアル」ト。諸君ハ此ノ言葉ヲ牢記シテ置カナケレバナラナイ。要スルニ只ダ服務期間中ニ於イテノミ人民ト一律デアツテハナラナイノデアツテ、此點ノ

ミガ普通人民ト異ツテキルノデアアル。

十四、社會革命ノ正道

武昌十三團體聯合歡迎會ニテ

近時團體ノ多イコトハ數ヘ難イ程デアツテ、之ハ民智ノ發達シタコトヲ徵スルニ足ルモノデア
ルガ、余ハ之ガ爲ニ同一目的ニ向ツテ一致進行スルコトノ不可能ヲ深ク恐レルモノデアアル。惟フ
ニ民族思想ハ其ノ民族ノ天性ニ根據スルモノデアアル。十餘年來、各團體ガ舉ツテ革命ニ趨キ、排
滿ノ一語ハ舉國同聲トナリ、遂ニ今日ノ如ク滿族ノ專制政體ヲ倒スコトガ出來タノハ、全ク我々
ノ民族思想ニヨルモノデアアル。中國ノ歴史ニ徵スレバ、清朝ニ代ルモノトシテハ、漢族ノ專制政
府ガ代ツテ興ツテモ不可ナイ筈デアアルガ、事實ハ之ニ反シ、期セズシテ帝王思想ハ天下ニ其跡ヲ
絶チ、偶々意見ノ相違ハアツテモ、大局ニ於テハ人心ハ均シク共和ニ向ヒ、種族革命ト政治革命
トガ全國一致ノ目的トナルニ至ツタ。余ハ茲ニ各團體ガ、今ヤ其緒ニ就カントシツツアル社會革
命ニ對シテモ、從前ト同様、一致協力ノ精神ヲ以テ、之ニ當ラレンコトヲ希望スル次第デアアル。
社會革命ニ反對スル者ハ「中國現下ノ急ハ政治問題デアツテ、社會問題ハ尙相去ルコト遠キモノ

デアアル。蓋シ我國ノ生活程度ハ低ク、資本案ハ未ダ發生セズ、此點歐米ノ社會現象トハ異ツテキ
ルカラ、社會主義ハ我國ニハ適合シナイ」トノ言ヲ爲シツツアルガ、斯ノ如キ淺薄ナル言ヲ爲ス
者ハ、共ニ論ズルニ足リナイ者デアアル。歐米各國モ、當初其ノ政治ヲ改革スル際ニハ斯ノ如キ意
見ヲ有シ、社會ノ流弊ガ未ダ發生シテキナカツタ爲、彼等ハ政治サヘ善良デアレバ、百事皆善良
タリ得ルモノト考ヘ、竟ニ社會事業ニハ意ヲ注ガナカツタ。夫レガ爲ニ今日、社會各般ノ事業ガ
敗壞スルニ至リ、之ヲ拾收セントシテモ如何トモ爲シ得ナイ状態トナツタノデアアル。諸君ハ今日
歐米ノ社會ニ見ル弊害瀾縫ノ政策ガ、皆其ノ社會問題ニ起因スルモノナルコトヲ知ラナケレバナ
ラナイ。彼等ニシテ社會問題ニ注意スルコトガ、百年早カツタナラバ、決シテ今日ノ様ナ窮狀ニ
ハ立チ至ラナカツタデアラウ。其ノ粗忽モ甚シイト言ハネバナラナイ。米國ノ如キモ英國カラ分
離獨立シタ際、躊躇セズニ之ガ對策ヲ計ツテキタナラバ、百年ヲ出デザル今日、斯クモ社會的苦
痛ヲ味フニハ至ラナカツタデアラウ。現在其ノ爲ニ國利民福ヲ犠牲ニスルコト尠カラザルモノア
ルヲ見タナラバ、米國百年前ノ政治家達モ、必ズヤ自ラ其ノ策ヲ失シタコトヲ歎クデアラウ。我
國ノ革命ハ國利民福ノ爲ニスル革命デアアルガ、國利民福ヲ擁護スルモノハ實ニ社會主義ナノデア
ル。故ニ國利民福ヲ鞏固ナラシメント欲スレバ、必ズ社會問題ニ力ヲ注ガナケレバナラナイ。現

今米國ノ不自由ハ專制國ヨリモ甚シイモノガアル。蓋シ專制皇帝ハ專横無藝ナリト雖モ、敢テ公然ト平民ヲ壓迫スルコトヲ標榜スルガ如キコトハ爲シ得ナイ。然ルニ資本家ハソウデハナイ。彼等ハ平民ヲ壓迫スルコトヲ本分トスル者デアツテ、人民ノ苦痛ニ對シテハ、全然責任ヲ負ハナイノデアル。一言以テ之ヲ蔽ヘバ、彼等資本家ニハ良心ガ無イノデアル。

近時歐米ノ勞働者ハ資本家ニ好感ヲ有セズ、常ニ同盟罷業ヲ起シテキルガ、而モ其等ノ總テガ無效ナノデアル。之ハ勞働者ハ皆貧困デアル爲ニ、持久シ得ル丈ケノ糧ガ無イカラデアル。即チ勞働者ガ賃銀ノ値上ゲヲ要求シ、資本家ガ之ニ應ジナイ場合、之ガ對抗策トシテ罷業ヲ敢行シテモ、二ヶ月三ヶ月ト經過スル内、勞働者等ハ餓ニ耐ヘナクナリ、從ツテ原賃銀デ就業セザルヲ得ナクナルノデアル。又消費者モ時トシテハ、資本家ノ制肘ヲ受ケナケレバナラナイ。即チ消費者達ガ價格ノ高イノヲ嫌ツテ、相率ヒテ不賣ヲ實行シテモ、商品ノ所有者達ハ、斯ル場合其ノ商品ヲ他國ニ轉賣シ、又ハ久シク市場ニ出サズニ置イテ、消費者ヲ困ラセ、終ニ彼等ヲシテ買ハザルヲ得ザルニ至ラシムルノデアル。又世間デハ同盟罷業ヲ社會主義ナリトシテキル者ガアルガ、事實ソナモノデハナイ。罷業ハ社會主義ニヨル方法ヲ以テシテハ、如何トモナシ得ザルニ至ツタ場合、始メテ之ヲ用ヒテ其ノ苦痛ヲ表明スルノデアツテ、社會主義ソノモノデハナイノデア

ル。

十五、民生主義ノ實施

— 民國元年五月四日廣州東關ニ於ケル新聞界ノ歡迎會ニテ —

二十年來我黨ハ三民主義ヲ持シテ海外ニ奔走シ、以テ中國ノ大革新ヲ謀ラントシタガ、幸ヒ今日時機已ニ熟シ、人心死セズ、武漢ノ起義ヨリ三ヶ月ナラズシテ全國定リ、已ニ五族共和ト民族民權兩主義ノ目的トヲ達スルニ至ツタ。故ニ今後國民福ヲ計ラントスレバ、其ノ進行ノ方法ハ、民生主義提唱ノ實行デナケレバナラナイ。然ラバ共和ノ先進國タル米佛兩國ニ於テ、今日未ダニ社會主義ガ實行サレテ居ナイノハ何故デアアルカト言フニ、兩國共其ノ政治ガ大資本家ノ手ニ操ラレテキルカラデアル。

惟フニ我國ノ革命ハ五千年來未曾有ノ舉デアアルカラ、必ズシモ其ノ主張ヲ各國ノ法ニ取ル必要ハ無ク、寧ロ米佛ヲ凌駕スル如キモノデナクテハナラナイノデアル。只革新ノ始メニ於テハ各方面トモニ財力ヲ必要トスルガ、現時國家ノ收入ハ亡清ヨリモ更ニ少額デアアルカラ、此ノ弊ヲ救ハントスレバ、必ズ土地家屋登記手数料制度ト地權平均ノ法トヲ實行シナケレバナラナイ。此ノ兩

方法ヲ竝進セシムレバ問題ハ簡單ニ解決出來ルデアラウ。

地權ノ平均トハ何カ。之ハ封建時代ニ行ハレタ井田ノ法ノ如キモノデハナイ。古代ノ法ハ協力合作シ、畝ヲ計ツテ之ヲ均分シ、九分ノ一ヲ納稅セシメタノデアアルガ、今日デハ地少ク人多ク、地積ノ平均ガ不可能デアリ、稅率モ亦同一ナルヲ得ナイ。長堤ノ如キ繁盛ナル地區ヲ、清遠、花縣ノ如キ荒僻ナ地ト比較スレバ、其ノ價值ニ於テ已ニ天淵ノ差ガアル。更ニ之ヲ倫敦紐育等ト比較スレバ、眞ニ日ヲ同ウシテ語リ得ナイモノデアアル。(紐育デハ一畝六百萬弗ニ上ルモノガアルガ、清遠デハ最高一畝百兩ニ及バナイ。) 將來我國ハ商工業ノ發達ヲ本務トスベキデアアルガ、國內ガ太平トナレバ一二年後ニハ建設ニ着手スルコトナルデアラウシ、ソウナレバ八年十年ノ後ニハ物質ノ進歩ハ量ル可カラザルモノガアルダラウ。故ニ更ニ二三十年後ニハ切實ナル整理方法ヲ講ジナケレバ地權ハ愈々不平均トナルデアラウ。其ノ結果ハ國ヲ擧ゲテ賭ノ世界ト化シ、國事ハ愈々問フ可ラザルニ至ルデアラウ。賭博ト言ツテモ必ズシモ、博奕トハ限ラナイガ、世界デ最大ノ博奕ハ土地賣買ノ投機デアツテ、今日ノ英領「カナダ」ノ如キガ其ノ一公例デアアル。凡ソ商工業ノ發達シタ地ノ借地料ハ、必ズ日ニ々々騰貴スルモノデアツテ、香港上海ノ如キモ以前ハ一畝百十元内外デアツタガ、現在デハ百數十元ニ騰貴シテキル。故ニ若シ現在地權ヲ平均シナケレ

バ、將來實業發達後ニ於テ、大資本家ハ必ズ先ヅ争ツテ土地ニ投機シ、十年間、國ヲ擧ゲテ之ニ傲ヘバ、經濟界ハ必ズ大恐慌ヲ生ズルデアラウ。其間地價ノ高落ハ有ツテモ、土地ガ廣大デアル。又資本家ガ缺損シテモ土地ニハ限りガ有リ投機者ハ無限デアアル爲ニ、勢ノ趨ク所必ズ平民ニ失業ノ苦痛ヲ與フル日ガ來ルデアラウ。我國ハ數千年來未ダ嘗ツテ文明ノ法ヲ治メタコトガナカッタガ、今之ヲ治メツアルノハ社會ノ進歩ヲ物語ルモノデアアル。而モ之ヲシテ土地投機業ノ累ヲ受ケシムルコトハ殘念ナコトデハナイカ。斯ル過渡時代ニ投機業ガ愈々盛トナレバ、商工業ハ必ズ爲ニ阻滯スルニ至ルデアラウ。然シ若シ從價稅法ト土地收用法トヲ實施スルニ於テハ、大資本家モ斯ル種類ノ投機ヲ爲サズシテ、資本ノ盡クヲ商工業ニ投資スルデアラウシ、斯クスレバ大多數人ノ幸福ヲ謀ラントスル目的ヲモ達シ得ルデアラウ。

地租ノ徵收方法トシテハ地價ニ準ジテ納稅セシムルノガ最モ良策デアアル。紐育ニ於テハ地價ノ百分ノ一ヲ納稅セシメ、倫敦ノ例ニヨレバ二百四十分ノ一(每磅ニツキ稅一片)ヲ徵收シテキル。我國ニ於テハ先ヅ情勢ヲ觀察シテ租稅ノ標準ヲ定メナケレバナラナイ。即チ現在ノ地價ハ不平均デアルカラ、不平均ノ中ニ自然ノ平均ヲ籌ル様ナ方法ヲ定メナケレバナラナイ。其ノ方法トシテハ一、從價納稅ニ、土地國有デアツテ、此ノ方法ハ相互因果關係ヲ有スルモノデアリ、之ヲ雙方

並進セシムレバ必ズ平均シ得ルニ至ルデアラウ。而シテ從價納税ノ法ハ淺クシテ行ヒ易イモノデア
ル。即チ土地所有者ヲシテ所有地ノ多少ト其ノ價格トヲ自ラ報告セシメ、國家ハ報告ニ準ジテ
其ノ若干分ノ一ヲ課税セシムルノデアアル。斯クスレバ多キヲ少ク報告スルコトモ無ク、又地價ヲ
吊リ上ゲル惧レモ無イノデアアル。

次ニ土地國有ノ法ハ、必ズシモ土地ヲ國家ニ買收歸屬セシムル必要ハ無イノデアツテ、道路ヲ
修築シ、市場ヲ開設スルガ如キ場合ハ、其ノ通過箇所ニ在ル田園、墓地、宅地又ハ之ガ爲ニ必要
ナル其他ノ土地ヲ其ノ各々ノ登記價額ニ準ジテ、國家ガ買收スレバヨイノデアアル。只賣買ノ定例
トシテ賣主ハ其ノ價格ガ高イ方ガ有利デアリ、買フ方ノ側ハ低廉ナ方ガ有利デアルカラ、所有主
ガ斯ル場合ヲ豫想シテ其ノ價格ヲ高ク報告シテ置イタトスレバ、之ニ對スル國家ノ徵稅額モ從ツ
テ多額トナル譯デアアル。此ノ兩方面ハ不同デアアルガ、而モ能ク相互相補フモノデアツテ、之ガ爲
ニ報告ノ價額ハ折衷サレ、地權モ自ラ平均サルルニ至ルノデアアル。地權ガ均シクナレバ資本家ハ
必ズ土地投機ヲ止メテ商工業ニ從事スルデアラウシ、社會ノ前途ニ對シテモ隨ツテ無窮ノ希望ヲ
有シ得ルニ至ルノデアアル。土地ノ面積ニハ限りガアリ、商工業ニヨリ利益ニハ限りガ無イカラデ
アル。斯テ製造業ガ日ニ繁昌シ、世界ノ用途ガ日ニ廣クナレバ、國民民福ハ之ヨリ大ナルハ無イ

ノデアアル。然ラザレバ我々ガ專制政治ヲ倒シテ子孫ノ幸福ヲ謀ラントシツツアル事モ徒勞ニ歸シ、
地權ノ不平均ヨリスル大地主ト大資本家トノ專制ハ、無窮ノ害ヲ子孫ニ遺スデアラウ。之レ實ニ
想フニ忍ビナイコトデアアル。故ニ我々ハ今日先ヅ民主主義ノ第一階梯ヲ實行シナケレバナナイ
ノデアアル。

輿論ハ事實ノ母デアリ、新聞界ノ諸君ハ又輿論ノ母デアアル。故ニ諸君ニ望ムラクハ、余ノ此等
ノ主旨ニ賛成サレ、健全ナル一致ノ言論ヲ醸成シ、全國民ニ從價納税法ト地權平均ノ大利ヲ知ラ
シメテ頂キ度イ。斯クスレバ社會各般ノ實績ハ必ズ舉ラザル無キニ至ルデアラウ。

次ニ中國商工業ノ發達ヲ欲スルナラバ、天然税法ヲ實施シ、人工税ヲ阻止シナケレバナラナ
イ。前清時代ニ於ケル釐金鹽稅ノ如キ人工税ハ均シク民ニ害アルモノデアアル。之ニ反シ耕地稅、
宅地稅ノ如キ、其ノ價格ノ百分ノ一又ハ二百分ノ一ヲ徵スル程度ノ天然稅ハ、人民ニ苦痛ヲ與ヘ
ル程ノモノデハ無イ。又賣買讓渡ニ伴フ登記手数料ノ如キモ、能ク眼前ノ財政困窮ヲ補救シ得ル
デアラウ。然シ舊政府ノ土地賣買登記稅百分ノ九ト言フ率ハ今日ニ於テハ不可デアアル。賣買ハ常
ニ無ク、而モ登記ハ一律ニ行ハレルカラデアアル。デアルカラ此ノ額ハ輕減シテ、百分ノ三又ハ百
分ノ五トシ、省議會ヲ通過セシメテ今年ハ百分ノ三、明年ハ百分ノ五、其ノ次ノ年ハ百分ノ九ト

言ツタ具合ニ、一ツノ標準ヲ定ムベキデアル。法ヲ以テ之ヲ定ムレバ各人共皆樂シク之ニ從ヒ、後ルルヲ恐ルル如キコトトナルデアラウ。之レ亦一ツノ大ナル收入トナシ得ルシ、救貧ノ一策デモアリ得ル。我が廣東省ガ此等ノ法ヲ採用スレバ貧困ノ憂ヒガ無クナルバカリカ、中央政府ノ徵求ニモ供ヘルコトガ出來、釐金其他ノ雜稅カラモ解放サレル譯デ、一舉數善ト言ヒ得ル。此ノ外ニ全省ヲ測量シテ詳細圖ヲ作り、全省ノ人口調査ヲナスコト等ノ爲ニ要スル巨額ノ費用モ之カラ支出シ得ルデアラウシ、更ニ之ヲ擴張シテ行ケバ、水利、發電、開墾、礦山開掘等ノ事業モ之ニ由ツテ進行シ得ルデアラウ。故ニ余ハ諸君ガ深ク此ノ事ニ意ヲ注ガレンコトヲ熱望スルノデア

十六、重ネテ民生主義ノ實施ヲ論ズ

— 民國元年五月十三日新聞公會主任ニ對スル說明 —

民生問題トシテ、余ハ稅契(土地賣買登記稅)ト地權平均ノ法トヲ主張スル。平均ノ法ハ一、從價納稅ニ、土地國有ノ二ツデアツテ、已ニ記者諸君ニ詳細ニ説明シテ置イタ。只一二ノ記者ハ未ダ深ク地權平均ノ法ヲ知ラズ、之ヲ不可トナシテ累進稅法ヲ主張シテ居ル。凡ソ理論ハ論ズレ

バ愈々明トナルモノデアツテ、其ノ意味カラ余ハ某記者ガ此ノ問題ヲ研究シタコトヲ喜ブ者デア

アル。只彼ノ所謂累進法ハ余ノ謂フ所ノ地權平均法ト同一ナノデア

ルガ、而モ彼ガ余ノ說ヲ不可トナスノハ之レ實ニ二五ヲ乘ズルコトヲ知ツテ、其ノ結果ガ十ニナルコトヲ知ラナイモノデア

ル。蓋シ累進法ハ地價ノ騰貴ニ伴ツテ、稅額ヲ増加スルノデア

ルガ、余ノ所謂地權平均ノ法モ之ト同ジモノデアツテ、一律ニ加稅スルノデハナイノデア

ル。該記者ハ又地稅ノ多少ヲ決定スル爲ニハ、此ノ事ヲ主管スル一ツノ官署ヲ設クベキデア

ルトシテ居ルガ、孰ゾ知ラン英國デハ之ガ爲ニ二ツノ官署ヲ設ケテ居ルノデア

ル。即チ一、地價ヲ決定スルモノニ、定メラレタル地價ヲ不當トナス控訴ニ關スル事務ヲ取扱フモノ、ノ二ツデア

ルガ、而モ尙爭ヒ無キヲ得ナイ。余ノ主張スルノハ自定地價納稅法デア

ルガ、土地國有權ヲ以テ之ヲ制限セントスルモノデア

ル。即チ若シ自定ノ地價ガ低廉ナル場合ハ、國家ガ其ノ土地ヲ買收シテ國有トナスノデア

ル。斯クスレバ必ズシモ制裁ノ爲ノ官署ヲ設クル必要モ無ケ

レバ、人民ガ訴訟ヲ提起スル様ナコトモ無イデア

ラウ。

更ニ又該記者ノ說ニヨレバ、地權平均ノ法ヲ今日實施スルノハ不可ナリトナシテキ

ルガ、余ヲシテ言ハシムレバ今日コソ正ニ之ガ施行ノ最適ノ機會デアツテ、將來ニ至レバ、恐ラク實施シ得

ナイデアラウ。何トナレバ中國ニハ現在尙歐米ノ如キ大資本家ト大地主トガ無イカラ、土地國有ニヨツテ害ヲ受ケル者ガ無イノデアアル。若シ歐米ノ如キ状態ニナツテカラ之ヲ行ハントスレバ、富メル者ハ必ず必死トナツテ之ニ抵抗スルデアラウ。此ノ事ハ歐米ニ於ケル「トラスト」ヲ見テモ解ルコトデアアル。即チ一國ノ需要品ハ皆數個ノ「トラスト」ニ仰ギ、一國內ノ民生權ハ數個ノ「トラスト」ニヨツテ掌握サレテキル。凡ソ物價ハ供給ガ需要ニ過グレバ安ク、需要ガ供給ニ過ギレバ高クナルモノデアアルガ、「トラスト」發生以來物價ハ悉ク高クナツテシマツタ。蓋シ供給過剰ノ如キハ、彼等ハ何等恐レ無イノデアアル。斯ノ如キ世界ヲ經濟的無政府社會ト言フ。石炭鐵等ノ「トラスト」ハ小規模デアアルガ、土地ノ「トラスト」ハ最大ナモノデアアル。故ニ吾人ハ新成ノ民國ニ將來ニ於ケル土地「トラスト」ノ發生ヲ防ガナケレバナラナイ。又斯クスレバ土地モ子孫ニ世襲スルコトヲ得テ、衣食ニ心ヲ用フルニ及バナイデアラウ。偶々考ヘ違ヒヲスル様ナコトガアレバ、ソレガ爲ニ米食虫トナリ、國家ニトツテモ有害ナル存在デシカアリ得ナイダラウコトヲ知ラナケレバナラナイ。

今ヤ世界ノ進歩ハ駸々トシテ止ル所ヲ知ラナイ。而モ「トラスト」ノ如キハ其ノ進歩ノ一段階デアツテ、潮流ノ趨ク所容易ニ免レ難イモノデアアル。茲ニ於テカ衆人ハ當ニ心ヲ潛メテ之ガ弊害ノ防遏ニ努メナケレバナラナイ。今廣東省ニ二十ノ新聞社ガアリ、其ノ各々ガ三萬元ノ資金ヲ有シ、一臺ノ機械ヲ据エ付ケテキルトシテ、其ノ代リニ只一個ノ大ナル機械ヲ据エ付ケレバ、使用人ハ少クナリ資本ハ節約サレ而モ利益ハ必ず多クナリ、總テノ人ガ之ヲ喜ブデアラウ。斯クスレバ、一方之ガ爲メニ罷メタ職工ノ蒙ル損害ガアルト同時ニ他方利益ヲ獲得シ得ル得點ガアル。而シテ若シ斯クシテ得タ利ヲ二十人ニ均分スレバ利ヲ見ズ害ヲモ見ザル理トナリハシナイカ。余ノ提唱スル地權平均ノ法モ、其利ヲ大衆ニ歸セシメ以テ之ヲ「トラスト」ニ歸セシメザラントスルモノデアアル。

十七、地權平均ノ具體的説明

— 民國元年六月九日議員及新聞記者ニ對スル演説 —

現今民國ハ建設ニカヲ注ギツツアルガ、其中最モ重要ナノハ財政デアリ、財政收入ノ中最モ重要ナノハ稅收デアアル。世界ノ學者ハ單稅法ヲ發明シタ。此ノ稅法ハ元、採用シテ可ナルモノデアアルガ、只事改革ニ關スル以上、當ニ大多數輿論ノ贊同ヲ得テ、始メテ着手シ得ルノデアアル。國家ノ稅ニハ種々アリ、稅機關ノ數モ頗ル多ク且ツ繁雜デアツテ、厘金關局等ニ要スル費用モ尠カ

ラザルモノデアリ、之ニヨル流弊モ種々發生シテ居ル。故ニ此際寧ロ土地徵稅法ヲ實施スル方ガ比較的簡單デアル。此ノ方法ガ余ノ所謂地權平均ノ方法ナノデアル。稅法ガ繁雜デアルコトハ民ノ怨ミヲ招キ易イ。滿情ノ入關當時、彼等ハ地丁錢糧(地租、人頭稅、租稅)ノ徵收ヲ決定シタ。其法タルヤ簡單ナモノデアツタガ、民ハ皆之ヲ畏レタ。然ルニ其ノ末年ニ至ツテハ更ニ愈々繁雜ナモノトナツテ了ツタ。

我國ノ習慣ニヨレバ單稅法ヲ喜ビ、只ダ上中下ノ三等ニ分チ、稅率ヲ確定シテキナイ爲ニ、頗ル不公平ナモノトナツテキル。廣東省ノ土地ニ就イテ言フナラバ、長堤ハ一畝ノ地價ガ數萬元デアリ、鄉村ニ於ケル土地一畝ノ地價ハ數百元デアルガ、此等ガ同ジク上稅ヲ納ムルノデアルカラ、頗ル不公平ナ譯デアル。ダカラ寧ロ土地ニ關シテハ從價徵稅法ヲ實施スル方ガ上策デアル。現今世界ニ於テモ此ノ方法ヲ採用シテキル國ガ多イ。英國ノ如キモ先年此ノ案ヲ提案シテ議會ヲ通過シタ。只徵收額ノ多少ハ各國ニヨリ同一デナイ。或モノハ二百四十分ノ一ヲ徵收シ、又或モノハ百分ノ一ヲ徵收シテキル。然シ徵收額ノ多少ニ係ハラズ、從價徵稅法ニヨルコトガ最モ公平デアリ得ルノデアル。革命ハ多數人ノ幸福ノ爲ニ爲サレルモノデアル。夫レガ若シ此點ニ於テ不公平デアツタナラバ、多數人ノ幸福ヲ招來スル目的ハ到達シ得ナイ譯デアル。我ガ民國ハ地廣ク人モ

亦多イカラ、今ニ於テ能ク治理スルナラバ絶大ナル希望ヲ抱キ得ル。然ルニ若シ之ガ根本的解決ヲ爲サナカツタナラバ、到底目的ノ彼岸ニハ到リ得ナイデアラウ。余ハ曾ツテ地權ノ平均ヲ以テ往昔ニ於ケル井田ノ法ナリト爲ス者ノ有ルコトヲ述ベタガ、此說ヲ爲ス者ハ地質ニ高低ガアリ、面積ノミニヨル均分ガ、決シテ公平トハナラナイモノデアルコトヲ知ラナイノデアル。昨日工務司ノ余ニ語ツタ所ニヨレバ、電車ノ敷設計畫ヲ發表スルト、其地方ノ地價ハ非常ニ騰貴スルソウデアル。之ヲ以テ見テ地價ハ社會ノ進歩ニ伴ツテ高騰スルモノデアルコトガ知ラレル。而モ其ノ高騰ニヨル利益ハ少數人ノミガ享受スルノデアル。倫敦紐育等ノ地價ハ其ノ發展以前ニ比スレバ、五六萬倍ニ騰貴シタ。今一人ノ中國人ガ百畝ノ土地ヲ有シ、其ノ地價ハ僅ニ一萬元デアルトシテ、之ガ頓ニ五六百萬元ニ騰貴スレバ、其ノ所有者ハ忽チ大資本家ニナリ、更ニ此ノ資本ヲ聚メテ高價ナ地ヲ壟斷スレバ、竟ニハ社會ノ死命ヲモ制シ得ルニ至ルデアラウ。

又將來ハ資本家ト労働者トノ、二ツノ異ツタ階級ガ出來ルデアラウカラ、今ニシテ之ヲ防ガナケレバ必ズ弊害ヲ醸成スルデアラウ。更ニ一般財政難ヲモ公債ヲ募集スルコトニ依ツテ救済シナケレバナラナイ。借款ノ法ハ一時ノ辨法トシテ結構ナモノデアルカラ、速ニ此ノ方法ニヨル救済

策ヲ講ズル必要ガアル。昨日都督カラ省議會ニ土地買賣讓渡ニ伴フ登記稅徵收法ヲ交付シタガ、惟フニ地稅ノ確定、從價徵稅等ノコトハ單稅法ヲ行フコトナノデアアル。土地ハ自然物デアツテ人爲的ナモノデハ無イカラ、之ニ課稅スルノハ至當デアリ、又之ニヨレバ他ノ一切ノ稅カラ免レ得ルノデアアル。次ニ稅金ハ土地ノ原價ニ對シテ課スノデアツテ、其ノ上ニ築造セラレタ建築等ノ人爲物ノ價格ニ對シテハ課稅シナイノデアアル。デアルカラ此間ニ得ラレル利益ハ一、土地ノ荒廢ヲ免レ二、人工ノ進歩ヲ獎勵シ三、資本案ノ土地襲斷ノ弊ヲモ免レ得ル。

次ニ徵稅額ハ百分ノ一トシ、地價ノ決定ニ當ツテハ國家ハ其ノ決定サレタ價格ニヨツテ、隨時其ノ土地ヲ買收シ得ルテフ一ツノ條件ヲ附シテ、報告價格ヲ低廉ナラシメナイ様ニスルノデアアル。斯様ニスレバ國家ハ必ズ將來種々ナル場合、例ヘバ地方ノ發達ヲ計リ、又ハ省城ヲ擴張シテ種々ナル建設ヲ爲サントスル如キ場合ニモ、其ノ土地ノ買收ニ當ツテ、買取り價格決定ノ煩雜サカラ免レ得ルデアラウ。世界ノ學者ハ多クハ土地ノ國有ヲ主張スル。其理タルヤ誠ニ正大デアツテ、採ツテ以テ實行スルモ可ナリデアルガ、強チ盡クノ土地ヲ國有トスル必要ハ無イノデアツテ、公用ニ供スル必要アル土地ノミヲ國有トスレバ足リルノデアアル。之ニ對シ、國家ガ其土地ヲ買收セ

ントスル場合、地主ハ損害ヲ受クルコトニナルカラ、反對スルデアラウト言フ者ガ有ルガ、余ハソウハ思ハナイ。公平ナ地價ヲ決定シテ置キサヘスレバ、地主トシテハ損失ヲ蒙ラナイバカリカ、却ツテ利益ヲ得ルノデアアル。前述ノ通り工務司ガ電用地ト指定スレバ其ノ地價ハ十倍ニ高騰スルトノコトデアアルガ、此種ノ價格ハ虛價デアルカラ、此ノ虛價ニ依ツテ實利ヲ獲レバ、之ニ越シタコトハナイデハナイカ。又國家トテモ之ヲ公有トシテ置イテ、其地ガ將來幾百千倍ニ高騰スレバ巨額ノ利益ヲ得ル譯デアアル。

以上述べた所ハ民生主義社會主義ノ特色ノ一端デアアルガ、今ニシテ實施シナケレバ後來如何トモ爲シ難キニ至ルデアラウ。地稅ノ徵收ニ至ツテハ國家ガ一大業主トナルモノデアツテ、人民ノ爲ニ國家ガ巨富ヲ所有シ、以テ國利民福ヲ圖ルモノデアアル。英米先進國ノ如キ立憲政治國ニ於テスラ、富人ノミ政治ノ惠澤ニ與リ、貧民ハ關與シ得ナイノデアアルガ、此法ヲ行ヘバ貧富共ニ幸福ヲ享受セザル者無キニ至ルノデアアル。今日政體改革ノ時ニ當ツテ、能ク絶大ナル建設ヲ爲シ得レバ、先ヅ之ヲ廣東ニ於テ爲スベキデアツテ、建設ノ成功ハ政體ノ改革ニ比シテ更ニ遠大ナル事業デアアル。代議士諸君ノ切實ナル討論ト、記者諸士ノ熱心ナル鼓吹トニヨリ、若シ能ク之ガ實現ヲ見得タナラバ只單ニ廣東ノミノ幸福デハナイデアラウ。

十八、民生主義ニ四大綱アリ

— 民國元年十二月十八日杭州國民公所特別歡迎大會ニテ —

余ハ偶々武林ニ到リ、六橋三竺ニ遊ンデ、茲ニ諸君ニ見ユルコトヲ得タノハ、欣幸ニ耐ヘナイ。蓋シ今日ノ日有ルヲ得ル所以ハ、中華民國ノ成立ニヨルモノデアル。指ヲ屈スレバ清帝退位以來已ニ一周年、我四億ノ同胞ハ漸ク雲霧ヲ排シテ青天ヲ見ルコトヲ得タガ、今後ノ事ヲ思ヘバ實ニ程遠シノ感無キヲ得ナイ。破壊ハ容易デアルガ建設ハ煩雜且ツ困難デアル。去歲滿清政府ヲ覆滅シタノハ、一軒ノ腐朽セル家屋ヲ撤壞シタト同様デアル。除舊更新ノ事ハ皆人民各自ノ力ニ待タナケレバナラナイ。然ルニ已ニ一年ヲ經過セル今日、未ダニ新屋ノ落成ヲ見ナイノハ、何故デアルカ。之レ人民ガ共和ノ原理ヲ知ラナイコトニ因ルノデアル。即チ識者ハ固循環觀シ、愚者ハ徒ニ隨波逐流スルニ過ギナイ。國家ハ爾今民ノ所有タルコトヲ諸君ハ、知ラナケレバナラナイ。ソシテ人皆ガ其ノ義務ヲ盡シテ同心協力シタナラバ、將來必ズヤ總テノ人々ガ幸福ヲ享タルニ至ルデアラウ。然ラズシテ今ノ時ニ於テ國基ヲ鞏固ナラシムベク努力シナカッタナラバ、將來ノ幸福ハ決シテ望ミ得ナイノデアル。然ルニ農人野老ハ大義ニ通曉セズ、彼等ノ間ニハ革命後ニ於テハ直

チニ自由トナリ、納税ノ必要モナクナルデアラウト言フ様ナ考ヘヲ持ツテキル者サヘアルガ、夫レデハ中央ノ財政ハ其ノ財源ヲ失フデハナイカ。故ニ此點ニツイテハ各地方々々ニ於テ夫々指導啓發スル必要ガアルノデアル。

次ニ民生主義ニ就テ述ブレバ、之ニハ四ツノ大綱ガアル。即チ資本ニ就イテ述ブレバ、已ニ國內ハ安定シタガ、貧窮ナルコトニ於テ何等以前ト變リハナイ。只幸ナルコトニ我國ニハ未ダ數億ノ巨財ヲ有スル様ナ特別ナ資本家ハ存在シテキナイ。現在デハ政府人民共ニ貧窮デアツテ、資本家ニヨル不平等ノ弊害ハナイ。歐米ニハ已ニ此種弊害ガ存在シテキル。我國ニ於テハ國民ハ富豪ノ壓制ヲ受クル様ナコトハナイカラ、各自ガ自己夫々ノ生活ヲ謀ツテ行ケバヨイ譯デアル。

次ニ土地ニ就テ述ブレバ、土地ハ人ノ生存ニ最重要ナモノデアツテ、飛鳥魚族デ無イ限り、土地ガ無ケレバ生存スルコトハ出來ナイ。往時ノ英國ニ於テハ百餘年ノ間、人民ハ土地ニヨル苦シミヲ受ケタ。夫レハ富メル者ガ廣大ナ土地ヲ私有シ、貧者ノ使用ヲ制限シタカラデアツタ。余ハ昨年南京ノ臨時政府ガ成立スルヤ、先ヅ土地問題ヲ解決セント謀ツタ。國家ノ徵税ノ如キモ地積ニ比例シテ徵收スルノハ不可デアル。上海ニ於ケル英國租界ノ表通りノ如キハ、每畝ノ地價四五十萬元デアルガ、地方ニ於テハ每畝五元カラ十元内外デアツテ、其間相去ルコト雲壤ノ差ガアル

ノデアル。故ニ地價ヲ標準トシテ徵收スルノガ最モ公平デアル。此事ノミデモ實行シ得レバ、民間ニ於テ受クル利益ハ尠カラザルモノガアルダラウ。

次ハ鐵道問題デアル。現今我國ノ鐵道ハ次第ニ敷設サレツツアルガ、元、此ノコトハ大事業デアルカラ、余ハ鐵道ノ國有ヲ主張スル。知ラナイ者ハ營利會社ニ經營セシムベキデアルト考ヘテキルガ、斯クテハ其權利ヲ國家ニ於テ操リ得ナイ嫌ヒガアル。且ツ國ガ民ノモノトナツタ今日ニ於テハ、國有即民有トナルノデアル。之ニ反シ國有トセズシテ、譬ヘバ其ノ省ノ大資本家が該省ノ鐵道ヲ買收シタトスレバ、其ノ資本家ハ此ノ大ナル利權ヲ獨裁シ、商業ヲ壟斷スルニ至ルデアラウシ、之ガ爲ニ國民ノ受クル影響ハ非常ナモノデアラウ。更ニ教育問題ノ如キモ、我國ハ自ラ文物ノ國ト稱シテキルガ、教育ヲ受ケタ男子ハ十分ノ六、女子ニ至ツテ十分ノ三ニ過ギナイ有様デアリ、其間ニハ志有ルモ資力ノ無イ者ガ頗ル多イノデアル。之ハ何故デアアルカト言フニ、國家教育ガ普及シテキナイカラデアアル。

以上種々ナル缺點モ、根本ハ國體ノ全カラザルニヨルノデアツテ、從前ニ於テハ其ノ責任ハ君主ニアツタガ、現在デハ其ノ責ハ人民ニ在ルノデアル。我同胞ハ此間ニ在ツテ須ク三思熟考シ、是トスル所ニ向ツテ大イニ努力シナケレバナラナイ。

十九、建設ハ學問ヲ以テ

— 民國元年嶺南大學ノ歡迎會ニテ —

今日貴校ノ諸君ガ余ノ爲ニ歡迎會ヲ開催サレタコトハ欣謝ニ耐ヘナイ。

多數ノ諸君ガ本校ニ在ツテ勉學ノ道ニ精進サレツツアルノヲ見テ、余ハ頓ニ余ノ少年時代ノコトヲ思出シタ。余ハ幼年ノ頃村塾ニ於テ業ヲ學ビ僅ニ智識ヲ得タニ過ギナカッタガ、其後數年ナラズシテ布哇ニ渡リ、同地ノ西洋人ノ學校ニ入學シ、其ノ教授方法ノ善良ナルコト遙ニ余ノ故郷ノモノニ勝ツテキルコトヲ知ツタ。故ニ余ハ課業ノ餘暇常ニ同國ノ各同窓學生等ト胸中ヲ談ジ、斯クテ余ノ祖國ヲ改良シ、同胞ヲ救ハントスル希願ハ自然余ノ腦裏ニ萌芽スルニ至ツタノデアアル。即チ當時余ハ我が國人ヲシテ皆其ノ苦難ヨリ免レシメ、幸福ナル生活ヲ享受セシメントシタノデアアルガ、其後數年ヲ經テ歸國シ、廣東ノ博濟醫學校ニ入學シ、貴校ノ廖德山等ト共ニ學ビ、僅ニ一年ニシテ又轉ジテ香港ノ雅利士醫學校(ホンコン・メデイカル・スクール)ニ入り、斯クテ五年、醫ヲ以テ救人ノ術トナシタノデアアルガ、其後醫術ヲ以テ救ヒ得ル者ハ或ル限定サレタル範圍ノミデアアルコトヲ思ヒ、其他ノ慈善事業モ同様ナルヲ以テ、最大ナル權力ヲ有スル政治ニヨツ

テ救人ノコトヲ企圖スルニ至ツタ。而シテ政治ノ勢力ヲ以テスレバ大善ヲ爲シ得ルト同様、大惡ヲ爲スコトモ可能デアツテ、我が國民ガ當時艱苦ヲ嘗メツツアツタ原因ハ、皆不良ナル政治ノ爲ナリシニ想到シ、此ノ惡劣ナル政府ヲ鋤去シテ救國救人ノ實績ヲ收メントシ、遂ニ余ノ心中ニ革命思想ガ高潮スルニ至ツタ。惜イ哉、當時ハ附和スル者ガ少ク、前後數年ヲ通ジテ同心協力シ得タ者ハ十人ニ過ギナカッタ。而モ此ノ十人ヲ得テ日々籌畫シ、日々進行シテ怠ラズ、甲午日清ノ役後、政學各界ノ人士ガ憤恚スルヤ、余等ハ此ノ潮流ニ乘ジテ遂ニ廣州ニ舉兵シタ。次デ其ノ失敗後、外國ニ在ツテ畫策シ、屢々蹶起シタガ、昨年八月武漢ニ事ヲ起スヤ、半載ナラズシテ大成功ヲ告グルニ至ツタ。之レ固ヨリ天ノ中國ヲ絶ツヲ欲セザルニヨルモノデアアル。然シ之ヲ以テ余ノ從前ノ希願ノ全部ヲ達シ得タモノナリヤト言フニ、斷ジテ然ラズデアアル。千分ノ一ヲモ未ダ達シ得ナイノデアアル。今日ノ成功ハ余等ノ障礙物タル一ツノ劣惡ナル政府ヲ打倒シ得タニ過ギナイ。然ラバ今後ノ建設萬端ノ事ハ何人ニ待ツテ處理サルベキデアアルカ。此事ヲ爲ス者コソ、諸君等學生デナケレバナラナイ。凡ソ國家ノ強弱ハ其國ノ學生ノ程度ヲ以テ知り得ルモノデアアル。余ハ從前革命ニ力ヲ致シ、讀書向學ノ暇無ク、毎日一二時間ヲ醫術ニ費シ、革命ニ從事シタ時間ハ日々實ニ七八時間ノ多キニ達シタ爲ニ、學業ハ遂ニ荒ビ、今トナツテハ徒ニ春秋ニ乏シキヲ憾ム

ノミデアアル。今學生諸君ヲ見テ羨望ノ念ニ耐ヘズ、益々學問ニ非ザレバ以テ建設スベキ無キヲ思フコト切ナルモノガアル。之ヲ道路ノ開鑿ニ譬フレバ余ハ荆ヲ披キ棘ヲ斬ル者デ、諸君等ハ橋梁ヲ架シ石ヲタタム者デアアルカラ、諸君ノ責任ノ重キコト、遙ニ余ニ過グルモノガアルノデアアル。而シテ肩責ノ道ハ他無シ、勉メテ學問ヲ求メ、道德ヲ琢磨シ、以テ人羣ヲ啓發シ愚者ヲ明ニ、弱者ヲ強ク、苦シム者ハ之ヲシテ樂シマシムレバ足リルノデアアル。生存競争ノ義ハ既ニ舊説トナリ、今ヤ人類ノ進化ハ相互扶助ニヨルベキデアリ、然ラザレバ自存ヲ圖リ難イ状態デアアル。若シ諸君ニシテ力行ノ志ガ有レバ、余ノ初志ハ諸君ニヨツテ達セラレ、共和ノ新國モ亦諸君ニヨツテ存スルデアラウ。之余ガ厚ク諸君ニ望ム所デアアル。

二十、建設ノ二大要務

— 民國元年十一月五日安慶ニ於テ —

現在中華民國ガ成立シ、我が四億ノ同胞ハ世界革命ノ潮流ニ應ジテ同心協力シ、數千年來ノ專制政體ヲ數ヶ月ナラズシテ傾覆シ、共和政體ニ改造スルコトヲ得タ。即チ武漢ノ舉兵ヨリ今日ニ至ル迄、僅ニ一年ニ過ギナイガ、中華民國ハ儼然トシテ完全ニ成立スルニ至ツタノデアアル。之レ

世界革命史上未曾有ノ事デアリ、中華民國革命史ノ一大特色トス可キモノデアル。然シ破壊ノ事ハ終ツタガ、建設ハ漸ク其緒ニ就カントシツツアルニ過ギナイカラ、此際同胞各位ノ同心協力シテ善處サレンコトヲ熱望スル次第デアル。惟フニ建設ノ事ハ次ノ二大事項ニ分チ得ルモノデアル。即チ一ツハ興利、二ハ除害デアル。除クベキ弊害ハ甚多イガ、最モ緊急ナモノハ禁烟デア

ル。現在最眞摯ニ禁烟ニ努メツツアルノハ貴省デアラウ。貴省ノ都督ハ先般阿片ヲ燒燬シタガ、其ノ處置タルヤ眞ニ當ヲ得タモノデアツタ。之ニ對シ英國領事ハ奸商ノ使嗾ヲ受ケ、軍艦二艘ヲ貴省ニ派遣シテ理由無キ干涉ヲナシタガ、貴省都督ノ外交手段ニヨリ無事解決スルコトヲ得タ。之レハ政體ノ改革ニヨリ、人民ノ國家觀念ガ熾烈トナツタ結果デアツテ、清朝時代ト異リ、上下ノ隔テガ無イカラ初メテ此ノ良結果ヲ收メ得タノデアル。余ノ此言ヲ信ジナイ者ハ清朝時代ノコトヲ回憶スルガヨイ。外交ハ一トシテ失敗シナカツタモノハ無イデハナイカ。貴省ノ都督ガ初メ阿片ヲ燒イタ時、人ハ皆貴省ノ爲ニ之ヲ憂ヘタ。清ノ道光年間、林則徐ガ烟土ヲ燒却シタタメ、大禍ヲ醸起シタ事ニ想到シタカラデアル。然シ之レハ中華民國官吏ト清朝官吏トノ差異ヲ知ラナイモノデアル。清朝官吏ノ烟土燒却ハ、條約ニ根據セズ、公理ヲ知ラナイ野蠻ナ行動デアツテ、當

時ハ人心離散シ、政府ハ官吏ヲ顧ミズ、官吏ハ人民ヲ顧ミズ、人民モ亦國家ノ何物タルカラ知ラナイ様ナ狀態デアツタ。此ノ故ニ外交モ失敗シタノデアルガ、現在中華民國ニ在ツテハ、人民官吏政府共ニ皆其ノ痛癢ヲ感ズル點ニ於テ相關干係ヲ有シ、且ツ貴省都督ノ阿片燒燬モ條約ニ根據ヲ有スルモノデアツタ爲ニ、其ノ外交ハ失敗スルニ至ラナカツタノデアル。實ニ貴省ノ禁烟方法ハ各省ノ模範トスルニ足ルモノデアル。

利ヲ興ス可キ事モ亦頗ル多イガ、最モ重要ナモノヲ舉グレバ、鐵道ノ敷設、礦物ノ採掘、農業ノ振興、工藝ノ改良等ノ數項デアル。更ニ實業ヲ發達セシメントセバ、門戶開放主義ヲ採擇スベキデアル。何ヲ以テ門戶開放主義ト呼ブカ。之レハ外國人ガ我が中國ニ來ツテ工商等ノ各業ニ從事スルコトヲ許可スルコトデアル。余ガ斯ク論ズレバ知ラナイ者ハ必ズ疑惑ヲ感ジ、我が中國ノ土地ニ何故ニ外國人ノ自由進出ヲ許可スルノカト疑フデアラウ。此等ノ主張ハ名付ケテ閉關主義ト呼ブモノデアツテ、清朝ノ利用シタモノデアル。滿洲政府ノ專制治下ニ於テハ、其ノ政府ハ人民ガ國家思想ヲ有スルニ至ルコトヲ最モ怕レ、滿廷永遠ノ存立ヲ確保センガ爲ニ、閉關主義ヲ採用シテ外人ノ入國ヲ許可セズ、人民ニ一國即天下ナル思想ヲ抱有セシメテ、自然國家觀念ノ發生ヲ防ギ、皇帝ノ地位ニ對シテ何人モ干渉セザラシメントシタ。其後外人ハ中國ニ來ツテ通商シ、

商埠ヲ闢キ、租界ヲ劃定スルニ至ツタガ、此等ハ決シテ清政府ガ歡迎シタカラデハナク、外國人ガ強迫シタ結果デアアル。然ルニ現在中華民國ノ國民ハ皆國家思想ヲ有シ、同心協力シテ領土ノ保全ト主權ノ擁護トニ當リツツアルカラ、外人ノ入國ハ何等ノ支障ヲ來サナイノデアアル。況ンヤ開放主義ハ中國ノ古代ニ於テ既ニ實行サレタモノデアツテ、唐ノ最盛時代、各外國ハ數萬ノ留學生ヲ中國ニ派遣シテ求學セシメ、伊太利、土耳其、波斯、日本等ハ皆此ノ類デアツタ。其ノ當時、外國人デ中國ニ來ル者ニ對シテ、中國人ハ決シテ反對シナカッタ。即チ文明ノ最高潮ニ在ツタ當時ノ中國ハ、上下皆開放主義ノ有利無弊ナルコトヲ知ツテキタノデアアル。現在中華民國ハ清朝ヲ覆シテ改メテ共和政體トナツタ。ソシテ共和政體ハ地球上ニ於ケル第一最良ノ政體ト言フベキモノデアアルカラ、我々ハ實ニ幸福デアアルト言ハナケレバナラナイ。只諸君ハ革命事業ガ未ダ完成サレテキナイコトヲ知ラナケレバナラナイ。現在已ニ全國民ガ幸福ヲ享受シ得テキルデアラウカ。眼ヲ海内ニ致セバ、働クニ職無ク、飢寒交々迫ル如キ同胞ガ到ル處ニ滿チテキルデハナイカ。吾人ハ彼等ヲ顧ミズシテ只自己ノ幸福ノミヲ冀フニ忍ビナイ。彼等ヲ放置シテ自己ノ幸福ヲノミ圖ルガ如キ事ハ到底長ク續キ得ナイコトデアツテ、永ク文明ノ利澤ヲ享ケントセバ、必ズ先ヅ全國ノ總テノ同胞ニ恆業ヲ與へ、飢寒ニ號泣スル者ヲ救助シナケレバナラナイ。而シテ此ノ目的ヲ達セ

ントセバ鐵道ノ敷設、礦山ノ採掘、農林商工ノ振興等ノ各大事業ヲ實施シナケレバナラナイ。ソシテ此等ノ大事業ヲ爲サントセバ、必ズ先ヅ偉大ナル度量ヲ以テ、意見ナル二字ヲ抹殺銷滅セシメナケレバナラナイ。

諸君試ニ看ヨ。日本ハ其ノ國土ハ我が中國ノ二省ノ大サニ過ギズ、人口モ我が中國ノ二省ト大差ナク、四十年前迄ハ只一個ノ最小、最窮、最弱ナル國家ニ過ギナカッタ。然ルニ明治維新後、四十年間ニシテ、儼然列強ト稱セラルルニ至ツタ。全世界ニ能ク列強ト稱セラルルモノハ六七ヶ國ニ過ギナイ。而モ日本ガ此等六七ヶ國中ノ一國トナリ得タノデアアル。彼等ハ果シテ如何ナル方法ヲ用ヒテ此ノ結果ヲ收メ得タカト言フニ、之レ他無シ、門戶開放主義ヲ採用シタノデアアル。我が中華民國ノ國土ハ日本ニ二十倍シ、人口モ亦其ノ二十倍ニ達シテキル。今若シ日本ノ方法ニ倣ヒ、開放主義ヲ採用シタラバ、數年ナラズシテ我國ハ日本ニ十倍スル富強ヲ致シ得ルデアラウ。又我が中國ハ古ク四千餘年ノ文明ヲ有シ、人民モ四千餘年來ノ道德ト教育トヲ受ケテキル。即チ固有ノ道德ト文明トヲ以テスレバ、我が國人ハ外國人ニ比シテ、一日ノ長アリト言ヒ得ルノデアアルガ、物質文明ニ至ツテハ惜イ哉、外國人ニ及バナイ點ガ多々アルノデアアル。農工等ノ各實業皆然リデアツテ、兵器ノ如キモ、我國ニ於テ從來使用シ來ツタ弓箭刀槍等ハ皆現代ノ戰爭

ニハ用ヒ得ナイモノノミデアアル。試ニ問フ。現時ノ戰ニ外國ノ銃器大砲等ヲ使用セズシテ勝利ヲ望ミ得ルヤ否ヤ。吾人ハ既ニ西法ヲ採用シタ以上、外國人ノオヲ借用セザル能ハザルモノデアアル。若シ他國ノ人才ヲ借用シナイトスレバ、我が中國ハ先ヅ十萬ノ留學生ヲ各國ニ派遣スル必要ガアル。而シテ彼等ハ少クトモ十箇年間留學スルヲ要シ、然ル後初メテ歸國後各種ノ建設事業ニ當リ得ルデアラウ。然ラバ現在我國ガ此ノ十萬人ノ留學ニ用ユル經費ヲ支出シ得ルヤ否ヤ、十ケ年後始メテ之ヲ開始シテ不可無キヤ否ヤ。既ニ經費ヲ支出シ得ズ、十ケ年間待チ得ザルモノナレバ、吾人ハ開放主義ノ採用ヲ以テ、至上ノ方法ナリトセザルヲ得ナイデハナイカ。

吾人ガ中國ニ於テ事業ヲ興サウト思ヘバ資本ガ無ケレバ外資ヲ借り、人才ガ無ケレバ外國ノ人オヲ用ヒ、我國ノ方法ニシテ不可ナレバ、外國ノ方法ヲ用ヒナケレバナラナイ。物質文明ニ關スル限り、外國ハ二三百年ノ工夫ヲ積ンデ漸ク今日ノ結果ヲ得タモノデアツテ、吾人ガ彼等ノ文明ヲ採用シタ結果ノ便不便ハ各人周知ノ事デアアル。斯様ニスレバ我國ノ物質文明モ、數年ヲ出デズシテ外國ト並駕齊驅シ得ルニ至ルデアラウ。ソシテ我國ノ精神文明ハ遙ニ外國人ニ優レテキルノデアルカラ、結果トシテ東西各國ニ比シテ其ノ數倍ノ文明ヲ有スルニ至ルコトハ不可能デハ無イノデアアル。ソシテ其時コソ我が中國ガ列強ノ一タリ得ルノミナラズ、其等列強ノ上ニ駕シ得ル時

デアリ、又我が中華民國ノ國民ガ永遠ニ真正ノ自由ト文明トノ福祉ヲ享受シ得ル時ナノデアアル。此ノ大事業タルヤ、決シテ少數人ノ責任デハ無イ。我が四億ノ同胞ガ同心協力シテ負擔スルコトニヨツテ、始メテ圓滿ニ之ガ目的ヲ達シ得ルノデアアル。

二十一、洪門會ノ歴史

：中國同志職業社ノ歡迎會ニテ

洪門會ヲ設ケタ原因ハ國ノ仇ヲ復スルニ在ツタ。今ヨリ二百年前ニ設立サレタモノデアツテ、之ガ實ニ革命ノ導線トナツタノデアアル。然シ現在漢族ハ既ニ其ノ政權ヲ回復シタノデアルカラ、今ヤ其ノ會ノ方針ヲ改メ、韃虜ノ政府ヲ仇敵視スル心ヲ遷シ、化シテ我が民國政府ヲ助クルノ力トナスベキデアアル。我レ既ニ國ヲ愛スレバ國亦必ズ我ヲ愛スルニ至ルデアラウ。斯テ上下一心、永ク幸福ヲ享ケ得ルニ至レバ、之コソ自立ノ眞諦デアアル。

洪門會ハ會テ韃虜ノ監視下ニ置カレテアツタ爲ニ、其ノ命令、聯絡等ハ皆秘密ニ附セラレテキタガ、今ヤ既ニ大同ノ治遍キ共和ノ國トナツタカラ、必シモ秘密ヲ守ルヲ要シナイ。故ニ寧ロ従前ノ規約ヲ公布シテ局外者ノ猜忌ヲ去ル方ガ上策デアアル。

人ハ自重ヲ貴ブモノデアル。ソシテ國ニ法ガ無ケレバ立チ行キ難イコトヲ知ラナケレバナラナイ。故ニ法ヲ犯ス者ガアレバ、政府ハ當然法ヲ以テ之ヲ懲罰スベキデアル。但シ法ノ許ス範圍内ニ於テハ、自ラ此ノ禍カラ免レ得ルデアラウ。之レ相安ノ理デアル。

人ハ取捨選擇ノ法ヲ知ラナケレバナラナイ。譬ヘバ岸ヲ離レタ船ガ彼岸ニ達シタ際ハ、急イデ岸ニ登リ、自己ノ行クベキ道ヲ明カニスベキデアツテ、依然船中ニ留ルコトハ、水難ニヨル危険ヲ冒スコトデアル。故ニ今日ノ大衆ハ、當ニ憂國ノ國民タランコトニ勉ムベキデアル。

一二十一、女子教育ノ重要性

— 民國元年廣東女子師範第二校ニ於テ —

今日廣東女子師範第二校ガ、會ヲ開イテ余ノ來校ヲ歡迎サレタコトハ余ノ感謝スル所デア
ル。

余ハ本校ノ教育ニ對シテハ衷心贊意ヲ表スル者デアル。只一言茲ニ諸君ニ告ゲ度イコトガアル。現在中華民國ガ成立シ、萬般ノ事業ハ始メテ其緒ニ就キ、國民ハ均シク自由平等ノ權利ヲ有シ、人皆正大ナル希望ヲ抱イテキルノデアアルガ、此ノ時ニ當ツテ國民ニ最も重要ナモノハ人格デ

アルト言フコトヲ、諸君ハ強記シテ置カネバナラナイ。我が中國ノ人民ハ數千年ノ間專制政治ノ下ニ置カレ、殊ニ此ノ二百六十餘年間ハ異族ノ統治下ニ置カレテキタ爲ニ、其ノ人格ヲ喪失スルコト既ニ久シキニ互ツテキタノデアアル。今日其ノ喪ハレタ人格ヲ回復セントセバ、第一條件トシテ先ヅ教育ヨリ初ムル必要ガアル、即チ中國四億ノ同胞ガ皆教育ヲ受ケナケレバナラナイノデアアル。ソシテ此ノ事ヲ實現セントセバ、必ズ師範教育ヲ重ンジナケレバナラナイ。之レ師範學校ヲ至急開設スル必要ノ存スル所以デアアルガ、就中女子師範ハ殊ニ重要デアル。今諸君ガ此ノ學校ヲ發起サレタ事ハ誠ニ時宜ニ適シタコトト言ハナケレバナラナイ。中國ニハ二億ノ女子ガアルガ、從來女子教育ニハ多ク注意ヲ拂ハナカッタ爲ニ、學問アル者ハ至ツテ少數デアル。此點ヨリスルモ余ハ女子教育ノ重要ナルコトヲ主張スル者デアアルガ、諸君ハ既ニ此ノ女子師範第二校ヲ開設サレ、現在生徒數百七〇名ニ達シテキルノデアアル。將來此ノ百數十名ガ各々教育ノ事ヲ擔任スルニ於テハ、希望甚大ナリト言ヒ得ルデアラウ。只學識有リテ初メテ教育ヲ擔當シ得ルモノデア
ツテ、學生ハ常ニ教師ノ進退ヲ見テ之ニ私淑スルモノデアアルカラ、教師ノ責任タルヤ頗ル大デア
ル。余ガ今日諸君ニ望ム所ハ謹慎小心以テ模範國民ノ養成ニ當ラレンコトデアアル。斯クスレバ教
育ノ振興モ期シテ待チ得ベク、教育ガ興レバ男女平等ナル權利ヲモ望ミ得ルデアラウ。男女平等

ナルヲ得テ後、始メテ眞ノ共和國ノ成長ヲモ望ミ得ルノデアル。只現在猶軍政時代ニアルカラ、宜シク上下一心、政府ヲ助ケテ教育ノ基礎ヲ鞏固ナラシメネバナライ。余ハ諸君ガ之ガ爲ニ大イニ努力サレンコトヲ深ク望ムモノデアル。

二十三、地價徵稅問題

—廣州ノ行政員ニ對スル講演—

本日諸君ノ來集ヲ願ツタノハ地價徵稅問題ヲ研究センガ爲デアル。今ヤ我が中華民國ガ成立シタガ、其ノ建設ノ初メニ當リ、財政ノ整理ハ最モ急ヲ要スルモノノ一ツデアル。外國ニハ一種ノ單稅法ガアルガ、之ハ我國ニ於テ採用スルニ最モ適シタモノデアル。即チ地價ノ高低ニ據ツテ徵稅額ノ多少ヲ決定スルノデアツテ、方法ガ至ツテ簡單デアリ、嘗テ一度試行シタ時ノ成績ニ徵シテモ、頗ル便利ナモノデアル。然シ此ノ方法ニヨルニシテモ、只上中下ノ三則ニ分ツノミデハ公平ヲ期シ得ナイ。城鎮ト村落トノ納稅額ノ差ハ左程大キクナイガ、地價ニハ數倍ノ相違ガ有ルカラデアル。此點若シ地價徵稅法ヲ實施スレバ、其ノ不公平ヲ除キ得ルデアラウ。英國所屬ノ某領デハ、既ニ此ノ方法ヲ實行シテ實績ヲ擧ゲツツアル。此ノ徵稅方法ハ地價ノ百分ノ二、又ハ百分

ノ一ヲ徵收スルモノデアツテ、他日省會ノ議決ヲ經タ後、實施シヨウト言フノデアル。ソシテ地價ノ高低ハ、地主ヲシテ各自其ノ多寡ヲ報告セシムルノデアツテ、若シ彼ガ高價ナ地價ヲ低廉ナモノトシテ報告シタ場合ハ、豫メ省會ニ於テ一定ノ條件ヲ定メテ置キ、國家ガ鐵道ヲ敷設シ、道路ヲ開鑿シ又ハ大工場ヲ建設スル様ナ場合、隨時其ノ土地ヲ買收シテ國有ト爲シ得ルモノトシテ置ケバ、斯ノ如キ弊害ハ免レ得ルデアラウ。更ニ又此等ノ地稅ヲ徵收スレバ、雜稅ヲ徵收スル必要ガ無クナルノデアル。即チ自然物タル土地ニ對スル稅金ヲノミ徵收シ、人爲物タル建築物等ニ對スル稅金ハ、一切免除スル旨ヲ聲明スルノデアツテ、之レ實ニ地權平均ノ一方法ナノデアル。今ニ及ンデ之ヲ圖ラナケレバ、他日物質文明ガ進ムニ伴レテ、富メル者ハ愈々富ミ、貧シキ者ハ愈々貧シクナリ、其ノ害ハ止ル所ヲ知ラズ、外國ニ見ル如ク、土地ノ所有權ハ全ク少數大資本家ノ操ル所トナツテ、勢必ズ資本專制ヲ現前シ、其害ハ君主專制ヨリモ遙カニ甚シイモノトナルデアラウ。

聞ク所ニ據レバ、都督ハ舊地券取り換ヘノ議案ヲ省會ニ交付シテ、其ノ議決ヲ經タトノ事デアルガ、余ハ深ク此點諸君ニ感服スル者デアツテ、諸君等ノ此ノ行爲ハ國利民福ニ關係スルコト絶大デアリ、之ヲ破壞ノ功ニ較ベテ更ニ大且ツ偉ナルモノデアル。斯ノ如クンバ財政問題モ必ズヤ

解決シ得ルニ至ルデアラウ。

此ノ地稅問題ハ、國利民福ニ關係スルコト尠カラザルモノデアリ、省會ガ能ク此ノ問題ヲ解決シ得レバ、其ノ功績ハ不朽ノモノト言ヒ得ルデアラウ。之ニ對シ政府ニ些少ノ意見ガアツテモ、夫レハ何等意ニ介スルニ足ラナイ。立法ノ權限ハ誰ガ之ヲ與ヘタノデアアルカ。公理ニ從ツテ求メ得タモノデハナイカ。革命黨ノ權利ハ誰ガ之ヲ與ヘタノデアアルカ。少數人ガ其ノ生命ヲ犠牲ニシテ、公理ニ準ジテ求メ得タモノデハナイカ。曾テ省會ガ約法ノ宣布ヲ申請シタニ對シ、中央政府ニ約法取消ノ議ガアツタ爲ニ、遂ニ宣布スルニ到ラズ、省會ハ中央ニ電請シ、更ニ代表ヲ派遣シ入京セシメテ之ヲ争ツタ由デアルガ、現在中央政府ハ各省約法取消ノコトヲ決定シ、既ニ之ガ明文トナツテキルカラ、政府ノ此ノ舉ハ可ナルガ如クデアアルガ、必ズシモ然ラザルモノデアツテ、斯ル場合ハ寧ロ規定ニヨラズシテ、公理ニ從ツテ解決スベキデアアル。

本省ノ各代議士ガ果シテ能ク毅然トシテ此ノ地稅問題ノ解決ニ旺進シ、輿論ノ攻撃ヲ顧ミズシテ其ノ目的ヲ達シ得タナラバ、我が廣東省ガ一ツノ模範省トナルノハ勿論ノコト、我が省三千萬ノ同胞ハ諸君等省代議士ヲ崇拜シ、我國四億ノ同胞モ亦必ズ諸君ヲ崇拜シ、稱シテ英雄聖人トナスデアラウ。諸君ハ須ク輿論ノ可否ニ拘泥セズ、公理ニ從ツテ旺進シナケレバナラナイ。諸君等

各代議士ノ奮闘ヲ望ム。

二十四、地方自治ト責任觀念

—潮州ノ歡迎會ニテ—

當地ガ本日歡迎會ヲ開キ、余ノ爲ニ余ト潮州ノ父老兄弟ト一室ニ聚リ、共ニ現在世界ノ各般ノ情況ヲ談ズル機會ヲ與ヘラレタコトハ、余ノ欣幸トスル所デアアル。

我が中華民國ハ久シク專制ノ橫暴ニ苦シミ、異族ノ統治下ニ呻吟シテキタノデアアルガ、今日民國ノ成立ヲ見ルニ至ツタコトハ、眞ニ吾人ノ大幸トスベキコトデアアル。只革命ノ進行中ニ於ケル社會秩序ノ紊亂ト、經戰地方ニ於ケル破壞トハ不可避ノ事デアリ、如何トモナシ難イコトデアアルガ、之ヲ歷朝ノソレニ比較スレバ、頗ル僅少ナ犠牲デアツテ、殊ニ廣東ノ光復ニ當ツテ蒙ツタ禍害ハ最少ノモノデアツタ。

加フルニ過去ノ都督、現在ノ都督共ニ治ヲ圖ルノ心アリ、隨ツテ風平カニ浪靜カナル狀態デアアル。只各州縣ニ至ツテハ今猶安靜デナイモノガ多ク、殊ニ潮州ノ擾亂ハ頗ル甚シイモノデアアルガ、之亦革命所經ノ一過程デアツテ、怪シムニ足リナイモノデアアル。

只余ガ今日潮州ノ父老兄弟ニ希望スルコトハ、依頼心ヲ起サズ、能ク責任觀念ヲ抱持サレシコトデアル。即チ各人皆國家ト社會トガ自己ト他己トノ共同組織ニ成ルモノナルコトヲ意識シ、國家社會ノ事ハ各自自己ノ分内ノ事ナルヲ知り、時トシテハ國家社會ヲ裨益センガタメニ、自己一身ノ利益ヲ犠牲ニシテモ惜マナイ覺悟ガナケレバナラナイ。斯テコソ國家社會ハ始メテ能ク日進月歩スルコトヲ得ルデアラウ。一國ノ治ハ地方ノ治ヲ以テ其ノ根底トスルモノデアアル。此ノ故ニ諸君ハ地方ノ自治組織ニ對シテ、勉メテ之ヲ贊助シ之ヲ提唱シ、以テ地方自治ノ發達ヲ圖リ、惹イテハ一省政治ノ進歩ヲ期スベキデアアル。更ニ之ヲ推シテ國家ニ及ボセバ、中國ハ日ニ強盛ニ赴キ、地球上ニ於テ能ク列強ト並駕シ得ルニ至ルデアラウ。願クバ我が父老昆弟之ヲ勉メヨ。

二十五、實業ノ振興、ト鐵道計畫

— 民立報ノ記者ニ —

我國ノ近時ノ現象ニ對シテ、世人ハ皆暗ニ人才ノ缺乏ト協力一致ノ不可能トニ起因スルモノデアルト爲シテキルガ、余ヲシテ言ハシムレバ決シテ左様ナコトデハナイ。現在政府、議會及各地ノ政界、軍界ハ共ニ人才ニ乏シクナク、我が民國ヲ安泰ナラシムルベク充分ノ人才ガ有ルノデア

ルガ、其ノ間相互ノ意見ガ紛岐シ、何等實績ヲ擧ゲ得ナイ所以ハ、經濟問題ガ其ノ根底ニ横ハツテ居ル爲デアツテ、之ガ直接間接ニ種々ノ困難ナル事態ヲ發生セシムルノデアアル。即チ此種困難ニ因ツテ不一致ヲ來シ、不一致ノ結果ハ互ニ惡罵ヲ交スコトトナリ、之ガ局外ニ迄波及シテ全局面ノ恐怖ヲ醸成シ、遂ニハ最近ノ如キ不穩ナル現象ニ迄進展スルノデアアル。而モ此等ハ其ノ實誤解ニ端ヲ發スルモノガ多イ。故ニ經濟問題ヲ解決シナケレバ我國ニ於ケル協力一致ノ實ハ擧ゲ得ナイデアラウ。而シテ經濟問題ガ急迫セル場合ハ、應々ニシテ本ヲ捨テテ末ヲ圖ルノ弊ニ陥ルモノデアアル。之レ根本的對策ヲ講ゼントスレバ、容易ニ眼前ノ效果ヲ擧ゲ得ナイニ引換ヘ、問題ノ末葉タル彌縫策ヲ講ズレバ急場ニ應ジ得ルガ爲デアツテ、如何トモ爲シ難イ現象デアアルガ、事實ハ本末共ニスルニ非ザレバ、到底永ク手足寬閒ノ日ヲ持チ得ナイモノデアツテ、單ナル彌縫策ハ必ズ次第二窮地ニ陥ルモノデアアル。現在ノ我が政府ノ地位ハ日夜逼迫シ、僅ニ末法ヲ用ヒテ急ニ應ジテキル、實ニ憫ムベキ状態デアアル。從ツテ吾人ガ悠然ト民間ニ處シテ是非ノ論ヲ爲スガ如キハ、譬ヘ之ヲ言フテ理ヲ成スモ、全ク隔靴搔痒ノ感アルヲ免レ得ナイモノデアアル。

我國ノ輿論トシテハ、刻下ノ急ヲ救フ根本的ニシテ且ツ唯一ナル方策ハ、實業ニヨル外ナイトナシテキルガ、彼等ノ此説タルヤ、恰モ馬ニ乗ツテ馬ヲ探ス如キモノデアツテ、何等自ラガ實業

ニ對シテ十分ナル注意ヲ拂フコト無ク、一意如何トモ爲シ得ザル政府ニ依頼セントスルガ如キ彼等ノ態度ハ、自己ノ地位ト使命トヲ没却スルモノデアル。所謂實業振興ノ主旨ハ、暗ニ我が政府ヲ援助シテ窮境ヲ脱セシメ、他面國民ノ實業ノ發展ヲ助長シ、斯クテ本末並ビ舉リ、相互相救ヒ、所謂官民協力ノ實ヲ擧ゲントスルモノデアリ、先ヅ必然ノ順序トシテ民生ニ重心ヲ置キ、之ヨリ漸次進行實施セントスルモノデアル。實業ノ範圍ハ甚廣ク、農工商鑛共ニ振興セザル可ラザルモノデアツテ、何レカノ一方ニ偏スルコトハ不可デアアル。而シテ之ガ爲ノ第一條件トシテ必要ナモノハ資本デアリ、其ノ進行ヲ助クル上ニ於テ不可缺ナモノハ、究局ニ於テ交通デナケレバナラナイ。資本ノ籌畫ニハ、銀行財團等ニテ之ニ當ラントスル者無キニシモアラズダガ、交通ヲ談ジ交通ヲ論ズル者ニ至ツテハ、餘リ多クナク、殊ニ交通事業中最モ重要ナモノガ鐵道デアアルコトヲ、熱心ニ主張スル者ハ極メテ少數デアアル。曾ツテノ鐵道事業界ニ於ケル擾亂ノ後ヲ受ケ、此種事業ニ對シテ倦厭タルモノガアルノハ、蓋シ理ノ當然デアラウ。

然ルニ鐵道問題ヲ冷淡視シ、之ヲ實業部門中區々タル一少部分ヲ占ムルモノナリトスルノハ安當デナイ。鐵道ガ無ケレバ運輸ノ方法ガ無ク、立ロニ實業ハ衰微シ其ノ振興ヲ圖ラントシテモ、如何トモ爲シ得ナイデアラウ。故ニ交通ハ實業ノ母デアリ、鐵道ハ交通ノ母デアツテ、國家ノ貧富ハ鐵道ノ多少ヲ以テ之ヲ定メ得ルモノデアリ、地方ノ苦樂ハ鐵道ノ遠近ヲ以テ計リ得ルモノデアアル。余不敏ニシテ見識亦淺薄デアアルガ、二十年來各地ニ至ル毎ニ、直ニ其ノ地ノ地圖ヲ購入スルヲ常トシタ。之ニハ種々ナ目的ト用意ガアツタデアアルガ、殊ニ此等ノ地圖ヲ通ジテ世界各國ノ鐵道ヲ比較スルコトニ留意シ、又斯クスルコトニ興味ヲ感ジタ。戊戌政變以前、國內デ鐵道ノ利ヲ知ル者ハ多クツタガ、率先シテ國內重要幹線ノ敷設ヲ謀ル者ハ少ナカッタノデ、余ハ先ヅ學生用ノ中國地圖ヲ繪キ、之ニ國內ノ幹線ヲ記入シタ。之ガ幸ヒ時人ノ耳目ヲ變改スルニ小效ヲ奏シ、爾來世人ハ京漢、津浦、粵漢、川漢等ノ幹線問題ヲ重要視スルニ至ツタ。

只ダ前記ノ如キ狹隘ナル計畫ハ、愚弱ナル前清政府ノ下ニ於テハ聊カ以テ自ラ慰ムルニ足ルモノデアアルガ、現今ニ於テハ、更ニ全局ニ互ル大幹線ヲ籌畫シテコソ、始メテ完全強固ニシテ而モ捷速ナル斯業ノ振興ヲ望ミ得ルノデアアル。余ヲシテ之ヲ策セシムレバ、全國ノ眞ノ幹線トシテ敷設スベキモノハ次ノ三路デアアル。

(一) 南路

南海ニ起リ廣東ヨリ廣西、貴州ヲ經、雲南、四川ノ間ヲ走り、通ジテ西藏ニ入り、繞ツテ天山ノ南ニ至ルモノ。

(二) 中路

揚子江口ニ起リ、江蘇ヨリ安徽、河南、陝西、甘肅ヲ經テ、超エテ新疆ノ伊犁ニ至ルモノ。

(三) 北路

秦皇島ニ起リ、遼東ヲ繞ツテ折レテ蒙古ニ入り、外蒙ヲ貫通シテ烏梁海ニ達スルモノ。

論者ハ必ズ北路ニ對シテ最モ難色ガアルデアラウ。即チ張家口ヨリ庫倫ニ達セシムルヲ至當トナスデアラウガ、北路ハ急ヲ要スルモノデアツテ、邊圍ヲ鞏固ナラシムル要道デアリ、荒地ヲ開キ拓殖移民シテ利源ヲ開發スル重要任務ヲ有スルモノデアツテ、張庫間ノ聯絡線路モ當然之ト同時ニ敷設サル可キモノデアアルガ、之ハ結局露國ニ連絡スル線路デアリ、他人ノ籬下ニ依ル線路ニ過ギナイ。トコロデ前記三線ノ着手順序ハ、夫々緩急ヲ斟酌シテ決定スベキモノデアアルガ、之ハ今此ノ場ニ於テハ論ジ得ナイカラ、此種比較ノ論ハ暫ク擱イテ間ハナイコトニスル。只余ハ此種政策ハ決シテ困難デハナイト信ズルモノデアアル。此ノ計畫ニ付イテハ余ハ既ニ詳細ニ三思熟考シタガ、今其ノ悉クヲ語ル暇ヲ持タナイ。以上簡單ニ述ベタ爲ニ誤解サレタ點モアルデアラウガ、後日暇ヲ得タナラバ之ニツイテ更ニ詳言スルデアラウ。

只余ガ一般國民ノ注意ヲ喚起シタイコトハ、實業ヲ振興セントセバ先ヅ交通ヲ重要視スベキデ

アリ、交通計畫ヲ樹立セントセバ先ヅ鐵道ヲ重要視スベキデアリ、鐵道ノ敷設ニハ幹線ノ敷設ヲ第一トシ、且ツ交通ノ硬塞ヲ打開スルニ足ル幹線ノ敷設ヲ最重要トナスモノデアルト言フコトデアアル。蓋シ僻遠ナル地方ノ幹線敷設工事ガ興ルニ於テハ、交通ノ便ヲ尙ブ内部各地ノ幹線ハ、企業トシテモ危險率ガ少イ爲、必ズ投資シテ之ガ敷設ニ當ラウトスル者ガ多數輩出スルデアラウ。故ニ吾人ハ眼孔ヲ大ニシ、進ンデ寧ロ困難ナル方面ニ全力ヲ注ガントスルモノデアアル。之レハ管ニ四面包圍ノ計畫デアアルノミデナク、全國民ヲ促シテ内部線ノ敷設計畫ヲモ實現セシムルモノデアリ、難ヨリシテ易ニ至ルモノデアアル。

更ニ又投資ハ寧ロ荒僻ノ地ニシタ場合ノ方ガ、ヨリ多クノ效果ヲ舉ゲ得ルモノデアリ、荒僻ノ地ハ又以テ移民ヲモナシ得ルモノデアツテ、之ハ世界公認ノ理デアアル。我國ノ様ニ人口ノ多イ國ハナイノデアアルガ、此ノ人口ヲ單ニ本部ニノミ收容スルニ於テハ、譬へ交通ガ便利トナツテモ、恐ラク衣食ノ問題ハ依然困難ナルヲ免レ得ナイデアラウ。現今世界ノ各國ガ皇々然トシテ日夜思籌ヲ運グラシ、全國ノ財力ヲ傾ケテ軍備ノ擴張ヲナシツツアル所以ハ、皆殖民地ノ開闢ガ其ノ一原因ヲナシテキルノデアアル。然ルニ我國ガ殖民ニ適スル地ヲ有シ乍ラ、擱イテ經營スルコトヲ知ラナイノハ、貧患ノ國ヲ以テシテ自ら求メテ其ノ困窮ノ度ヲ重ヌルモノデアツテ、實ニ大愚不靈

ト言フベキデアル。

二一十六、本黨ノ同志ハ應ニ建設ニ努力スベシ

一 民國二年一月上海國民黨交通部懇親會ニテ

本日我黨ノ諸君ト共ニ懇親大會ヲ開催シ得タコトハ、余ノ欣幸トスル所デアル。今ヤ民國成立第二年ヲ迎ヘ、國基初メテ定マリ、各般ノ政務亦着々其緒ニ就キツツアル折柄、今後ノ興衰強弱ノ責ハ繫ツテ國民ノ代表タル政黨ノ上ニ在ルノデアル。即チ各政黨ハ一般ノ優秀ナル人物ヲ集メテ組織シ、一定ノ政見ヲ持シテ國內ニ於テ活動スルモノデアラカラ、其ノ國家ノ政治ニ及ス影響ハ至遠且ツ至大デアル。只政黨ガ其ノ尊嚴ナル地位ヲ保持シ、利國福民ノ目的ヲ達セントスルナラバ、其ノ政綱ガ當ニ時勢ノ要求ニ應ジ世界ノ公理ニ合スルモノナルコトヲ要スルハ勿論デアアルガ、政黨自身ノ道德ハ更ニ最モ重要デアリ、之有ツテ初メテ社會ノ信用ヲ持續シ得ルノデアル。此點各文明國ノ政黨ノ歴史ニ徴スルモ皆然リデアル。

我方國民黨ハ革命ノ志士ニ始マリ、之ガ各政團ト合體シテ組織サレタモノデアリ、昔ハ一種ノ秘密團體デアツテ、一言一行皆理由ノ充足セルモノデアリ乍ラ、專制政府ノ忌諱ニフレテ、公然

之ヲ宣布スルコトハ不可能デアツタ。只吾黨ノ掲グル民族民權民生ノ三大主義ガ、適々世界ノ大勢ニ合シ、國民ノ心理ニ合シタ爲、一呼承應、遂ニ革命ノ目的ヲ達シ、昨年民國ノ成立ヲ見ルニ至リ、我黨ハ今ヤ正々堂々ト國內大會ヲ開キ、民國建設ニ關スル諸問題ノ研究ニ當リツツアル。而モ一言一行均シク重大意義ヲ有スルモノデアリ、諸先烈ノ熱血ヲ以テ購ヒ得タ結果デアラカラ、吾人ハ悉ク之ヲ重要視シナケレバナラナイ。ソシテ我等ハ着實ニ進行シテ地下ノ先烈ノ靈ヲ慰ムベキデアル。

惟フニ我黨ハ漸ク專制政府ヲ破壊シ得テ、建設ノ緒ニ就イタノデアアルガ、未ダ完全ニ革命ニ成功シ、之ガ爲ノ責任ヲ全ク盡シ得タト謂フコトハ出來ナイ。蓋シ破壊ハ一時的作用デアアルガ、建設ハ永久の事業ナルガ故デアアル。例ヘバ米佛ノ共和革命ノ如キモ、今日既ニ完成サレテキルガ、之ガ爲ノ建設ニ至ツテハ、未ダ完全ナル域ニハ達シテキナイノデアツテ、米佛ノ政黨ハ今猶夫々自國ノ建設ニ力ヲ盡シ、從ツテ其ノ進歩ハ已ム時無キ狀態デアアル。我國ハ數千年來專制政治ノ惡弊ニ染リ、之ガ改革ニ着手スルモ、千端萬緒、容易ニ整理シ難イ狀態デアアル。而シテ今後ニ於ケル立國ノ大計トシテハ、先ヅ專制時代ノ遺物タル種々ナル惡習ヲ排除シ、能ク文明國家ノ新精神ヲ發揮スルコトヲ以テ第一ノ要務トナスベキデアル。之レ亦國民ノ注意セザル可ラザルコトデア

我ガ國民黨ガ、現在國內ニ於テ能ク優勝ノ地位ヲ占メツツアル理由ハ、固ヨリ群策ト群力トニ
特ツモノデアアルガ、政黨ノ發展ハ勢力ノ強弱ニノミ在ルモノデハナイ。即チ黨人ノ智能道德ノ高
下ハ究局ノ勝敗ヲ決スルモノデアツテ、政黨ノ勢力ガ強大デアツテモ、黨員ノ智能道德ノ程度ガ
低級デアリ、其ノ内容ガ腐敗シテ居レバ斷ジテ永ク榮エ得ルモノデハナイ。之ニ反シ若シ政黨ト
シテ當然有スベキ智能ト道德トヲ涵養スルニ於テハ、譬ヘ現在ノ勢力ハ薄弱デアツテモ、必ズ發
達ノ一日ヲ有シ得ルデアラウ。前清時代ニ於ケル我黨ノ如キハ、其ノ勢力ハ甚微弱デアツテ、清
政府ニ味方スル者ガ大多數ダツタノデアアルガ、而モ我ガ同志諸公ハ黨ノ主旨ヲ堅持シ死ストモ變
ラザルコトヲ誓ツタ。遇々我黨ノ主張スル理論ガ社會ノ需要ニ應ジ、之ガ爲ニ二十年ヲ出ズシテ前
清ノ雷霆萬鈞ノ壓力ヲ一掃シ去ルコトガ出來タノデアアル。之ニヨツテ觀テモ、黨勢ノ大小ハ必ズ
シモ問フヲ要セザルモノデアツテ、黨ノ主張ト其ノ日頃ノ行動トガ公理ニ合シ、時勢ニ相應ジ、
其ノ抱懷スル政策ガ正大明確デアツテ一般國民ノ贊同ヲ得ルニ足ルモノデアレバ、千難百折スル
モ必ズ最後ノ勝利ヲ獲得シ得ルモノデアアル。又他ノ政黨ニ對シテハ政見ヲ商議スル外ハ、特別ノ
場合ヲ除キ、之ト爭フテ政黨ノ榮譽ヲ損フ必要ハ存シナイ。現在正式國會ト正式政府ノ成立ノ期

モ遠カラザルヲ以テ、殊ニ細心ナル研究ヲナシ、一ツノ最良ナル憲法ヲ制定シ、以テ立國ノ根本
トナスコトヲ期スベキデアアル。我ガ國民黨ノ黨員ガ各人果シテ能ク往年ノ革命精神ニ基キ、而モ
溫和穩健ナル手段ヲ以テ、共ニ民國建設ノ事業ニ從事シ得ルナラバ、黨ノ發展ト國事ノ進歩トハ
必ズ昔日ニ千百倍スルモノガアルデアラウ。余ハ現在我ガ黨員諸君ニ對シテ竊ニ無窮ノ希望ヲ寄
スルモノデアアル。

二十七、宗教ト政治

— 民國三年佛蘭西教會ノ歡迎會ニテ —

本日貴教會主及各教士學生ノ各位ト相見ルコトヲ得タコトハ、余ノ深ク感謝スル所デアアル。
吾人ガ萬難ヲ排シ萬死ヲ冒シテ革命ヲ敢行シ、今日幸ニ祖國ヲ光復スルコトヲ得タノハ、其ノ
遠因ヲ究明スレバ、皆外國ノ感化ニ由ルモノデアアル。即チ漸次歐米ノ文明ニ染マリ、世界ノ新理
ヲ輸入シ、之ガ結果トシテ民風日ニ開ケ、民智亦日ニ開ケ、斯クテ遂ニ惡劣ナル異族ノ政府ヲ倒
スニ至ツタノデアアル。而シテ此ノ感化ハ外人宣教師ノ力ニ俟ツ所頗多大デアツテ、此點余一人ノ
ミナラズ、我ガ中國四億ノ民衆ノ均シク感謝スル所デアアル。

民國成立シテ政綱ヲ宣布シ、現在信仰ハ自由トナツタカラ、清朝時代ニ於ケル如キ、民衆ト教會トノ衝突ノ原因ハ消除サレタ譯デアアル。ダカラ今後ハ政治ノ及バザル所ハ宗教ヲ以テ補ヒ、以テ民徳ノ向上ヲ圖ラナケレバナラナイ。

世上宗教ト呼バルルモノハ甚多ク、此中ニハ野蠻ナル宗教ガアリ、文明ナル宗教ガアル。我國ノ如キニ於テモ偶像ハ地ニ偏ク、異端者ノ説ガ猶盛ンデアツテ、一律ニ一尊ヲ崇奉スルニハ至ツテキナイ。只現今西方ノ教士各位ガ先覺トナツテ、我國人ノ開導ニ當ラレツツアルコトハ誠ニ結構ナコトデアアル。願クバ將來全國ガ皆至尊全能ノ宗教ヲ欽崇スルニ至リ、之ヲ以テ民國政令ノ及バザルヲ補ヒ、國政ヲ改良シ、宗教ヲ改良シ、勉メテ政治宗教ノ相互提携ト、中外人親睦ノ實トヲ擧ゲタイモノデアアル。

本日諸士ト會シ得タ機會ニ、改メテ諸士ガ吾人ト同様中國ヲ愛シ、民國ノ爲メニ夫々其ノ責任ヲ盡サレンコトヲ、厚クオ願ヒスル次第デアアル。

二十八、言論ノ一致

— 粵報ノ記者ニ對シテ —

諸君、今回中國ガ清朝ヲ傾覆シ得タノハ、軍人ノ力ニヨルコト勿論デアアルガ、人心ノ一致ト、之ガ誘因タル諸新聞ノ鼓吹ノ功ニヨル所モ亦大デアツテ、各新聞ガ能ク其ノ效果ヲ收メ得タ所以ハ、實ニ言論ノ一致ニヨツタモノデアアル。

今日既ニ共和ノ世トナツタガ、未ダ完全ニ安定スルニ至ラナイ。完全ナル安定ヲ欲スレバ、必ズ先ヅ統一ヲ完成スベキデアアル。而シテ統一ノ方法タルヤ、人心ニ恃ツニ非ラザレバ、武力ニ恃ツモノデアアル。然シ武力ニ恃ツテ統一ヲ完成セントスレバ、其ノ流弊ハ必ズ專制ヲ誘致シ、人心ノ統一ヲ欠イデ、必ズ禍亂ヲ生ズルデアラウ。曾テ外人ハ余ヲ目シテ共和ノ使徒ニ非ズシテ亂賊ナリトシ、起ツテ頻リニ干涉シタモノデアアル。若シ言フガ如クンバ、此ノ大亂ノ道ハ何ガ爲ニ專制ヲ目的トシナカッタカ。其後袁君ガ總統ニ就任スルニ至ツタガ、彼トテ元、民國ニ大功ヲ建テント欲シタ者デアリ、輿論ニ服従スルニ吝カナラズ、自私自利ノ心無キ者デアルガ、禍亂ノ機運既ニ動キ、武力ヲ用ヒテ統一スル外、如何トモ爲シ得ナカッタノデアアル。即チ北方ノ軍隊ハ袁君ニ服シテキタガ、人民ハ共和ノ何モノタルカヲ知ラズ、其上、宗社黨ノ煽動ト策動トガアツタ爲、前日ノ亂ノ如キニ於テモ、已ムヲ得ズ第三鎮ノ兵ヲ動カシ、其ノ結果、亂ヲ免レ得ザルニ至ツタノデアアル。現在ノ我國ニ果シテ帝制ヲシキ、外人ノ干涉ヲ免レ得ル者有リヤト言フニ、眼ヲ擧ゲ

ヲ見レバ、一人モ其人無キヲ知ルデアラウ。之ヲ企畫スル者ガ有ツテモ、彼等ハ只藉ツテ以テ、掠奪ヲナスニ過ギナイノデアアル。斯ノ如キ状態ヲ以テシテハ、到底瓜分共管ノ慘禍ヲ免レ得ナイデアラウ。彼ノ人心不統一ノ弊モ亦實ニ之ニ起因スルノデアアル。

近時上海ノ各新聞ヲ見ルニ、言論ノ一致ヲ缺キ、又今回廣東省各新聞ノ言論モ、公理ニ準ゼズシテ紊亂甚シク、政府ヲ攻撃シ、一般人民ガ新聞紙ヲ重要視シ、其ノ記事ヲ悉ク信用スルモノナルコトヲ知ラズ、之ガ爲ニ人心惶々トシテ歸一シ難キヲ致シツアル。廣東都督陳炯明ハ、元々得難キ人物デアアルガ、近時其ノ自由ニ怨ムハ可ナリトシテモ、猜疑嫌惡スルニ至ツテハ難ゼザルヲ得ナイ。即チ彼ガ未ダ去ラザル以前、屢々汪精衛ニ電シテ其ノ廣東回歸ヲ促シ、汪ガ新聞紙ノ攻撃ヲ恐レテ就任ヲ肯ゼザリシ場合モ、陳ハ猶去ラズ、今回余ト胡漢民ガ廣東ニ歸ルヤ、其ノ責任ヲ回避セントシ、潛行運動ヲナシテ胡君ヲ復任セシメタ。然ルニ胡ハ攻撃ト其ノ地位ノ不安トヲ懼レ、他方王和順、揚萬夫、關仁甫等ハ外部ニ在ツテ策動擾亂シタ爲ニ、竟ニ人心ノ動搖ヲ見ルニ至ツタ。陳ハ之ヲ以テ乘ズベキ好機至レリトナシ、亂ヲ企ツル者四方ニ起ルヤ、此間ニ策動シテ我ガ廣東人民ノ生命ト財産トヲ糜爛セシメタ。之全ク彼陳炯明ノ罪科デアアル。

專制時代ニ於ケル新聞紙ハ、政府ガ人民ノ政府ニ非ザル以上、攻撃ニ利用スルモ不可ナイガ、

共和政府ハ人民ノ政府デアアル以上、新聞紙ヲ政府攻撃ノ具ニ利用スルコトハ不可デアアル。何トナレバ政府ノ官吏ハ人民ノ公僕ダカラデアアル。例ヘバ一ツノ會社ヲ設ケ、人ヲ舉ゲテ社務ヲ掌理セシムル場合、株主ガ日毎ニ掌理人ヲ惡罵攻撃シタノデハ、決シテ營業成績ヲ舉ゲ得ナイト同様デアアル。若シ政府ガ惡事ヲ爲シタ場合ハ、人民ガ一致シテ之ヲ除クベク努力スベキデアツテ、我ガ三千萬人ガ一致シテ斯ル官吏ヲ除カンコトヲ請フタ場合、誰ガ敢テ之ヲ留メ得ルデアラウカ。然ルニ我ガ國ノ新聞記者達ハ、政府攻撃ノ惡習ニ染ルコト甚シク、依然トシテ改ムルコトヲ知ラナイ。動物學者ノ言ニヨレバ、一種ノ蟹ガアルガ、其ノ蟹ハ草ノ有ル場所ニ穴ヲ掘リ、而モ必ず穴ノ外部ノ草ヲ除去スルトノコトデアアル。之ハ此蟹ノ遺傳性ニヨルモノデアアルガ、彼等ハ一種ノ鳥ガ專ラ其ノ無草ノ場所ヲ目標ニシ、啄ヲ下シテ自分達ヲ食フコトニ考ヘ至ラナイノデアアル。其後更ニ一種ノ蟹ヲ生ジタガ、彼等ハ方針ヲ改メテ、穴ノ有ル場所ハ必ず草ヲ以テ護ルコトニシタ爲ニ、能ク其種ヲ保全シ得タトノコトデアアル。同様ノ理由カラ、今日ノ新聞紙モ其ノ方針ヲ改ムル必要ガアル。彼等ガ其ノ方針ヲ改レバ、從ツテ人心モ能ク一致スルニ至ルデアラウ。方今人民ノ中ニハ共和ハ專制ニ如カズトノ言ヲナス者ガアルガ、彼等ハ共和ノ效果ガ十年ヲ經テ初メテ舉ルモノナルコトヲ知ラナイノデアアル。例ヘバ如何ニ立派ナ子供デモ哺育二十年ノ後ニコソ、恩ヲ報

ジ得ルガ、生後數ヶ月ノ乳兒ニ、報恩ヲ求ムルコトハ不可能ナルノト同様デアル。惟フニ汪精衛ガ廣東ニ還ルコトハ頗ル有益デアル。蓋シ彼ハ北方ノ情勢ヲ知悉シ、北方人ノ信服スル所デアルカラ、南北ノ意見ガ合ハナイ様ナ場合ハ、彼ナラバ能ク之ヲ調停シ得ルカラデア
ル。

余ハ廣東ニ回歸シタニツイテハ、次ノ二事ヲ爲ス考ヘデア
ル。其ノ一ハ練兵デ、廣東省ノ軍隊ハ今度モ戦功ガアリ、南京宿州ノ役ニモ戦勝ノ功ガアツタモノデア
ルカラ、之ヲ基本トシテ更ニ十萬ノ兵ヲ編制シテ訓練シタナラバ、必ズ能ク國民ノ後楯トナシ得ルデア
ラウ。其ノ二ハ實業ヲ振興シ、廣東人ノ生計ノ困難ヲ救フコトデア
ル。共ニ諸君ノ贊同ヲ得、言論一致、以テ人心ノ歸一ヲ圖ランコトヲ望ム次第デア
ル。

二十九、廣東ハ全國ノ肢體デア ル

—廣東省議會ニ於テ—

今回郷里ニ歸リ、各位ノ熱心ナル歡迎ヲ受ケタコトハ感謝ニ堪ヘナイ。余ハ本日廣東ノ最緊要ニシテ、最急迫セル事情ニ付イテ諸君ニ語ラントスルモノデア
ル。余ガ香港ニ來リタル際、或種

ノ人々ガ第二次革命ヲ敢行シテ廣東政府ヲ傾覆セントシ、其ノ印章、旗幟等ノ準備モ既ニ完了シテキタトノコトヲ聞イタガ、貴會ノ諸君ハ此事ヲ聞カレタカドウカ。此等ノ舉動ハ獨リ廣東ノ安危ニ關スルノミデナク、中華民國ノ全局ニモ關スルモノデア
ル。廣東ハ全國ノ岐路デア
ルカラ、此地ニ一度禍亂ガ起レバ全國ニ波及スルノデア
ル。即チ若輩一度難ヲ發スレバ、北京政府ハ大局ヲ保全センガ爲ニ、勢必ズ兵ヲ調シテ南下シ、各省亦必ズ相互救援シ、之ガ爲ニ玉石共ニ焚クノ禍ヲ免レ得ナイデア
ラウ。之レ實ニ塞心ニ耐ヘナイコトデア
ツテ、斯ル場合廣東ガ一兵ヲモ用ヒズシテ革命ノ目的ヲ達シ得ルコトハ到底望ミ得ナイコトデア
ル。軍政府成立後、日尙淺キ時ニ當ツテ、一般貪慾鄙俗ノ徒ガ名ヲ第二次革命ニ藉リ、廣東ノ大局破壊ヲ謀ラントシツツアルニ對シ、吾人ハ急ニ起ツテ局面ノ維持ニ當リ、以テ眼前ノ急迫セル事件ニ對スル對策ヲ講ズベキデア
ル。然ラザレバ禍ハ頃刻ニシテ發シ、事後補救ヲ圖ツテモ、既ニ及バナイデア
ラウ。

陳都督ガ今回廣東省ヲ去ツタニツイテハ、彼ハ兼ネテヨリ此ノ考ヘヲ抱イテキタノデア
ツテ、彼ハ極メテ才能ヲ有スル男デア
ルガ、世評ニ氣兼ネシテ從前屢々辭職セントシタノニ對シ、余ハ屢々書翰ト電文トヲ以テ之ヲ慰留シ、爲ニ隱忍シテ今日ニ至ツタモノデア
ル。來省當時モ余ハ彼ト時局ヲ談ジタガ、當時ノ彼ハ頻リニ省ノ治安ヲ念願シ、毫モ辭任ノ意思アルコトヲ洩サナカツ

タ。今日其ノ職ヲ去ツタ原因ハ、世人ガ彼ノ意ノ在ル所ヲ諒解セズ、多ク言葉ヲ捏造シテ彼ヲ誣フル所ガアツタカラデアル。即チ今回汪精衛氏ガ廣東ニ回歸シナカッタコトニ付イテモ、陳都督ガ自己ノ地位ヲ鞏固ナラシメントシテ、之ヲ拒ンダガ爲デアルトノ言ヲナシタ者モ有ル位デ、此種ノ妄詞ハ陳都督ノ到底甘受シ得ナイモノデアッタ。故ニ一度胡漢民氏ガ來廣スルヤ決然トシテ去ツタノデアツテ、之レ全ク已ムヲ得ナイモノデアアル。更ニ汪氏ガ廣東ニ來ラナカッタノハ、他意無カッタノデアツテ、汪ハ平常只義務ヲ擔當センコトヲ欲シテ、毫モ權勢ヲ求メナイ者デアアル。故ニ今回ノ事モ彼ノ此ノ性質ニ因ルモノデ、陳都督トハ何等關係ガナカッタノデアアル。

本日ハ、都督選舉問題ヲ論議セントシテキルノデアアルガ、先キ頃余ガ來會セル際、議長ノ余ニ語ツタ所ニヨレバ、今日既ニ胡漢民氏ヲ暫時都督ニ就任セシムル旨ヲ議決シ、他日更ニ正式選舉ヲナストノコトデアツテ、之ハ勿論正當且ツ最モ普通ナ方法デアアルガ、現下ノ時勢ハ既ニ斯ノ如ク急迫シテキル關係上、寧ロ即日胡氏ノ正式都督就任ヲ議決シテ、大局ヲ安ンズベキデアアル様ニ思ハレル。然ラザレバ直ニ紛擾ヲ醸ス惧レガ有ルカラデアアル。

胡漢民氏ノ人ト爲リハ、余ノ最深ク知ル所デ、曾テ共ニ革命事業ニ從事スルコト七八年ニ互リ、其ノ學問道德ハ均シク余ノ深ク信ズル所デアツテ、廣東ニ其ノ人ヲ得難キノミデナク、他省

ニモ亦罕レニ見ル所デアアル。先ニ革命軍蹶起ノ際、余ハ彼ト共ニ江南ニ到ツテ臨時政府ヲ組織シタガ、之ニハ彼ノ力ガ與ツテ效果ガアツタノデアアル。次デ又余ガ參議院ニ舉ゲラレテ臨時總督トナツタ際モ、一切ノ處置ニ彼ノ臂助ヲ受ケタコト頗多大デアツタ。其ノ平生ノ大力量ト大才幹ヨリスレバ、只ニ都督ノ任ニ耐ヘ得ルノミナラズ、總統ノ位ニ即クトモ尙綽々タル餘裕ヲ持チ得ルデアラウ。故ニ余ハ敢テ貴會ニ推薦シ、速カニ此ノ問題ヲ解決シテ遲延セザランコトヲ勸ムルモノデアアル。然ラザレバ權利爭奪ノ勢ヲ醸成シ、機ニ乘ジテ意ヲ逞シウシ、廣東ノ前途ハ寒心ニ耐ヘナイデアラウ。廣東ノ軍界ハ陳都督ニ組織サレテ以來著シク成績ヲ舉ゲツツアル。惟スニ廣東ノ軍事ハ陳都督ヲ以テ最適任者トナスノデアアルガ、彼ハ謙讓ノ心ヲ抱キ、他ニ都督ヲ舉グルコトヲ主張シ、自己ノ重任ヲ肯ゼズ、汪精衛ノ意中モ彼ト同ジク、余ガ曾テ電報ヲ以テ其ノ歸廣ヲ促シタニ對シ、胡漢民氏ヲ都督ニ選定スレバ一週以內ニ廣東ニ歸ルモ、然ラザレバ香港ニ歸ルモ廣東ニハ來ラザル旨ノ返信ガアツタ。故ニ胡ヲ選任スルコトハ陳汪二人ヲモ活用シ得ル結果トナルノデアアル。今日ノ廣東ニ此ノ三人ヲ除イテ都督ノ任ニ耐エ得ル者ガ果シテ他ニ有ルカ。蓋シ今日廣東都督ヲ選任スルニハ學德兼備ノ者ニシテ初メテ其ノ任ニ耐ヘ得ルノデアアル。若シ不適任者ヲ用フルニ於テハ、一般不逞ノ徒ハ必ズ機ニ乘ジテ事ヲ發シ、萬一廣東ガ彼等ノ根據トナレバ、長

驅シテ長江ヨリ黄河ニ進出シ、其ノ大局ニ及ボス結果ハ設想ニ堪エナイモノガアルノデアアル。彼等若輩ノ意中ヲ窺フニ共和ヲ破壊シテ又シテモ專制ヲ行ハントスルニ過ギナイ。現在共和政府ヲ建設シタガ、未ダ完成スルニ至ラズ、從ツテ一切ノ疾苦ヲ盡ク除キ得ルニ至ラナイ。然シ之ハ當然ノ事デアツテ、大改革ヲナサントスルニハ、多クノ心血ヲ灑ギ、多クノ時日ヲ費サナケレバ、決シテ其ノ目的ヲ達シ得ルモノデハナイ。

之ヲ要スルニ眼前最急ヲ要スル問題ハ、胡漢民氏ヲ正式總統ニ就任セシムル一事デアアル。胡氏が曾テ都督在任ノ際、外部ノ者ハ或ハ不滿ナ點ガアツタカモ知レナイガ、之ハ怪シムニ足ラナイコトデアツテ、孔子ヲ蘇ラシテ今日ノ時勢ニ處セシメタトシテモ、必ズ之ヲ非トスル者ガアルデアラウ。只一疾ハ以テ大德ヲ掩フコトハ出來ナイノデアアル。貴會ハ人民ノ代表デアリ、此ノ事ハ全廣東ノ安危ニ係ル問題デアアル以上、諸士ノ責任ハ重且ツ大デアアル。遲疑スルコトナク、今日直ニ之ガ解決ヲ圖ラレンコトヲ厚ク希望スル次第デアアル。

三十、民生主義提唱ノ眞義

—上海南京路同盟會本部ニテ—

同盟會成立以來既ニ十餘年ヲ經過シタ。以前我々同志ハ海外ニ於テノミ開會シ討論シ得タノデアツタガ、今ヤ内地ニ之ガ爲ノ機關ヲ設ケ、且ツ自由ニ言論スルコトサヘ出來ル様ニナツタ。全ク盛ンナリト言ハナケレバナラナイ。

今日革命ハ成功シ、共和モ已ニ成立シタガ、之レハ我々ノ目的ノ一部ヲ達シタニ過ギナイノデアツテ、目的ノ全部ヲ達成シ得タノデハナイ。切ニ諸君ニ望ムラクハ、滿洲政府ヲ打倒シタト同ジ精神ヲ以テ、今後ノ進歩ヲ計リ、吾人ノ主張タル三民主義ヲ完全ニ實行スルコトニ努メテ頂キタイ。斯クテコソ始メテ吾人ノ目的ヲ達シ、政綱ニヨツテ負フ所ノ義務ヲ盡シテ憾ミナキヲ得ルノデアアル。

三民主義即チ民族民權民生ノ三主義ハ、同盟會唯一ノ政綱デアアル。今滿洲政府ハ已ニ去ツテ共和政體ト成リ、民族民權ノ二大政綱ノ目的ハ已ニ達シ得タカラ、今後吾人ノ進行ヲ急グベキ問題ハ民生主義デアアル。

民族民權ノ二主義ニハ稍々心アル者ハ悉ク賛成シタシ、偶々君主政體ヲ堅持セントスル説ヲ爲ス者ガアツテモ、其ノ理由ノ薄弱ナコトカラ、少シク辯ズレバ直ニ自説ヲ放擲スルノガ常デアツタガ、近時吾人ノ提唱スル民生主義ニ對シテハ、居然起ツテ反對スル者ガアル有様デアアル。彼等

ノ説ニヨレバ「社會主義ハ事實ニ於テ歐米ノ各文明國デモ未ダ實行不可能デアアル。況ンヤ我國ニ於テヲヤデアアル。且ツ外國ノ資本家ハ今日其ノ金錢ノ力ヲ以テ我國ノ財政ヲ壟斷シテ居ル。此時ニ當ツテ、若シ極力資本家ニヨル實業ノ發展ヲ提唱シ、資本ノ勢力ヲ以テ外人ヲ抵制シナカッタナラバ、今日ノ如キ激甚ナル經濟競争場裡ニ於テハ、到底國家ノ存在ヲ確保シ得ナイデアラウ」ト言フノデアアル。其ノ説ク所ヲ聽ケバ理有ルガ如クデアアルガ、彼等ガ此説ヲ爲ス所以ハ未ダ民生主義ノ何タルカヲ知ラナイカラ、漠然ト反對ヲ唱フルノデアアル。吾人ノ主張スル民生主義ハ資本ニ反對スルモノデハナクテ、資本家ニ反對スルニ過ギナイノデアアリ、少數人ノ經濟勢力占有ニヨル、社會富源ノ壟斷ニ反對スルノデアアル。試ニ鐵道ノ例ヲ舉ゲテ之ヲ論ズレバ、全國ノ鐵道ガ若シ一ニノ資本家ニ所有サル様ナコトニナレバ、彼等ノ力ハ交通ヲ壟斷シ得ルコトナリ、又旅客、貨物所有者、鐵道労働者等ノ死命ヲモ制スルコトナルデアラウ。之ト同様ニ若シ土地ガ少數ノ富者ノ所有ニ歸スレバ、其ノ所有權ト他價トヲ以テ公共ノ建設ヲ妨害シ、一般人民ハ永久ニ存在ノ根柢ヲ脅サルルニ至ルデアラウ。之ニ反シ土地ト大事業トガ皆國有ニ歸スレバ、之ニヨリ所得ハ人民ノ公有トスルコトガ出來ルデアラウ。蓋シ國家ノ施設ハ其ノ利ノ及ブ所、國民ノ福利ニ存シ、少數人ノ壟斷ガ徒ニ私腹ヲ肥シ、貧民ノ苦シミヲ日ニ深クスルノトハ大イニ異ツテキル

カラデアアル。國有ノ策ハ清朝ノ政策デアツテ、吾人ガ清朝ノ此ノ政策ニ反對シタノニ、今鐵道國有ニ反對シナイノハ、我々ノ政綱ニ牴觸シハセスカ。否、決シテソシナ事ハ無イ。滿清政府ハ君主專制政府デ、國民ノ公意ニヨツテ出來タ政府デハ無カッタ。故ニ清朝ノ所謂國有ナルモノハ其ノ害遙カニ資本家ヨリ激シイモノデアツタ。故ニ本黨ノ政綱ニモ必ズ先ヅ民權主義ヲ實施シテ、然ル後民生主義ヲ實施スベキ旨ヲ述ベテアルノデアアル。論者ハ又言フ「凡ソ事ニハ必ズ階梯ガアル。此ノ階梯ヲ經ズシテ、民生主義ヲ云爲シテモ、現在民智、社會組織共ニ其ノ程度ニ進ンデキナイデハナイカ」ト。果シテ此説ノ如クナラバ、共和政體ノ前ニハ必ズ君主立憲政體ノ一階梯ガ來ナケレバナラナイ。然ラバ今日此ノ階梯ヲ經ズシテ、共和政體ガ成立シタノハ、如何ナル理由ニヨルモノデアアルカ。之レニ依ツテモ説明ヲ待タズシテ自ラ明カトナルデアラウ。

要スルニ本會ノ提唱スル民族主義ハ、外人ニ對シテ我國民ノ獨立ヲ維持スルモノデアリ、民權主義ハ少數人ノ政治壟斷ノ弊ヲ除去スルモノデアツテ、民生主義ハ少數資本家ヲ排斥シ、一般人民ヲシテ共ニ生産ノ自由ヲ享有セシメントスルモノデアアル。故ニ民生主義ハ又國家社會主義トモ言ヒ得ル。而シテ前二者ニ關スル限り諸君ノ熱血ニ依ツテ已ニ今日ノ成功ヲ贏チ得テキル。故ニ今後ハ更ニ宜シク其ノ心思ヲ極メ、能力ヲ盡シ、以テ最後ノ目的タル民生主義ヲ達成シナケレバ

ナラナイ。之レ余ノ深く同志諸君ニ望ム所デアアル。

三十一、權利ナル二字ノ正當ナル解釋

— 民國五年七月十五日駐滬議員ノ茶話會ニ於テ —

權利ナル觀念ハ人類ノ均シク具有スルモノデアリ、余モ亦人類以外ノ何モノデモアリ得ナイ以上、獨リ權利ヲ忘却スルト言フガ如キコトハ不可能デアアル。故ニ余ニ權利ヲ犧牲ニスベシト説クヨリモ、寧ロ權利ナル思想ハ最モ大切ナモノデアルト説ク方ガ、ヨリ多ク余ヲ信ゼシメ得ルデアラウ。即チ余ハ權利ナル二字ガ至公至大ナモノデアルコトヲ知ル者デアツテ、大事ノ爲ニ小事ヲ棄テ、公事ノ爲ニ私事ヲ没却スルコトハ有リ得ルモ、自己ノ權利ヲ犧牲ニスルコトハ、余トシテハ未ダ爲シ得ナイ事デアアル。只今主席議員ノ讚辭ヲ戴イタニ付テ、敢テ當ラザル者ナルコトヲ一言申述ベテ置ク。

我ガ廣東ハ各地ニ先ヅテ通商貿易ヲ始メ、數十年前、歐洲ノ船舶ガ東航シ來リ、地方特産ガ海外ニ輸出サルルヤ、此等ハ總テ一度廣州ニ集リ、其ノ結果數年ナラズシテ巨富ヲ致ス者サヘアルニ至ツタ。又南洋、「アメリカ」大陸等ニ在住スル華僑デ、米國ノ鐵道事業ニ投資スル者モ

多數ニ上リ、彼等ハ萬里ノ波濤ヲ超エテ致富ノ道ヲ求メ、以テ自ラ慰メトシタノデアアルガ、一旦世ヲ去ルヤ、其ノ子孫ハ財多キ爲ニ淫逸ニ耽リ、遊惰ヲ事トシ、ソレガ爲ニ盡ク其ノ業ヲ喪ヒ、眼前ノ肥馬輕裘ハ皆夢ト化シ、遂ニ路傍ニ食ヲ乞フニ至ツタ様ナ者モ、屢々見聞スル所デアアル。凡ソ利ヲ求メテ利ヲ獲タ者モ、曾テ二代ニシテ失敗セザル例ガナク、之ヲ求メテ得ザル者ニ至ツテハ最多ク、猪子（南洋移住ノ契約労働者）ハ毎年四十萬人モ輸出サレルガ、生還スル者ハ一人モ無イ有様デアアル。余ハ此ノ二ツノ事實ヲ觀テ感ズル所ガアリ、隨ツテ一個ノ主張ヲ有スルニ至ツタ。即チ惡劣ナル政治ヲ除カナケレバ、國民ハ權利ヲ享有シ得ズ、幸ニシテ身ニ此等ノ權利ヲ享有シ得テモ、其ノ餘德ヲ子孫ニ貽スコトハ出來ナイモノデアアルコトヲ知ルニ至ツタ。ソシテ之ガ爲ニ蹶然起ツテ改革シ、我ガ全國同胞ノ奕世不失ノ大權利ヲ持續セシメント決意スルニ至ツタ。二十年前、余ハ此種思想ノ一部ヲ余ノ知己ニ語ツタガ、彼等ハ慨然トシテ余ノ意見ニ贊同シタ。只改革ガ一事業デアルト同様、改革後ノ政體建設モ一事業デアアル。然ルニ同志ハ單ニ政治ノ改革スベキヲ知ツテ、其ノ改革ノ根本ノ大計ヲ知ラナイ者ガ多イ。所謂改革ハ易代ノ常軌デアアル。余ハ曾テ海外ニ在リシ際、言語文字ハ異ルガ其ノ事々物々ヲ熟察シ、靈感ヲ働カセタ結果、驛然悟ル所ガアツタ。次デ其ノ歴史ヲ讀ミ各學者ノ著書ヲ讀ンデ、余ノ平常ノ主張ガ、頗ル西洋ノ治國

安民ノ大經ニ合スルモノナルコトヲ知ツタ。仍テ歸國後同志ト籌ツテ改革ノ方針ヲ決定シタノデアル。

余ハ曾テ田舎ノ學生トシテ四書五經ヲ暗唱シタ事ガアツタガ、數年ナラズシテ其ノ大半ヲ忘レテ了ツタ。只政治ノ改革ヲ欲スレバ必ズ先ヅ歴史ヲ知ルヲ要シ、歴史ニ明カナラントスレバ、必ズ文字ニ通ズルヲ要スル。而シテ西譯セル歴史、四書、五經ヲ讀ムモ亦其ノ意ヲ通ジ得ルモノデアル。余ハ歴史ニ徴シ、中國ハ地理的ニ中土ニ位スル關係上、國際的戰爭ハ比較的少ク、國內ノ戰亂ハ全ク個人間ノ地位爭奪ニ起因スルモノデアルコトヲ知ツタ。故ニ同志ト謀リ、武力ヲ改革ノ手段トシテ、國民ノ權利ヲ爭ハント決意シタ。然ルニ余ノ爭フ權利ガ至公至大ナル點ニ於テ、未曾有ノモノデアツタ爲ニ、余ヲ狂人ナリトシテ譏ル者サヘ有ツタ。次デ南京政府ガ成立スルニ至リ余ハ國民ノ期待ニ反スル結果トナツタ。即チ余自身破壊ハ決死的覺悟ヲ以テセネバ不可ナルヲ謂ヒ、死ヲ決シテ大難ニ處セントシ、同志ト共ニ其ノ局ニ當ツテ來タノデアアル。トコロデ建設ハ緻密ナル計畫ト用意トヲ必要トシ、易キニ似テ其實困難ナモノデアアル。然ルニ改革ノ目的ヲ達シ余ガ初期總統ニ就任スルヤ、知ラザル者ハ余ヲ以テ尊キコトヲ皇帝ノ如キモノデアルトナシタ。仍テ意ヲ決シテ位ヲ袁世凱ニ讓リ、天下ヲシテ總統ノ本質ヲ知ラシメテ、民國ノ大本ヲ樹立

シ、又公僕ノ爭フ可カラズ、爭フヲ要セザルモノナルコトヲ知ラシメントシタ。然ルニ世ノ君子ハ、余ヲ以テ職ヲ怠ル者ナリト譏ツタ。然シ余ハ之ヲ聞イテ喜ビ、人々ガ總統ヲ爭ハズ、相互ニ之ヲ讓ルコトヲ願ヒ、籌安會モ斷然、人々ガ總統ノ職ヲ爭ツテ、其ノ結果帝制ヲ唱フルニ至ランコトヲ惧レタ。彼等モ亦余ノ同志デアツタノデアアル。次デ章太炎君ガ帝制論ノ巨魁懲罰ノ電文ニ、余ノ署名ヲ求メ來ツタニ對シ、余ハ余モ懲罰サルベキ一部ノ罪ヲ負フ者ナリトシテ、辭シテ署名シナカッタ。諸君ハ余ノ此ノ言葉ガ意味深重ナルコトヲ知ラナケレバナラナイ。先キニ余ハ建設ノ事ニ就イテ述べタガ、國家ハ營利會社ノ如キモノデアツテ、株主ガ利ヲ獲ヨウトスル場合、社員ガ自己一身ノ利益ヲノミ謀レバ、株主ハ必ズ其等社員ノ職ヲ免ズルデアラウ。故ニ國家ノ爲ニ謀ル者ハ、英米獨佛ニ論無ク、必ズ國民ノ爲ニ其ノ生活ノ根本タル衣食住ト、國家經濟及ビ社會經濟ニ多大ノ影響ヲ有スル道路政策トニ力ヲ致スモノデアアル。國家ノ生産力ハ野外運動ノ如キモノデアツテ、或ル一ツノ條件ガ備ハレバ、諸事皆時ト共ニ進ムモノデアアル。我國四億ノ民衆ノ中、一日デモ道路ト關係ヲ有シナイ者ガアリ得ルカ。吾人ガ日々見受クル車夫ノ如キハ、百斤内外ノ物品ヲ載セ、上海市中ヲ往來スルコトノミニヨツテ、一日一元ヲ得ルコトガ出來ルガ、田舎ニ於テハ道路ガ惡イ爲ニ、二百斤カラノ物ヲ擔ギ、數十里ノ道ヲ行ツテ、一日僅ニ數百錢ヲ

得ルニ過ギナイ。更ニ衣食住ノ資料ノ如キモ、運賃ニヨツテ其ノ價格ノ一部ガ左右サレ變動スルモノデアアル。斯様ニ運賃ノ高低ハ道路ノ善惡ニ影響サレ、道路ガ惡ケレバ運送費ハ自然鉅額トナルモノデアアル。故ニ道路政策ヲ樹立スレバ、之レニヨツテ蒙ル全國ノ利益ハ、年々計ルベカラザルモノガアルデアラウ。

三十二、自治制度ハ建設ノ礎石デアアル

— 民國五年七月十八日上海張園安壇政見發表演說會ニテ —

本日兩院ノ諸君及各界有志諸君ノ惠臨ヲ蒙ツタコトハ光榮ノ至リデアアル。

余ハ三年間亡命シ、國人ト相見ルコトガ出來ナカツタノデアアルガ、帝制發生ニヨル祖國ノ淪亡ヲ見ルニ忍ビズシテ遠路歸國シ、國人ヲ助ケテ奮闘シタガ、今幸ニ元兇ハ既ニ死シ、國法ハ恢復サレ、武力ハ終リテ告グルニ至ツタ。次デ始ルモノハ建設デアツテ、兩院議員ハ久シカラズシテ北京ニ赴イテ開會シ、共ニ建設ノ事ヲ審議セントシテキルノデアアル。只建設ノ責ハ國民總テノ負フベキモノデアアルコトヲ知ラナケレバナラナイ。二三日前モ尙賢堂ニ於テ兩院ノ議員諸君ト此ノ事ヲ研究シタガ、短時間デアツタ爲ニ一々詳論シ得ナカツタ。故ニ本日ハ特ニ諸君ト會談シ、續

イテ余ノ所懷ヲ述ベントスルノデアアル。

現今我が國人ハ競フテ建設ヲ云々シツツアルガ、今ノトコロ何等一定シタ方針ガ無イカラ、先ツ此ノ方針ヲ定ムルコトガ必要デアアル。余ハ革命ニ奔走スルコト二十年ニ及ビ、其ノ間破壊ニ從事シナガラモ常ニ建設ノコトヲ研究スルノヲ怠ラナカツタ。今後モ余ハ國人ト共ニ建設ヲ謀ラントスル者デアアルガ、其ノ方法ハ如何ニスベキデアラウカ。世人ハ多ク全心ヲ政府ニ注ギツツアル。之レハ當然ノ事デアツテ、數千年來、政府ハ時ニ興リ時ニ仆レタガ、易姓革命ノアル毎ニ、必ズ政府ヲ造ルコトヲ其ノ第一階梯トシタ。之レ實ニ人民ノ建設ニ對スル經驗デアアルガ、此等ハ只相因リ相傳ヘテ舊キ傳統ヲナシテキタニ過ギナイ。然ルニ民國ニ至ツテ初メテ一新紀元ヲ開イタノデアアル。即チ今回ノ建設ハ従前ト異ルモノデアツテ、昔陳平ハ肉ヲ屠ルコトヲ以テ天下ヲ治ムルニ喻ヘタガ、方今デハ家屋ヲ建ツルコトヲ以テ國ヲ建ツルコトニ喻フベキデアルト思フ。

歐米人ト中國人ノ家屋ノ建築ニハ大ナル相異點ガアル。建築ニ先キダツテ舉行スル典禮ニ於テモ、中國人ハ先ヅ標ヲ上ゲ、歐米人ハ先ヅ礎石ヲ置クノガ例デアアル。而シテ標ヲ上ゲル者ハ最高處ニ注目シ、礎石ヲ置ク者ハ最低地ニ注目スル。隨ツテ兩者ノ注目ノ箇所ガ異ルト同様ニ、其ノ效用モ自ラ異ルノデアアル。吾人ハ事ヲ爲スニ當ツテハ最高處ニ向ツテ志ヲ立ツルト共ニ、最低處

ニ於テ基礎ヲ堅ムルコトヲ怠ツテハナラナイ。

最低處トハ換言スレバ根本ノ意デアアル。然ラバ國本ハ奈邊ニ在ルカ。古語ニ曰ク「民ハ邦ノ本タリ」ト。故ニ建設ハ必ズ人民ヨリ始ムベキデアアル。近時五年來建國ノ事ハ附託其ノ人ヲ得ズ、爲ニ民國ノ根本ハ殆ド覆サレントスルニ至ツタ。今幸ニ天、中國ヲ佑ケ、我ガ同胞ニ再ビ建設ヲ圖ルノ機會ヲ與ヘタ。即チ國民ハ高低、自ラ擇ビ得ルノデアツテ、此時ニ當ツテ誤ヲ再ビセザル覺悟ガナケレバナラナイ。我ガ國人ガ家屋ヲ建ツルニ當ツテ先ヅ樑ヲ上グルノハ、上古有巢氏ガ其ノ家屋ヲ樹巔ニ築イタコトニ因ルモノデアツテ、只管風雨ヲ凌ガントシテ鞏固サヲ求ムル違ガ無カツタノデアアル。建國モ亦然リデアアル。從來ノ建國ハ朝廷ヲ先ニシテ百官ヲ後ニシ、人民ノ如キハ何等念頭ニ置カナカッタガ、現在ノ國家ハ大ニ之レト異ル所ガアル。之レ昔ハ陋屋デアツタモノガ、今ハ高樓大厦トナツタト同様デアアル。現在歐米ノ高屋ニハ五十數層ニ達スルモノサヘアル關係上、先ヅ樑ヲ上ゲントシテモ其ノ方法ガ無イ。故ニ地面カラ築キ上ゲテ行ク外ニ方法ガ無イノデアツテ、更ニ深く地下ニ其ノ基礎ヲ築カナケレバ必ズ倒壞スルノデアアル。

今中華民國ヲ建ツルニ際シテ、從來ト異リ立國後永ク覆滅セシメザラントスレバ、必ズ其ノ地盤ヲ人民各個ノ身上ニ築クベキデアツテ、建設ノ第一歩ヲ政府ヨリセズシテ人民ヨリスベキデア

ル。現今世人ハ競フテ、黎ノ後ヲ繼イデ副總統トナル者ト、正式國務總理トナル者ト、各都督省長トナル者トハ、何人ナルカヲ研究シツツアルガ、之レ先ヅ樑ヲ上ゲントラ謀ルモノデアツテ、樑ニシテ苟モ其ノ材ヲ失スレバ、棟ハ折レテ衆ハ皆壓死スルニ至ルデアラウカラ、此ノ方法ハ危險ヲ伴フモノデアアル。故ニ余ハ前日モ述ベタ如ク、地方自治ヲ以テ建國ノ基礎トナスモノデアアル。只其ノ際ハ言フテ盡サザル所ガアツタカラ、本日續イテ之ヲ論ゼントスルノデアアル。

惟フニ地方自治ハ國ノ礎石デアツテ、若シ此ノ礎石ガ鞏固デナケレバ、國家モ自然薄弱トナルノデアアル。近時五年來ノ現象ヲ觀テモ其ノ然ル所以ヲ知り得ルデアラウ。故ニ今後ハ當ニ地方自治ニ全力ヲ注グベキデアアル。請フ諸君此ノ圖ヲ見ラレヨ。圖ハ民國二年（一九一三年）ニ初メテ實施サレタ最新ナル米國ノ自治機關ヲ表スモノデアツテ、僅ニ三年前ノモノデアアル。世界ニ於ケル共和國ハ二種ニ分ツコトガ出來ル。一ツハ自然ノ進化ニヨリ、他ハ人力ニヨツテ構成サレタモノデアアル。瑞西ハ山國デアリ交通不便デアツテ、歐洲人ハ視テ山地ト爲シテキルガ、其ノ民俗ハ强悍デ頗ル自治ノ能力ニ富ンデキル爲、夙ニ民權制ヲ有シテキルガ、之ハ自然的進化ニヨツタモノデアアル。之ニ反シ人爲的建設ハ從來多クノ危險ヲ伴フモノデアツテ、極メテ困難ナモノデアアル。佛蘭西ガ共和制ニ改革サレタノハ、全ク學者ノ理想ト人民ノ血戰トニヨリ、八十餘年ヲ經テ

始メテ完成サレタノデアル。只現代ハ民權機關ガ著シク發達シテキル爲、其ノ方法ニシテ當ヲ得レバ建設ハ至ツテ容易デアル。之レ所謂「後來上居」ノ理ニヨルノデアツテ、我國ノ爲ニ大幸ト言ハナクレバナラナイ。更ニ米國モ血戰七年ニシテ共和政體ヲ建設シ得タノデ、其ノ立國ハ人爲的ノモノデアアルガ、國民ノ自治性ハ全ク自然ノ進化ニヨルモノデアアル。蓋シ元ト渡來シタ者ハ、皆歐洲ニ於テ志ヲ得ナカッタ清教徒デアツテ、各種ノ艱難ニ處シ、自治ノ能力ニ富ミ、爲ニ其ノ民權ノ基礎ハ甚鞏固デアツタ。從ツテ立國後ハ絶對ニ内争ガ無ク、南北戰爭ノ如キハ黑人ノ爲ニ行ハレタモノデアツテ、彼等同種間ノ問題ニヨルモノデハナカッタ。只米國一流ノ人物ハ多ク實業ニ身ヲ投ジ、政界ニ入ルヲ屑シトセザル傾向ガアル爲ニ、中央政府ニハ尙優秀ナル分子ガアルガ、地方政府ハ人オニ缺乏スルコト甚シク、之ガ爲ニ自治制度ハ日ニ腐敗シ、米人間ニモ君主立憲制度ヲ主張スル者サヘアルニ至ツタ。諸君ハ袁世凱ノ顧問古德諾グットノイガ、專制ヲ主張シタコトヲ頗ル奇異ニ感ジタデアラウ。彼ハ地方自治ノ研究者デアアルガ、米國地方自治ノ腐敗ヲ見テ、專制ヲ可ナリト妄信スルニ至ツタノデアアル。數年前米國ノ某都市ガ海嘯ノ爲ニ破壊セラレタ際、人民ノ意思ヲ無視シテ其ノ重建ヲ數人ノ主事ニ委託シ、其ノ成績ガ佳カッタ爲ニ、遂ニ之ニ委任制度ナル名ヲ冠シ、現在既ニ百十餘ノ都市ガ之ニ效フニ至ツタ。之レ共和カラ專制ニ復シタモノデアツ

テ、地方自治ノ專制化ト言フベキモノデアアル。自治制度ノ運用ヲ委任スルコトハ、才略有ル者ナラ之ヲ希望スルカラ、人ハ多ク此事ヲ善ナリト信ズルニ至ルノデアアル。余ガ今回歸國ノ途次同船シタ米國歸リノ學生モ、此ノ制度ノ信者デアツタ。惟フニ彼等ハ自治制度ガ世界最上ノ道理ナルコトヲ知ラナイノデアアル。即チ此ノ制度ヲ運用スル者ノ善不善ハ、全ク制度ノ善不善トハ別個ノモノデアツテ、恰モ讀書人ガ官界ニ入ツテ貪穢ナ官吏トナツタトシテモ、孔子ガ斯クアルベシト人ニ教ヘタトハ言ヒ得ナイト同様デアアル。米國人ノ多クハ深ク民權ヲ信ジ、其ノ學理タルヤ撲滅又ハ打破シ得ナイモノデアアル。故ニ三年前初メテ最新ノ地方自治制度ヲ實施シテ以來、現在既ニ顯著ナル實績ヲ舉ゲツツアル。余ハ今此ノ新制度ヲ國人ニ介紹セントスルノデアアル。

圖中最高ナルハ人民デアツテ、人民ガ主權ヲ行使スル主體ナルコトヲ語ルモノデアアル。其ノ下ニ縣議會ガアリ、人民ハ二十六人ノ議員ヲ選舉シテ、其ノ立法權ヲ行使シ、當該行政區域内ノ人民ハ共ニ之ヲ守ルノデアアル。更ニ縣長一名ヲ置キ、之亦議會所定ノ法令ニ據ツテ人民ガ選舉シ、選舉サレタル縣長ガ六局ヲ支配シ、執法局ハ法ニ依ツテ人ヲ捕ヘ、又ハ訴訟ヲ起シタル場合等ノ如キ事件ヲ管掌シ、公務局ハ庶務ヲ總理シ、公益局ハ地方公益ノコト、例ヘバ道路、教育、扶養、醫院等ニ關スル事ヲ掌リ、財政局ハ一切ノ收支ヲ掌リ、公安局ハ警察衛生等ノコトヲ掌リ、公用

局ハ電車、電燈、瓦斯、水道等地方公營事業ノ收入ヲ管理スルノデアアル。而シテ民權ノ特徴トスル所ハ、従前人民ハ僅ニ選舉權ヲ有シテキタニ過ギナカッタガ、現今ハ罷免權ヲモ有スルコトトナリ、以前ニ於テハ議會ノ協賛ヲ經タル立法ハ、人民ノ意志ニ反スルモ、之ヲ取消ス權利ハ人民ニ無ク、或ハ資本案ヨリ賄賂ヲ得タ爲、公衆ニ有益ナ事モ擱イテ議セナイト言フガ如キ種々ナル危険ガ有ツタノデアアル。然ルニ現在デハ米國七十萬民衆中、苟モ七萬人ノ賛成署名ガアレバ、國民大會ヲ開キ得ルコトナリ、又三十五萬人以上ノ賛成ガ有レバ其ノ事項ヲ法律トナスコトガ出來、更ニ又人民ノ意思ニ反スル法律ハ同様ノ方法ニヨツテ取消シ得ルコトトナツタ。次ニ議會所定ノ法律ニ疑問ガアレバ矢張上述ノ方法ニヨツテ改メテ議決スルコトガ出來、縣長ハ立法ニ對シテ僅ニ否認權ガアルニ過ギズ、而モ其ノ否認タルヤ議會ニ交付シ、再度議決シテ初メテ效力ヲ生ズルモノデアツテ、元々過半数ノ賛成ヲ得テ議決シタモノヲ、改メテ三分ノ二或ハ四分ノ三ヲ得テ議決セントスルノデアアルカラ、其ノ事ノ困難ハ推シテ知ルベキデアアル。我國ノ約法規定ニヨレバ、統治權ハ全體ニ屬スルモノデアアルカラ、之ガ實施ニ當ツテハ上述ノ方法ヲ採用シテコソ、始メテ主權ハ人民ニ在リト言ヒ得ル譯デアアル。

米國最新ノ地方自治制度

